

鹿児島県埋蔵文化財発掘調査報告書(53)

一般地方道永吉高須線改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

榎木原遺跡 III

1990年3月

鹿児島県教育委員会

序 文

この報告書は、鹿児島県教育委員会が一般地方道永吉高須線改良工事に先立って平成元年度に実施した榎木原遺跡の発掘調査記録です。

榎木原遺跡は、昭和60年度と昭和63年度に発掘調査が行われましたが、今回はそれに引き続き実施されたものです。これまでの調査と同様、地域的特色を示す数多くの遺物・遺構が発見されました。

なかでも、弥生時代前期末から中期初頭のものと考えられる刻目突帯をもつ壺形土器は、西瀬戸内地方との文化交流をうかがわせるものとして注目されています。

本書は、地域の歴史の解明に貴重な手掛りを提供するものと考えており、南九州の古代文化の研究や文化財保護のために活用していただければ幸いです。

終わりに、この発掘調査に御協力くださった県土木部道路建設課、鹿屋土木事務所、鹿屋市教育委員会並びに地元の方々に心から感謝いたします。

平成2年3月

鹿児島県教育委員会

教育長 濱 里 忠 宣

例 言

1. 本報告書は、一般地方道永吉高須線改良工事に伴う榎木原遺跡の発掘調査報告書である。
2. 発掘調査は、鹿児島県土木部道路建設課から鹿児島県教育委員会が受託して実施した。
3. 本書で用いたレベル数値は、すべて海拔高である。
4. 本書で用いた挿図中の通し番号は、図版中の番号と同一である。
5. 「榎木原遺跡Ⅱ」鹿児島県埋蔵文化財発掘調査書(51)で報告済みの遺構・遺物についても、同一遺跡であるので関係部分については本書に記載している。
6. 本書の執筆及び編集は、堂込・児玉が行った。

目 次

| | |
|------------------|----|
| 序 文 | |
| 例 言 | |
| 第 I 章 調査の経過 | 6 |
| 第 1 節 調査に至るまでの経過 | 6 |
| 第 2 節 調査の組織 | 6 |
| 第 3 節 調査の経過（日誌抄） | 6 |
| 第 II 章 遺跡の位置及び環境 | 8 |
| 第 III 章 層 序 | 13 |
| 第 IV 章 調査の概要 | 19 |
| 第 1 節 調査の概要 | 19 |
| 第 2 節 遺 構 | 19 |
| 住居跡 | 19 |
| 土 壇 | 25 |
| 溝状遺構 | 30 |
| 第 3 節 包含層出土の遺物 | 40 |
| (1) 土 器 | 45 |
| 縄文時代 | 45 |
| 弥生時代 | 51 |
| 古墳時代 | 51 |
| 中・近世 | 51 |
| (2) 石 器 | 61 |
| 第 VI 章 まとめ | 63 |

挿 図 目 次

| | | |
|------|----------------------|----|
| 第1図 | 榎木原遺跡の位置と周辺遺跡 | 9 |
| 第2図 | 遺跡周辺の地形図 | 11 |
| 第3図 | グリッド配置図 | 12 |
| 第4図 | 土層柱状図 | 13 |
| 第5図 | 土層図 | 14 |
| 第6図 | 遺物出土状況 (1) | 15 |
| 第7図 | 遺物出土状況 (2) | 17 |
| 第8図 | 1号住居跡及び遺物出土状況 | 20 |
| 第9図 | 1号住居跡出土土器 | 21 |
| 第10図 | 1号住居跡出土石器 | 21 |
| 第11図 | 2号住居跡及び遺物出土状況 | 22 |
| 第12図 | 2号住居跡出土土器 | 23 |
| 第13図 | 3号住居跡及び遺物出土状況 | 24 |
| 第14図 | 3号住居跡出土土器 | 25 |
| 第15図 | 5号住居跡及び遺物出土状況 | 26 |
| 第16図 | 5号住居跡出土土器 (1) | 28 |
| 第17図 | 5号住居跡出土土器 (2) | 29 |
| 第18図 | 5号住居跡出土状況 | 30 |
| 第19図 | 1号土壇及び遺物出土状況 | 31 |
| 第20図 | 1号土壇出土土器 | 32 |
| 第21図 | 1号住居跡・5号住居跡・1号土壇出土石器 | 33 |
| 第22図 | 溝状遺構及び遺物出土状況 | 34 |
| 第23図 | 溝状遺構1出土土器 (1) | 35 |
| 第24図 | 溝状遺構1出土土器 (2) | 36 |
| 第25図 | 溝状遺構1出土石器 (1) | 37 |
| 第26図 | 溝状遺構1出土石器 (2) | 38 |
| 第27図 | 溝状遺構1出土銭貨 | 38 |
| 第28図 | 溝状遺構1出土石器 (3) | 39 |
| 第29図 | 縄文土器 (1) | 40 |
| 第30図 | 縄文土器 (2) | 41 |
| 第31図 | 縄文土器 (3) | 42 |
| 第32図 | 縄文土器 (4) | 43 |
| 第33図 | 縄文土器 (5) | 44 |

| | | |
|------|-------------|----|
| 第34図 | 縄文土器 (6) | 45 |
| 第35図 | 縄文土器 (7) | 46 |
| 第36図 | 縄文土器 (8) | 47 |
| 第37図 | 縄文土器 (9) | 48 |
| 第38図 | 縄文土器 (10) | 49 |
| 第39図 | 縄文土器 (11) | 50 |
| 第40図 | 弥生土器 (1) | 52 |
| 第41図 | 弥生土器 (2) | 53 |
| 第42図 | 古墳時代の土器 (1) | 54 |
| 第42図 | 古墳時代の土器 (2) | 55 |
| 第42図 | 古墳時代の土器 (3) | 56 |
| 第45図 | 須恵器 | 57 |
| 第46図 | 須恵器・中近世の遺物 | 58 |
| 第47図 | 包含層出土石器 (1) | 59 |
| 第48図 | 包含層出土石器 (2) | 60 |
| 第49図 | 包含層出土石器 (3) | 61 |
| 第50図 | 包含層出土石器 (4) | 62 |

目 次

| | | |
|------|-------------|----|
| 第1表 | 周辺遺跡地名表 | 10 |
| 第2表 | 出土土器観察表 (1) | 66 |
| 第3表 | 出土土器観察表 (2) | 67 |
| 第4表 | 出土土器観察表 (3) | 68 |
| 第5表 | 出土土器観察表 (4) | 69 |
| 第6表 | 出土土器観察表 (5) | 70 |
| 第7表 | 出土土器観察表 (6) | 71 |
| 第8表 | 出土土器観察表 (7) | 72 |
| 第9表 | 出土石器計測表 (1) | 73 |
| 第10表 | 出土石器計測表 (2) | 74 |
| 第11表 | 出土鉄滓計測表 (1) | 75 |
| 第12表 | 出土鉄滓計測表 (2) | 76 |

図 版 目 次

| | | |
|-------|---|----|
| 図版 1 | 遺跡遠景・作業風景（伐採・草刈，発掘作業）・土層 | 77 |
| 図版 2 | IV層出土状況・縄文土器出土状況・1号住居N o 3出土状況 同N o 4出土状況・弥生土器出土状況・3号住居跡・溝状 遺構セクション・1号土壇 | 78 |
| 図版 3 | 5号住居跡土器出土状況・同N o 63出土状況・同Pit 検出状況 5号住居跡完掘状況・1号住居跡，2号住居跡，3号住居跡， 出土遺物写真（1～51） | 79 |
| 図版 4 | 5号住居跡出土遺物写真（52～80）・1号土壇出土遺物写真 （81～94）・遺構出土遺物写真（95～99）溝状遺構出土遺物 写真（95～106） | 80 |
| 図版 5 | 溝状遺構 1 出土遺物写真（107～152） | 81 |
| 図版 6 | 溝状遺構 1 出土遺物写真（153～163）・包含層出土遺物写真 一縄文土器（164～207） | 82 |
| 図版 7 | 包含層出土遺物写真一縄文土器（208～268） | 83 |
| 図版 8 | 包含層出土遺物写真一縄文土器（269～303）・弥生時代 （320～331・333） | 84 |
| 図版 9 | 包含層出土遺物写真一弥生時代（332～339）・古墳時代の土器 （340～402） | 85 |
| 図版 10 | 包含層出土遺物写真一古墳時代の土器（403～420）・須恵器 （421～444）・中近世の遺物（446～453）・石器（454～461） | 86 |
| 図版 11 | 包含層出土遺物写真一石器（462～493）・古墳時代の土器＝ 成川式土器の靱圧痕 | 87 |

第 I 章 調査の経過

第 1 節 調査に至るまでの経過

榎木原遺跡は、昭和60年度に国道269号線のバイパス建設工事に伴い、その一部については発掘調査が行われ、縄文時代早期から中・近世までの長い期間にわたる多数の遺跡・遺溝が発見された遺跡として知られていた。昭和63年度、鹿児島県土木部道路建設課において、一般地方道永吉高須線改良工事が計画されたため、計画地内に所在する同遺跡の取り扱いについて県教育庁文化課と協議が重ねられた。その結果、県土木部からの受託事業として、県教育委員会が緊急発掘調査を実施し、記録保存の措置を構ずることとなった。発掘調査は改良工事を前提として、排土処理・安全対策を策定していた。ところが、改良工事の時期が繰り下がったため排土の処理ができなくなり、防災上の観点から未調査部分を残すこととなった。

県教育庁文化課と県土木部道路建設課は未調査部分の取り扱いについて再度協議を行い、平成元年度に再調査を実施することになった。

第 2 節 調査の組織

| | | | |
|---------|------------|----------------------|-------|
| 調査主体者 | 鹿児島県教育委員会 | 教 育 長 | 濱里 忠宣 |
| 調査責任者 | 鹿児島県教育庁文化課 | 文 化 課 長 | 吉井 浩一 |
| 調査企画者 | 〃 | 課 長 補 佐 | 奥園 義則 |
| | 〃 | 主 幹 | 立園多賀生 |
| | 〃 | 主任文化財研究員兼 埋蔵文化財係長 | 吉元 正幸 |
| 調査担当者 | 〃 | 文化財研究員 | 堂込 秀人 |
| | 〃 | 主 事 | 児玉健一郎 |
| 調査事務担当者 | 〃 | 企画助成係長 | 京田 秀允 |
| | 〃 | 主 査 | 平山 章 |
| | 〃 | 主 事 | 末永 郁代 |

なお、当遺跡の出土遺物については、鹿児島県文化財保護審議会委員 河口貞徳氏、鹿児島大学法文学部教授 上村俊雄氏、同助手 本田道輝氏の指導・助言を得た。また、発掘調査にあたっては、鹿屋市教育委員会及び地元の方々の協力を得た。

第 3 節 調査の経過

発掘調査は、平成元年9月4日から同年9月29日まで行った。経過は日誌抄により以下記述する。

- 9月4日(月) 発掘調査開始。グリッド設定。発掘方法等諸注意及び説明。遺跡内の草刈り。
- 9月5日(火) E・F-19~21区掘り下げ。F-14~17区重機による表土掘り下げ。
- 9月6日(水) E・F-19・20区、E-21区掘り下げ。平板実測。遺物取り上げ。F-16~18区重機及び手作業による表土掘り下げ。
- 9月7日(木) E・F-19・20区、E-21区平板実測。遺物取り上げ。E・F-13~14区、

- F-15~18区重機及び手作業による掘り下げ。F-16~17区で溝状遺構2検出、掘り下げ。
- 9月8日(金) E・P-12~14区, F-15区掘り下げ。E・F-13~14区, F-15~18区平板実測, 遺物取り上げ。F-14~15区で1号住居跡検出。F-13区で5号住居跡検出。D-7区, D・E-8区, E-9~10区重機による表土掘り下げ。
- 9月12日(火) D・E-8区, E-9~12区掘り下げ。E-8~10区で溝状遺構を検出。D-5~7区重機による表土掘り下げ。
- 9月13日(水) D・E-8区, E-9~12区平板実測, 遺物取り上げ。D-5~7区掘り下げ。5号住居跡埋土掘り下げ。
- 9月14日(木) D-5~8区平板測量, 遺物取り上げ。溝状遺構1掘り下げ。F-16~18区掘り下げ。
- 9月18日(月) F-16~18区掘り下げ。溝状遺構1掘り下げ, 打製石斧, 成川式土器, 鉄滓等出土。平板実測, 遺物取り上げ。D-7~8区で2号住居跡出土, 掘り下げ。D-6~7区で3号住居跡検出。D-4~5区で1号土壇検出, 掘り下げ。
- 9月19日(火) 台風22号来襲のため発掘作業は午前中で中止。テントの固定, 発掘道具の片付けなどの台風対策を構じる。
- 9月20日(水) 溝状遺構1, 2号住居跡, 3号住居跡, 5号住居跡, 1号土壇掘り下げ。D-5~8区平板実測, 遺物取り上げ。
- 9月21日(木) 溝状遺構1平板実測, 遺物取り上げ, 断面実測。1号住居跡, 2号住居跡, D-5~8区掘り下げ。1号住居跡平板実測, 遺物取り上げ。
- 9月22日(月) 溝状遺構1ベルト除去。5号住居跡平板実測, 遺物取り上げ, 平面図, 断面図作成。D-5~7区掘り下げ, 平板実測, 遺物取り上げ。遺跡発掘地域(40分1)平板実測。F-16~17区Ⅺ層まで掘り下げ, F-19区で縄文早期土器出土D-3~4区重機による表土掘り下げ。
- 9月26日(火) F-16~17区, -1~4区掘り下げ, F-13~14区のⅩ層(アカホヤ層)掘り下げ。
- 9月27日(水) F-16区, D-1~4区掘り下げ。D-1~4区平板実測。F-14区に縄文早期の文化層の確認のためのトレンチ(1T)設定, 掘り下げ。D-5~7区重機によりⅩ層(アカホヤ層)掘り下げ。
- 9月28日(木) F-15~16区平板実測, 遺物取り上げ, 断面実測。E-1011区に縄文早期の文化層確認のためのトレンチ(2T, 3T)設定, 掘り下げ。1T~3T位置図作成。
- 9月29日(金) 発掘作業終了。道路上の土砂除去。各種道具類の返却。
- 10月2日~ 重富収蔵庫において, 整理作業開始。

第 II 章 遺跡の位置と環境

榎木原遺跡は鹿屋市高須町榎木原に所在する遺跡である。鹿屋市は、大隅半島の中央部に位置し、北部に大筥柄岳^{おおのからだけ}（1,237m）を主峰とする高隅山系、南部に甫与志岳^{はよしだけ}（968m）を主峰とする国見山系が連なり、西部は錦江湾に接し、市の大半はシラス台地からなる。市の中心地は肝属川を挟む盆地で、東北部には広大な笠野原台地が広がっている。肝属川は、水量が豊かで、東に流れ太平洋に注ぐ。高須町は鹿屋市の西南部に位置し、東には標高176mの霧島ヶ丘を中心とする小さな山塊がある。霧島ヶ丘の西側から南側にかけては緩やかな裾野で、この裾野が台地状になって錦江湾に面し、台地の先端はガケ状に落ち込んでいる。遺跡は、西側を海岸で、東側をシラス台地を侵食して形成された小さな谷で、北側を高須川によって囲まれた標高約46mの長方形の台地に立地する。湧水地点には、「立神」と称する水神が祭られている。山裾で、海岸から近く、谷頭には湧水地点があり、遺跡の立地条件に恵まれている。このため古くから人々が住み着き、昭和60年の発掘調査においては、縄文時代早期から古墳時代の遺構・遺物が大量に出土し、量的には少ないが中・近世の遺物も出土している。今回は、この台地の東側の部分について発掘調査を実施した。

周辺には、東側に谷を挟んで立神遺跡が、北に高須川を挟んで岩の上遺跡が、霧島ヶ丘の山裾にキタバイ遺跡・谷平遺跡が、山頂部に霧島ヶ丘遺跡が、南には海岸砂丘の後背地や沖積地の微高地に立地する下西原遺跡・浜田小南遺跡・宮の尾遺跡がある。

立神遺跡は、昭和59年に発掘調査された。遺構として、土壇・溝状遺構が検出され、縄文時代後期から晩期の、市来式・入佐式・黒川式の土器と、打製土掘具などの石器、古墳時代の土器が出土し、榎木原遺跡と極めて性格が似た遺跡である。岩の上遺跡は昭和61年に発掘調査され、縄文時代早期の集石遺構と、石坂式・吉田式の土器が出土している。谷平遺跡は昭和59年に調査され、縄文時代早期の集石遺構と、前平式・石坂式などの土器が出土している。

キタバイ遺跡・下西原遺跡・浜田小南遺跡・宮の尾遺跡・浜田遺跡は、弥生時代から古墳時代の遺跡である。

これらの遺跡の分布状況から、縄文時代は採集・狩猟生活が中心であったので、榎木原遺跡・岩の上遺跡・霧島ヶ丘遺跡・谷平遺跡などの縄文時代の遺跡に山裾部に分布し、弥生時代に限り生産関係の変化にともなって沖積地に移動していった様子を概観することができる。

また、中世においても、遺跡の立地する台地は、高須川側に高須古城があり、海岸側に金比羅山城があったと言われており、これに伴う遺構の存在も考えられ、この台地は、縄文時代早期から中世にいたる複合遺跡である可能性が大きいと考えられる。

*鹿屋市全域の遺跡については、榎木原遺跡Ⅱに詳しい。

第1表 周辺遺跡地名表

| No. | 遺跡名 | 所在地 | 時代 | 備考 | 文献 |
|-----|-------|----------|-------|-------------------------|----|
| 1 | 小野原 | 小野原町 | 古・歴 | 土器片採集 | |
| 2 | 丸岡 | 小野原町 | 古・歴 | 成川式土器・鉄滓採集 | |
| 3 | 天神 | 天神町 | 古墳 | 成川式土器片採集 | |
| 4 | 大津 | 野里町 | 弥・古 | 土器片採集 | |
| 5 | 野里小西 | 野里町 | 縄・古 | 土器片採集 | |
| 6 | 野里の古墳 | 野里町1826 | 古墳 | 円墳3基 | |
| 7 | 岩之上 | 高須町岩之上 | 縄文 | 石坂・吉田式 | ① |
| 8 | 榎木原 | 高須町榎木原 | 縄文～歴史 | 住居跡, 早期～晚期土器他 | ②③ |
| 9 | 立神 | 高須町立神 | 縄・古・歴 | 土壙, 市来式・晚期土器他 | ④ |
| 10 | キタバイ | 高須町キタバイ | 弥・古 | 土器, 石器 | |
| 11 | 霧島ヶ丘 | 霧島ヶ丘公園 | 縄文 | 吉田・塞ノ神式 S59調査 | |
| 12 | 谷平 | 横山町 | 縄・古 | 早期, 住居跡, 土器, S59, S63調査 | ⑤ |
| 13 | 松の丘 | 横山町松の岡 | 古・歴 | S24調査, 住居跡 | |
| 14 | 横山1 | 横山町 | 古墳 | 土器片採集 | |
| 15 | 横山2 | 横山町 | 古墳 | 土器片採集 | |
| 16 | 横山3 | 横山町 | 古墳 | 土器片採集 | |
| 17 | 岡元 | 横山町岡元 | 弥・古 | 石斧, 土器片採集 | |
| 18 | 下西原 | 浜田町下西原 | 弥・古・歴 | 成川式土器, 青磁 | |
| 19 | 浜田小南 | 浜田町浜田小学校 | 弥・古 | 壺形土器 | |
| 20 | 宮の尾 | 浜田町宮地 | 弥・古 | 土器片・石器採集 | |
| 21 | 浜田 | 浜田町 | 古墳 | 土器片採集 | |
| 22 | 瀬筒原 | 大始良町瀬筒原 | 弥・古・歴 | 成川式土器 | |
| 23 | 小永崎 | 大始良町小永崎 | 縄文～歴史 | 成川式, 土師器, 白磁 | |
| 24 | 藤崎原 | 大始良町藤崎原 | 縄・古 | 石斧, 土器片採集 | |
| 25 | 茶園ノ上 | 大始良町茶園ノ上 | 縄・古 | 黒色研磨土器, 成川式 | |
| 26 | 永崎原 | 大始良町永崎原 | 縄文～歴史 | 成川式, 青磁 | |
| 27 | 諏訪尾 | 大始良町諏訪尾 | 縄・古 | 成川式 | |
| 28 | 山神 | 大始良町山神 | 縄文 | 土器片採集 | |
| 29 | 本村原 | 大始良町本村原 | 弥・古 | 土器片採集 | |
| 30 | 小浜 | 浜田町小浜 | 古墳 | 小型完形壺 | |
| 31 | 平原 | 浜田町 | 古墳 | 笹貫式 | |
| 32 | 岡泉 | 野里町 | 縄文～古墳 | 縄文晚期土器他 | ⑥⑦ |
| 33 | 大畑平 | 野里町 | 縄文～古墳 | 石坂式土器・成川式土器他 | ⑧ |

文献

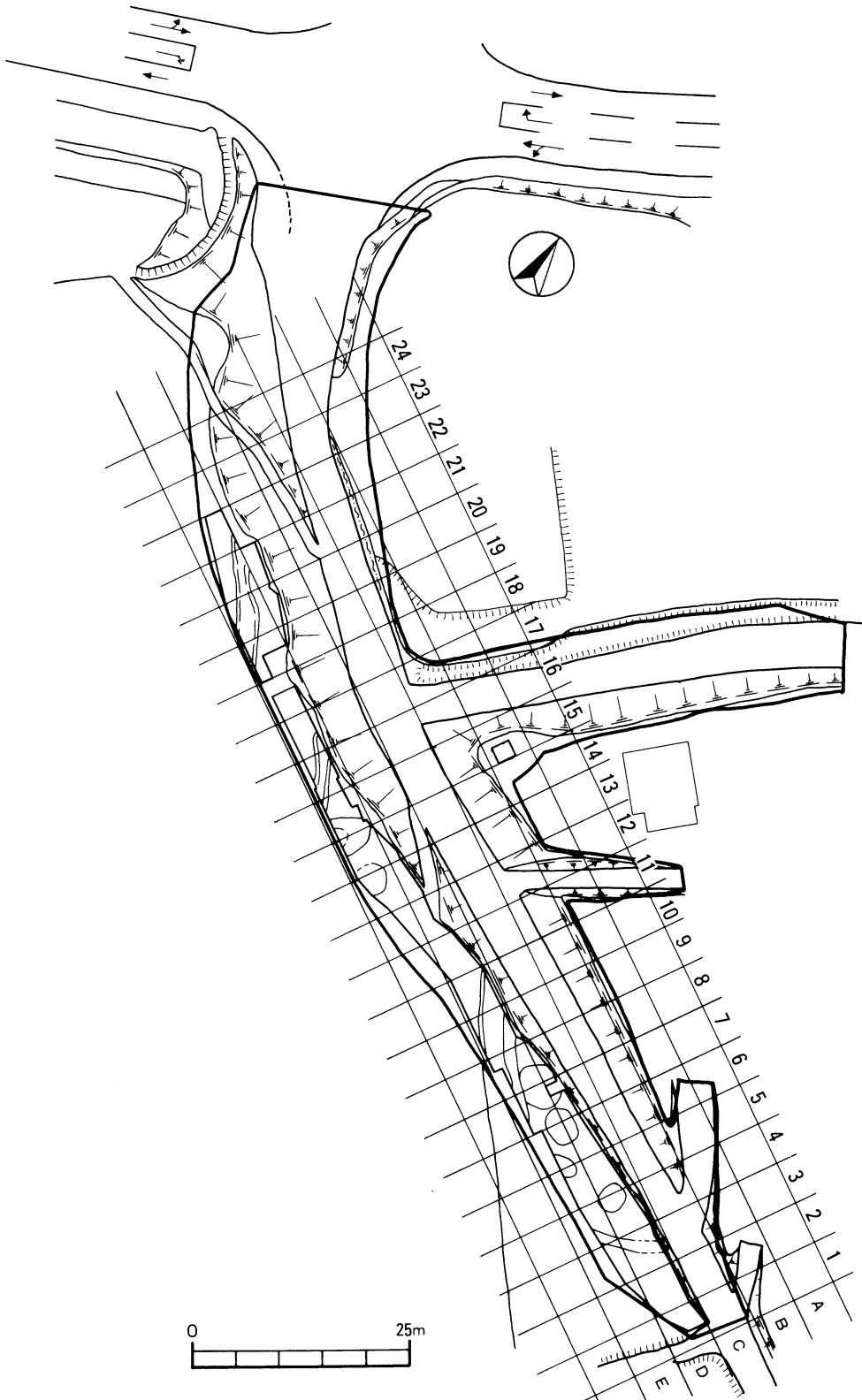
- ① 鹿屋市教育委員会「岩之上遺跡」鹿屋市埋蔵文化財発掘調査報告書(6) 1987
- ② 鹿児島県教育委員会「榎木原遺跡」鹿児島県埋蔵文化財発掘調査報告書(44) 1987
- ③ 鹿児島県教育委員会「榎木原遺跡Ⅱ」鹿児島県埋蔵文化財発掘調査報告書(51) 1989
- ④ 鹿屋市教育委員会「立神遺跡」鹿屋市埋蔵文化財発掘調査報告書(9) 1988
- ⑤ 鹿屋市教育委員会「谷平遺跡」鹿屋市埋蔵文化財発掘調査報告書(15) 1989
- ⑥ 鹿屋市教育委員会「岡泉(Ⅰ)遺跡」鹿屋市埋蔵文化財発掘調査報告書(12) 1989
- ⑦ 鹿屋市教育委員会「岡泉(Ⅱ)遺跡」鹿屋市埋蔵文化財発掘調査報告書(13) 1989
- ⑧ 鹿屋市教育委員会「大畑平遺跡」鹿屋市埋蔵文化財発掘調査報告書(11) 1989

その他については、下記の文献を参考にして作成した。

- 鹿児島県教育委員会「大隅地区埋蔵文化財分布調査概報」鹿児島県埋蔵文化財発掘調査報告書(25) 1983
- 鹿児島県教育委員会「鹿児島県市町村別遺跡地名表」鹿児島県埋蔵文化財発掘調査報告書(36) 1985



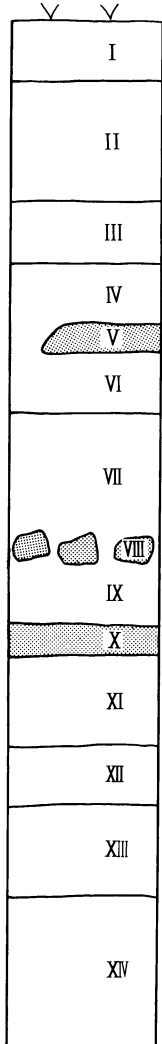
第2図 榎木原遺跡周辺の地形図



第3図 グリット配置図

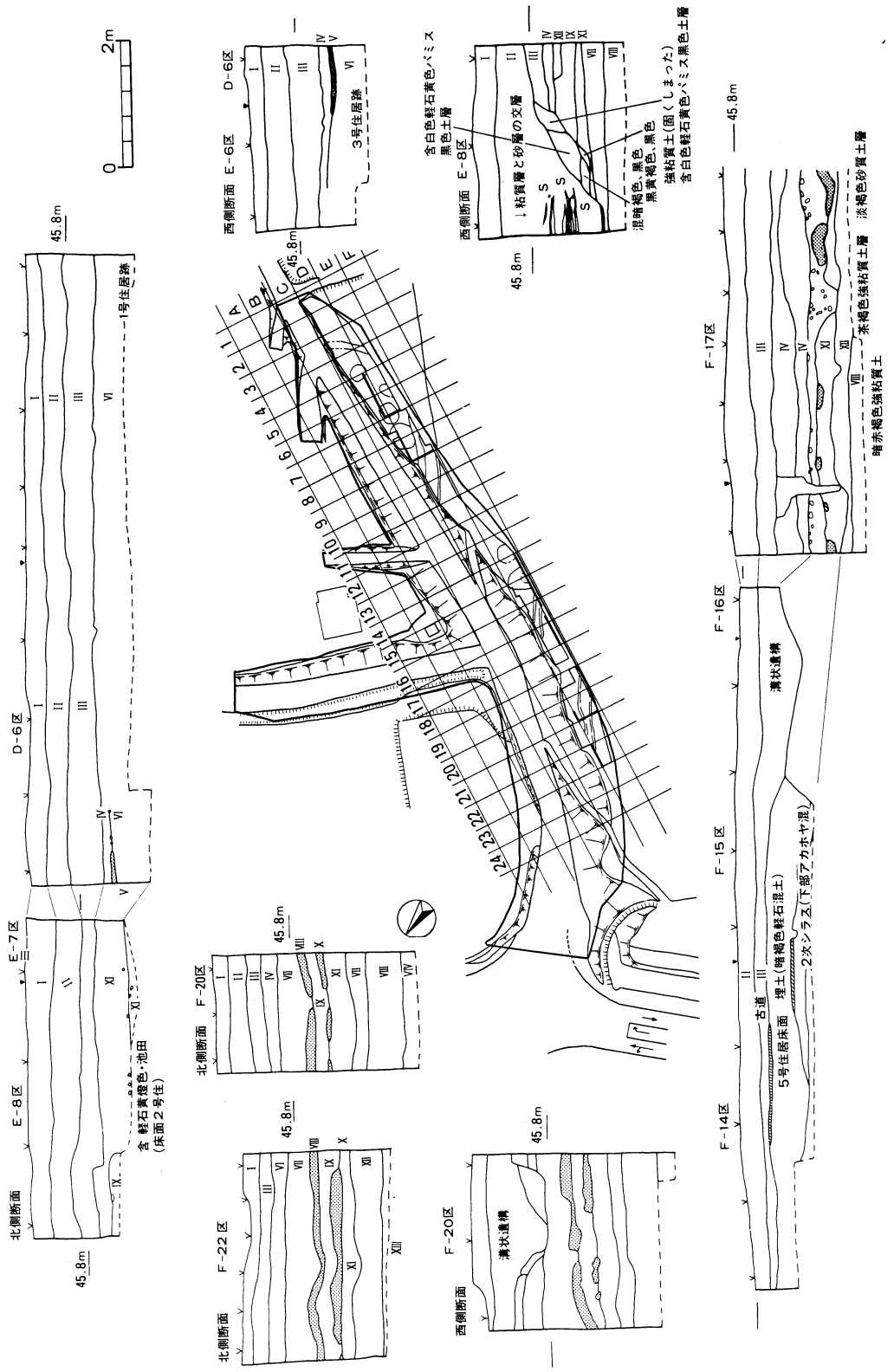
第 Ⅲ 章 層 序

遺跡内の地層は場所によって層序に若干の相違はあるが、基本的にはⅠ層耕作土からⅩⅣ層シラスまで第4図のように14層に区分できる。昭和60年度の調査地域と比較すると今回の層位は深く、各層の厚みもあった。遺物の出土は、Ⅵ層に集中した。

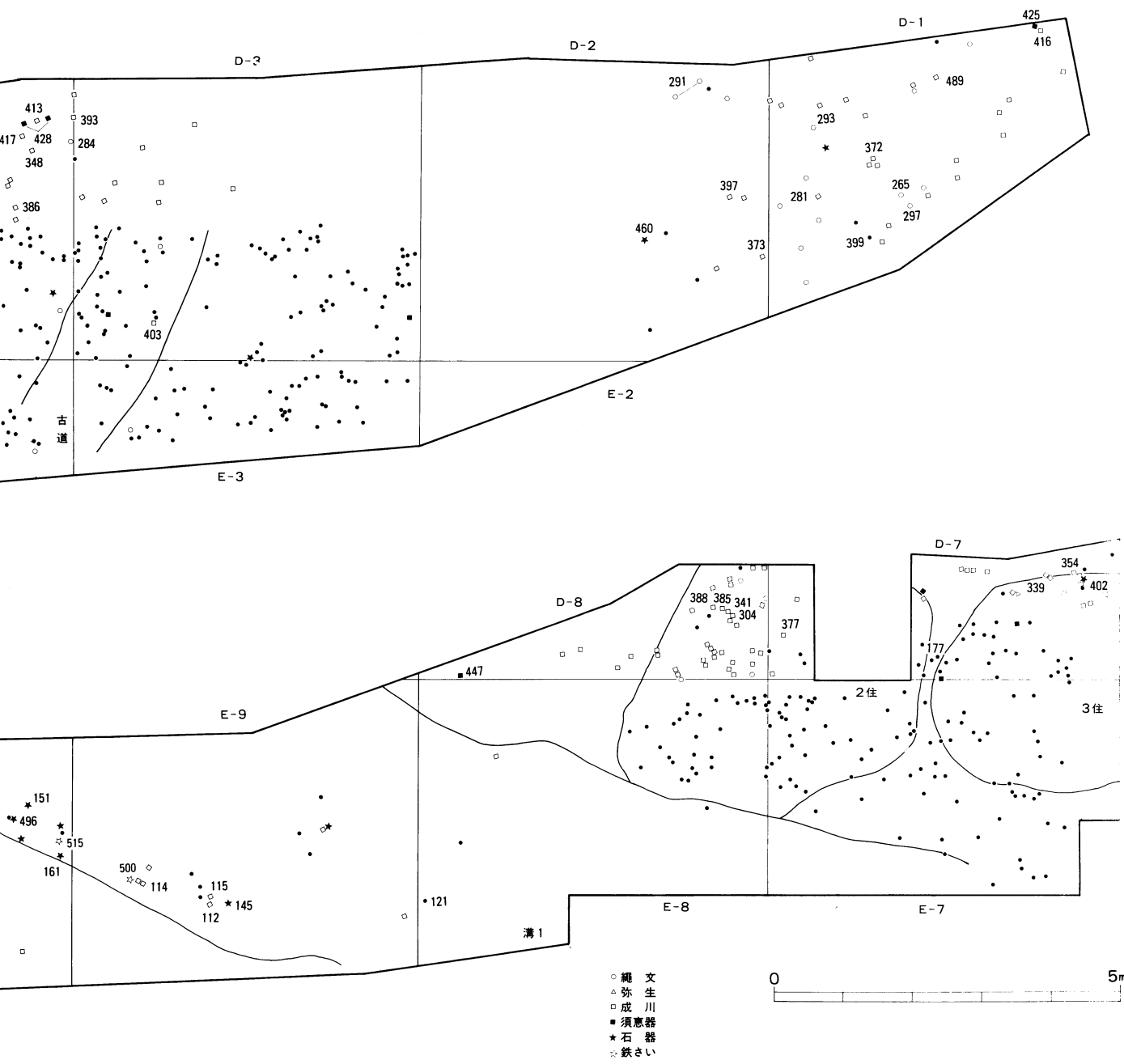


- Ⅰ層 褐色の耕作土。色調によって2～3層に区分できる。
- Ⅱ層 暗灰褐色土。2～3mm位の白色軽石を含む。東側に厚く西側にいくに従い薄くなる。
- Ⅲ層 黒褐色土。粘質がなくサラサラしている。Ⅱ層同様、東側で厚く西側に行くに従い薄くなる。
- Ⅳ層 暗褐色土。全体にやわらかく粘質もなくサラサラしている。
- Ⅴ層 暗青紫色火山灰土。D・E-6区の3号住居跡の埋土上部にブロック状に薄く平行に堆積している。開聞岳火山起源の火山噴出物と考えられ、平安時代に比定される。
- Ⅵ層 明茶褐色土。Ⅴ層の確認される地点ではⅣ層との区別ができるが、全体として区別が難しい。
- Ⅶ層 暗茶褐色土。やや粘質を帯びる。
- Ⅷ層 黄白色軽石。池田火山起源の池田降下軽石。卵大の軽石で、上下20cm程度の幅で暗茶褐色土中に点在している。
- Ⅸ層 黄褐色土。Ⅹ層の火山灰に有機質が混在したもので、粘質が弱く、径2mm前後の軽石を含む。
- Ⅹ層 明黄色土。鬼界カルデラ火山噴出物。噴出物の性質により降下火山灰・火砕流堆積物・降下軽石に分けられる。
- Ⅺ層 暗黄褐色土。明るい肌色を呈する硬質の火山灰で、比較的細粒である。
- Ⅻ層 黒褐色土。濃い黒色で粘性が高く、径5mm前後の軽石混じりで乾くとクラックが発達する。下部には約11,000年前の桜島起源の軽石層（薩摩火山灰）が部分的にみられる。
- Ⅼ層 暗茶褐色粘土。極めて微粒で粘性が高く、乾くとクラックが発達する。
- Ⅽ層 シラス（A T火山灰）

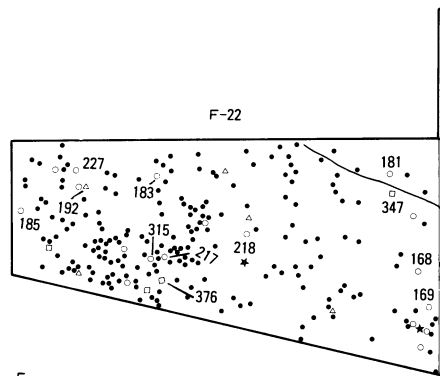
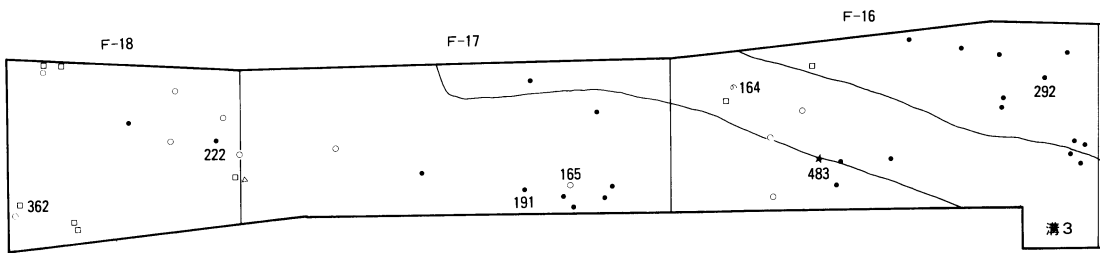
第4図 土層柱状図



第5図 土層図

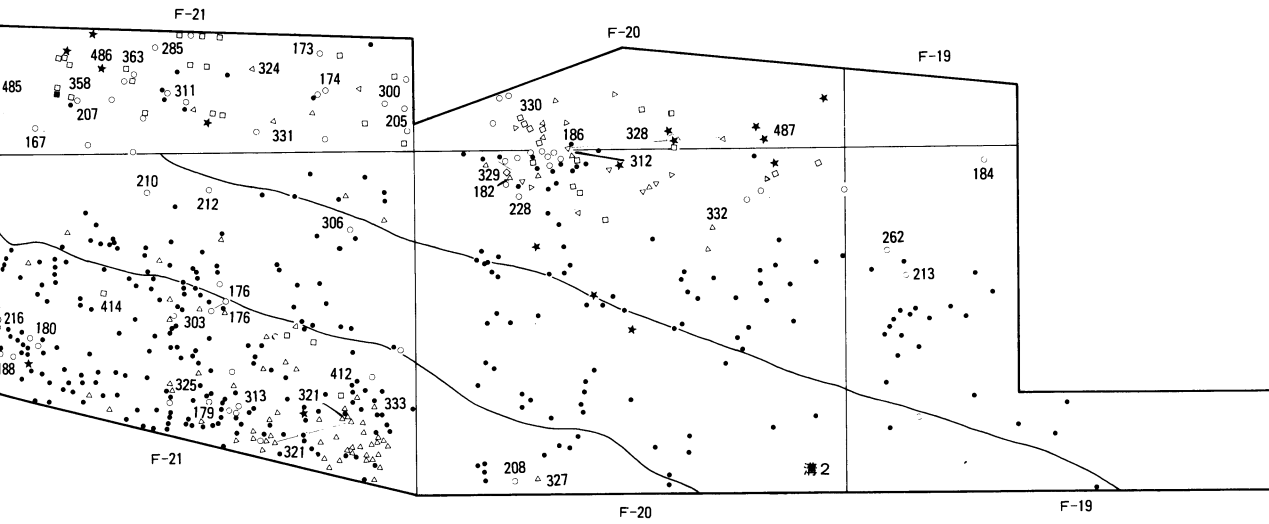
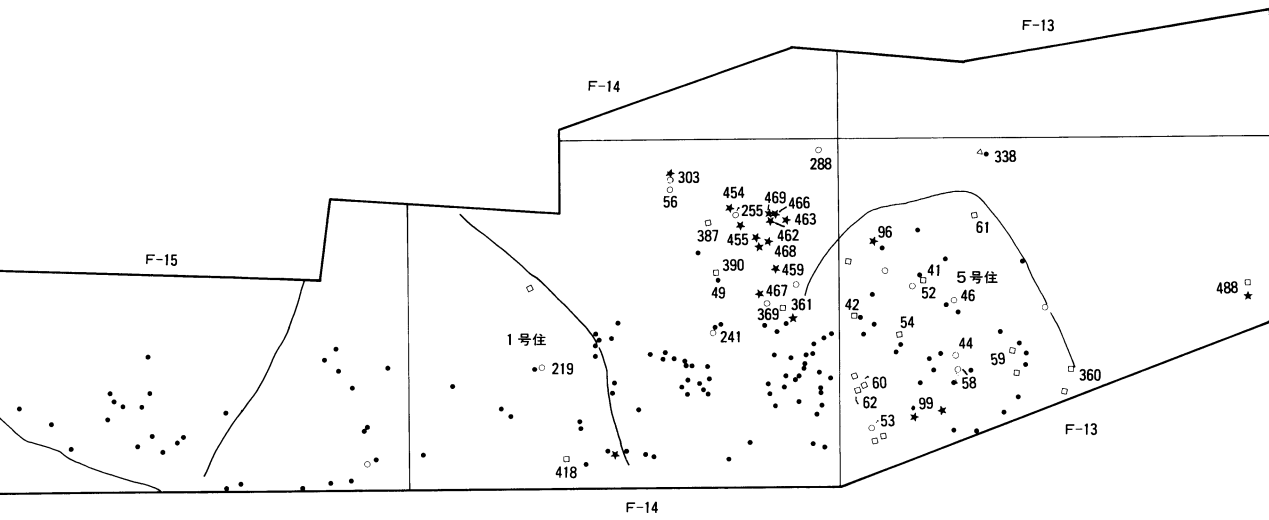


第6図 遺物出土状況(1)



- 縄文
- △ 弥生
- 成川
- 須恵器
- * 石器
- 鉄さい





第7図 遺物出土状況(2)

第 IV 章 調査の概要

第 1 節 調査の概要

前回、道路改良の工事図面測量ポイントを基準として 5 m 枠のグリッドを設定し、東側から 1～23区、北側より A～F 区と名称した。今回もこれを用い、前回の未調査部分の D-8 区、E-8～11区、F-11～13区、F-16～18区と、既調査区で土手として残っていた部分について調査をおこなった。

前回の調査で、I 層～III 層・VIII 層以下は遺物の出土はなかったが、昭和60年の発掘調査では、VIII 層以下からも遺物が出土しており、これらの結果を踏まえながら調査をおこなった。今回の発掘調査の手順は次のとおりである。I～III 層については重機によるはぎ取りをおこない、IV 層からは遺物・遺構の検出作業をおこなった。F-16・17区については堆積状況をつかむため先行して、XIV 層（シラス）上面まで掘り下げ、その他の部分については、VIII 層上面まで全体的に掘り下げ、精査しながら遺構検出作業をおこなった。F-16・17区の XI 層から、縄文時代早期の遺物が出土したため、さらに、VIII 層～X 層をふたたび重機によってはぎ取った。また XI 層を掘り下げた後、10m 毎にトレンチを設定して、XIV 層（シラス）上面まで確認作業を行い発掘作業を終了した。最終的に XIV 層までの確認トレンチを設定したグリッドは、D・E-3、D・E-6、E-8、F-11、12、14、20、22の合計 8ヶ所で、各トレンチにおいて遺物・遺構は確認されなかった。

基本的な土層の堆積状況は、F-10～12区がそれぞれの層で薄く堆積しており、これより東側では、I～III 層が厚くなる。F-16～18区では XI 層以下が深くなっており、XI 層堆積前まではこの部分は僅かに谷になっており、XI 層が流れ込んだものと考えられる。F-16区の縄文時代早期の土器に関しては、台地上に遺跡が存在しているものの、今回の発掘調査域にはなかったものと判断した。V 層については D-6 区の 3号住居跡上に層としての堆積をなすほかは、ブロック状にわずかに点在し、IV 層と VI 層の区別は発掘作業中には困難であった。

遺物出土状況は前回と同じく、IV 層・VI 層では縄文時代晩期から平安時代・中世までの遺物が混在し、VII 層は縄文時代前期から弥生時代までの遺物を包含するなど各時期において攪乱を受けており、遺物は細片が多かった。

遺構は、前回検出した遺構の残部の、住居跡 3基（1号～3号）・土壇 1基・溝状遺構 3条と、新たに 5号住居跡が検出された。

第 2 節 遺 構

前回 F-14、F-15区にかけて、IV 層を掘り下げ中に、浅鉢と小型壺の完形土器が出土した。そこで住居跡を考慮しながら慎重に検出したが、床面がおさえられたのみで、柱穴・壁面は検出できなかった。床面は、東西 230cm×南北 140cm の範囲になるが、検出中に西側において、床面を若干掘り込んでしまっている。床面を追っていくなかで床面の東西に幅 450cm～500cm のやや色調の違いを認めた。住居跡の土層を観察しても、掘り込み面、壁面は確認できず、南側に



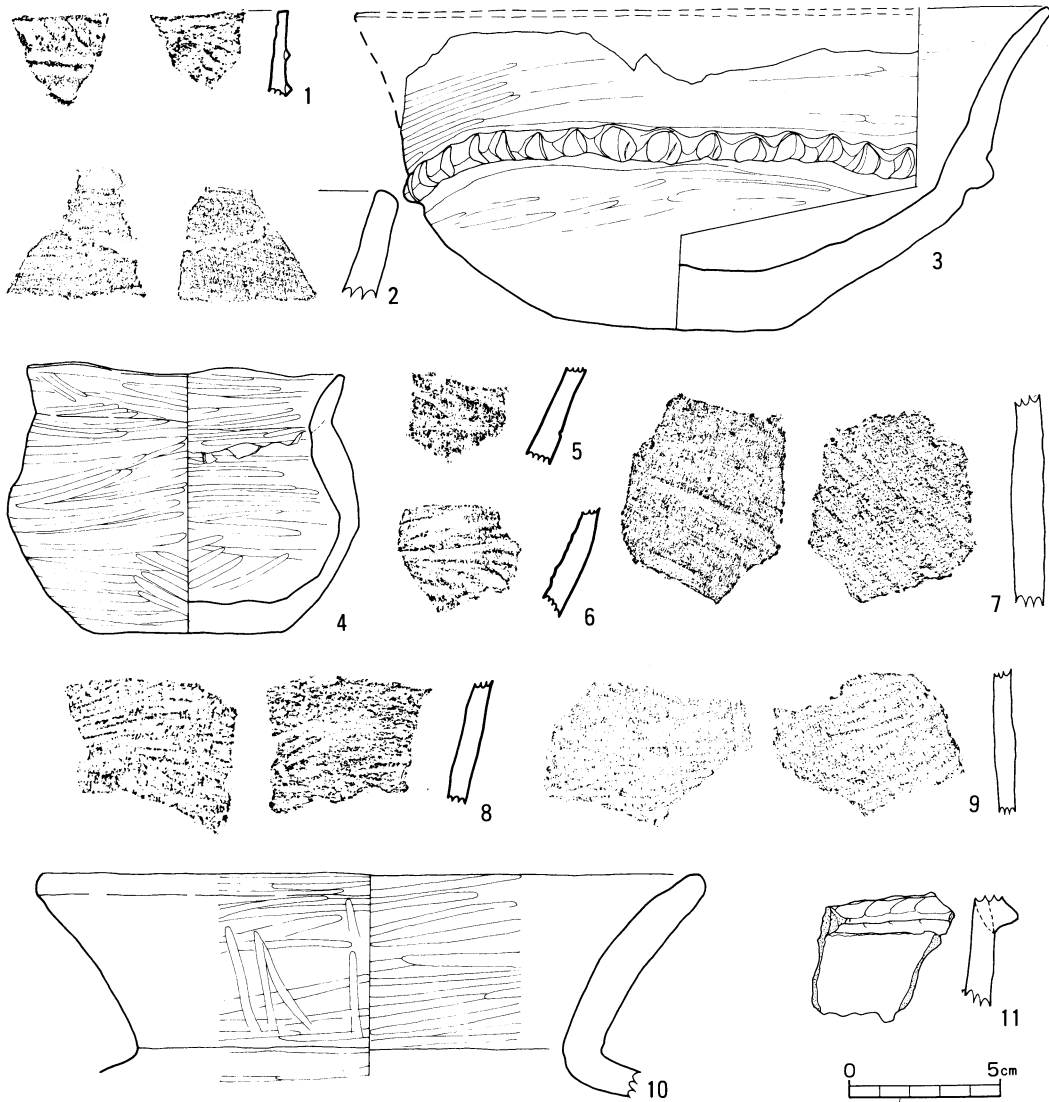
第8図 1号住居跡及び遺物出土状況

においては床面のすぐ上まで攪乱されていると考えられる。今回は、掘り込み面を確認できたもののプランは不明である。

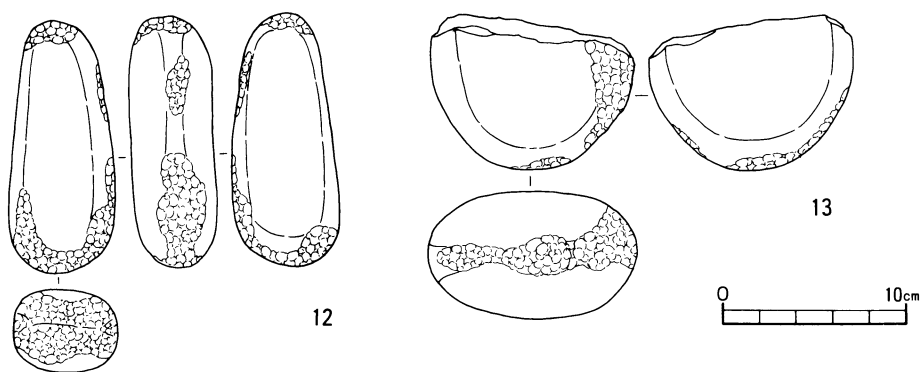
出土遺物については、3と4の完形土器が床面と判断できる固い面に底部が埋まった状態で出土し、12・13の石器も同一レベルから出土している。1・6・10・11は縄文時代晩期の土器ではないが、これらを除くと、出土している土器は縄文時代晩期の土器である。10の壺は、レベル的には3・4と同一レベルから出土しているが、土器の器形・調整・色調など弥生時代後期をさかのぼらない時期の壺である。10の頸部以下同一個体の他の部分の破片は、あたりにはまったくみあたらないことから流れ込みの可能性が高い。これらの状況から縄文時代晩期の住居跡と考えられる。

(2) 2号住居跡 (第11図, 第12図)

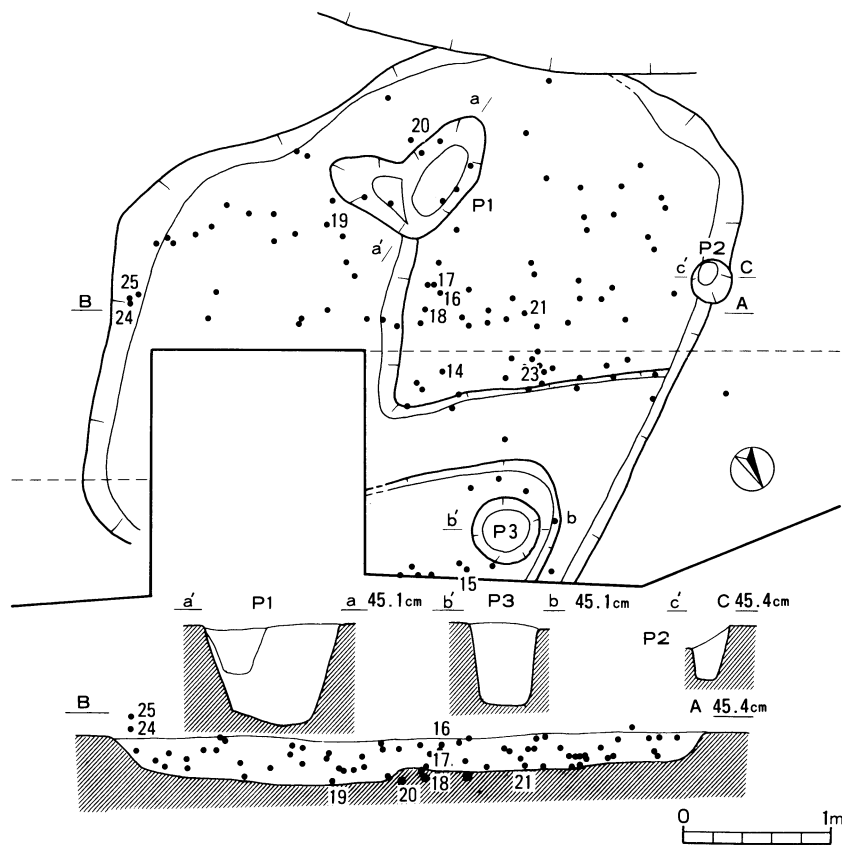
E-8図の西側・VII層中で色調の変化をとらえたが、プランが明確でなく、最終的にはVIII層上面で把握した。住居跡は南側を溝状遺構1によって切られている。最大幅で400cmをはかる。床面は西側では把握できたが東側でははっきりせず、掘りあげた時には一段低くなってしまった。



第9图 1号住居跡出土土器



第10图 1号住居跡出土石器

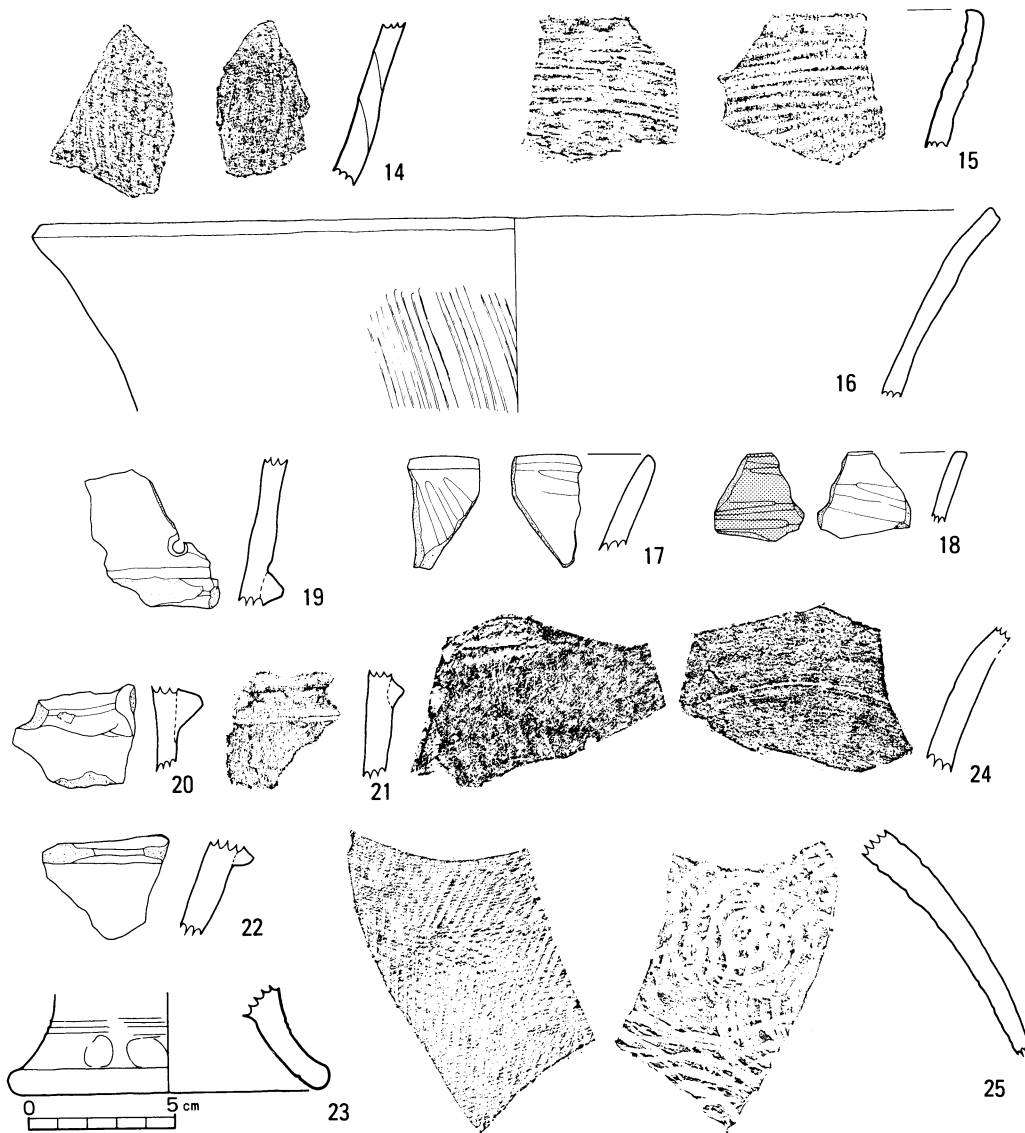


第11図 2号住居跡及び遺物出土状況

中央部南側よりにP1が、東側壁面にP2、北側にP3が検出された。P2は埋土が新しく住居跡に伴わないものである。P1・P3については、住居跡に伴うものであるが、柱穴かどうか判断できない。北側に別の遺構が存在する可能性も考えられないこともないが、存在してもすでに現道によってきられているものと考えられる。北側を含めて、プランはほぼ隅丸方形と考えられる。

埋土に多くの土器の小破片を包含していた。14・15は縄文時代晩期の土器の破片であり、16～23の胎土、色調、焼成はいずれも共通して成川式の甕である。24・25は須恵器である。

遺物はほとんどが古墳時代以降の時期の遺物であって、色調に変化のあった層の層位的位置からも古墳時代終末頃の住居跡と考えられる。

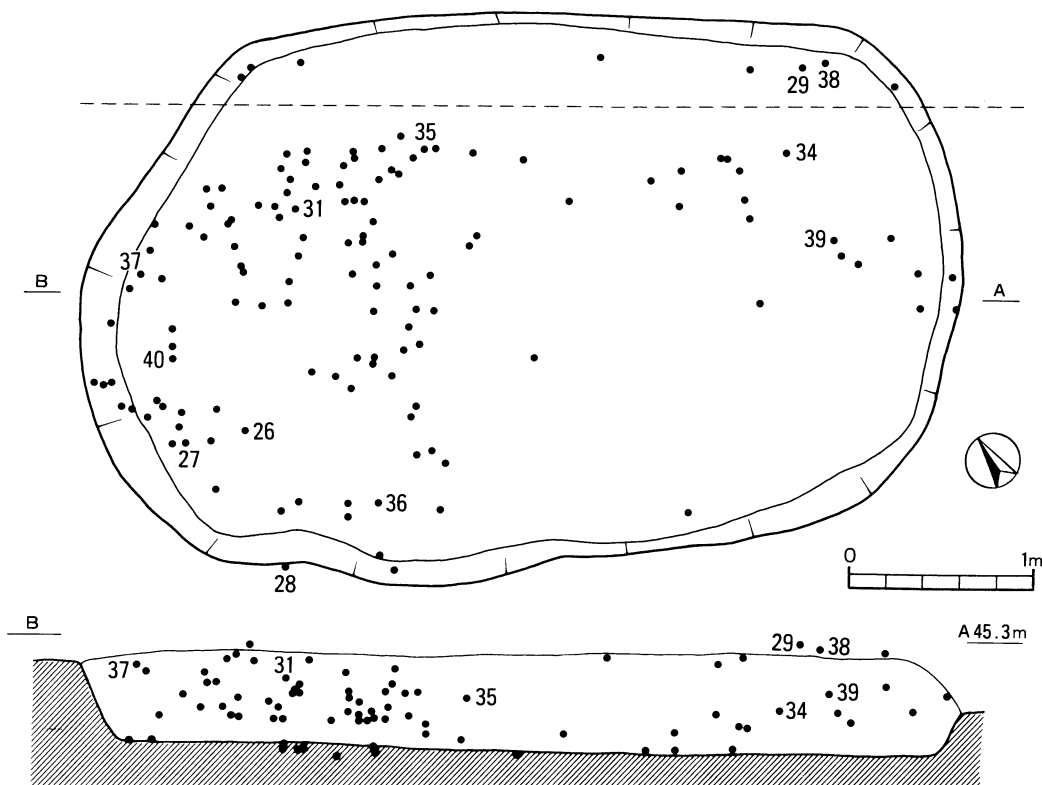


第12図 2号住居跡出土土器

(3) 3号住居跡 (第13図, 第14図)

IV層とVI層は掘り下げ中は区別がつきがたかったが、D-6区に、開聞岳の噴出物(紫ゴラ)がレンズ状に堆積しているのが認められ、IV層とVI層を以後区別していく契機になるとともに、堆積状況から下層に凹地の存在を暗示するものであった。壁面を観察しながら検出作業をおこなったが、明確な掘り込み面はつかめないまま、D-6, 7区, VIII層上面で検出した。東西を長軸(480cm)とする楕円形のプランで、床面と考えられるやや堅い面を残しているが、柱穴は検出できなかった。

第14図上の26と2, 3点の土器片を除き、出土した土器片は古墳時代終末に位置付けられる。出土状況からもこの時期の住居跡であろう。39の須恵器については、接合できる破片が、かな



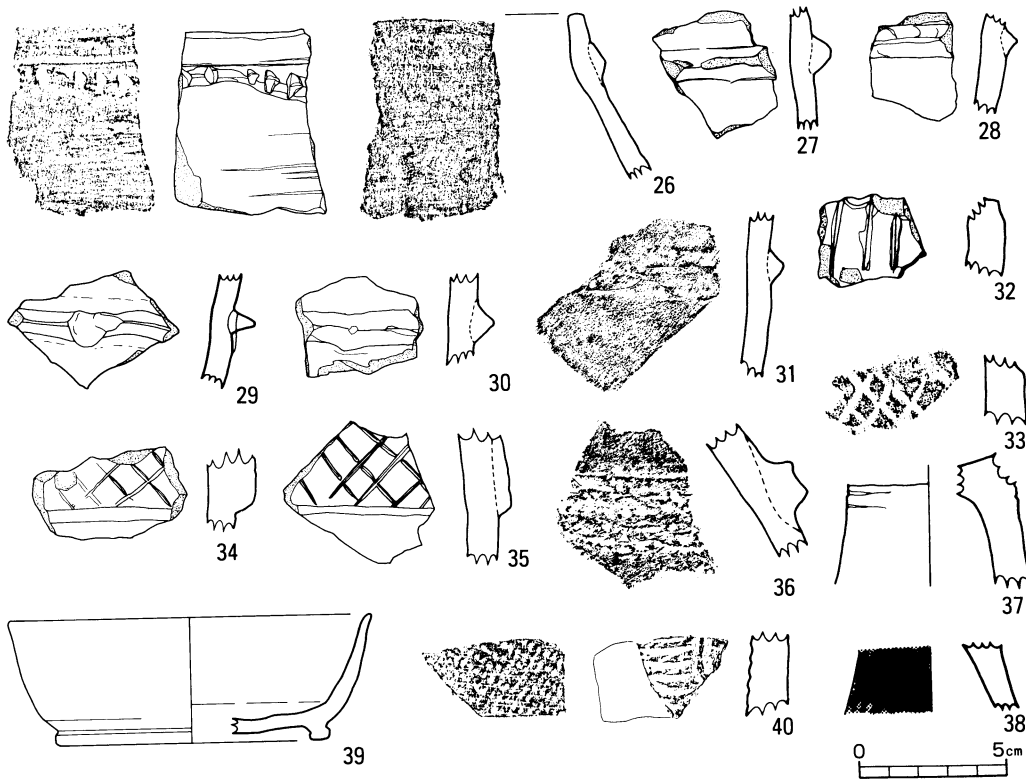
第13図 3号住居跡及び遺物出土状況

り離れて出土しており、3号住居跡の時期決定のための確定的な資料と言えない。

(4) 5号住居跡 (第15図, 第16図, 第17図, 第18図)

F-11~15区の部分は、畑作による攪乱で、IV層・VI層が他の部分より、薄く堆積している。IV層が切り取られている可能性が強いが、V層が存在せず、色調だけではIV層かVI層かつかめなかった。この層を掘り下げていたところ、色調の変化をとらえたが鍵層であるV層（開聞岳噴出物—平安時代初頭に相当）の上か下か、把握できなかったのは残念であった。住居跡と判断して、10cm程掘り下げたところ、遺物が面的に出土した。その出土状況が第18図である。遺物取り上げ後、南側の壁際で、固くしまった面を、南北1m・東西2m50cmの範囲で検出した。固くしまった面は中央付近まで広がっていた。さらに中央部に焼土が堆積していた。セクションで見られるとおり、固くしまった面と焼土のレベルがほぼ同じで、堆積状況から、これを生活面と考え、床面としてとらえることができる。遺物も、現位置に近い状況であったらうと、判断できる。掘り込み時の底面はIX・X層（アカホヤ層）のところまで掘られ、床面とのあいだの堆積については、どう判断していいか、資料の増加を待ちたい。

PitはP1~P4が検出された。P1は底面から掘り込まれ、段ぼりしてある。P2~P4は床面から掘り込まれている。P2, P4の底近くからは、成川式の土器片がそれぞれ1点ず



第14図 3号住居跡出土土器

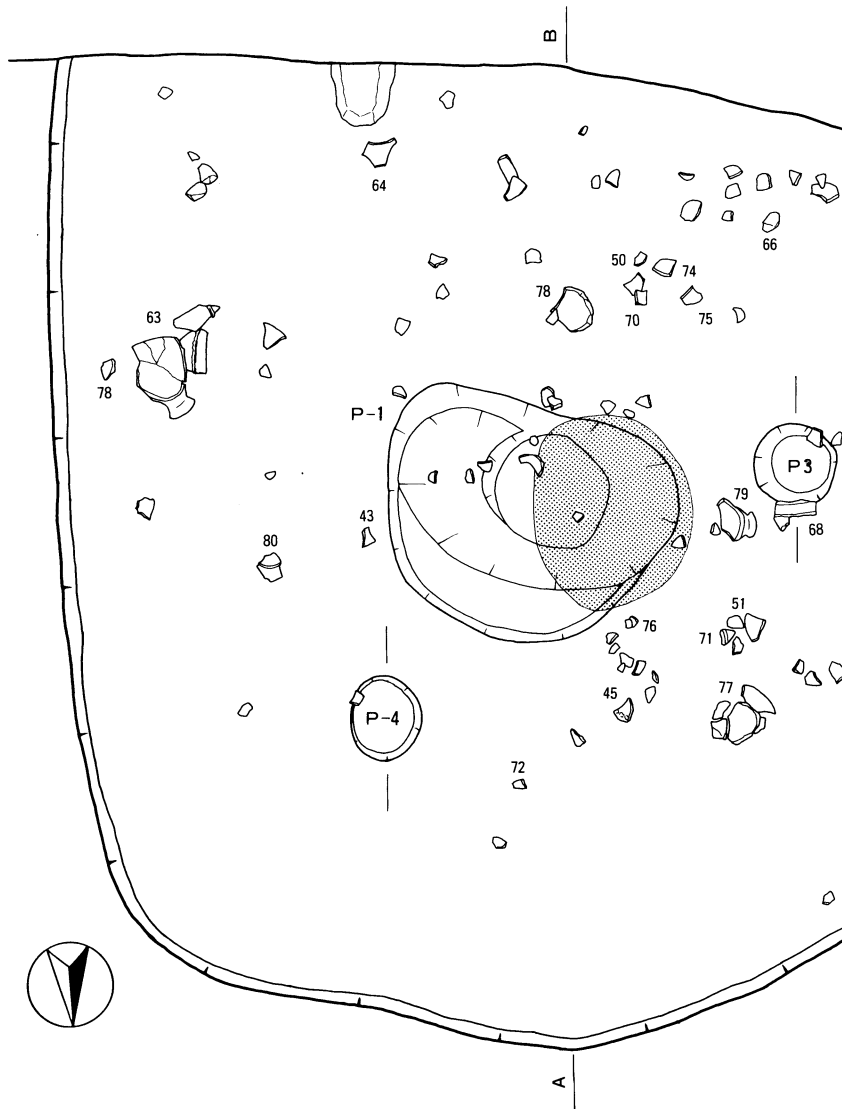
つ出土した。P 2～P 4は柱穴であろう。

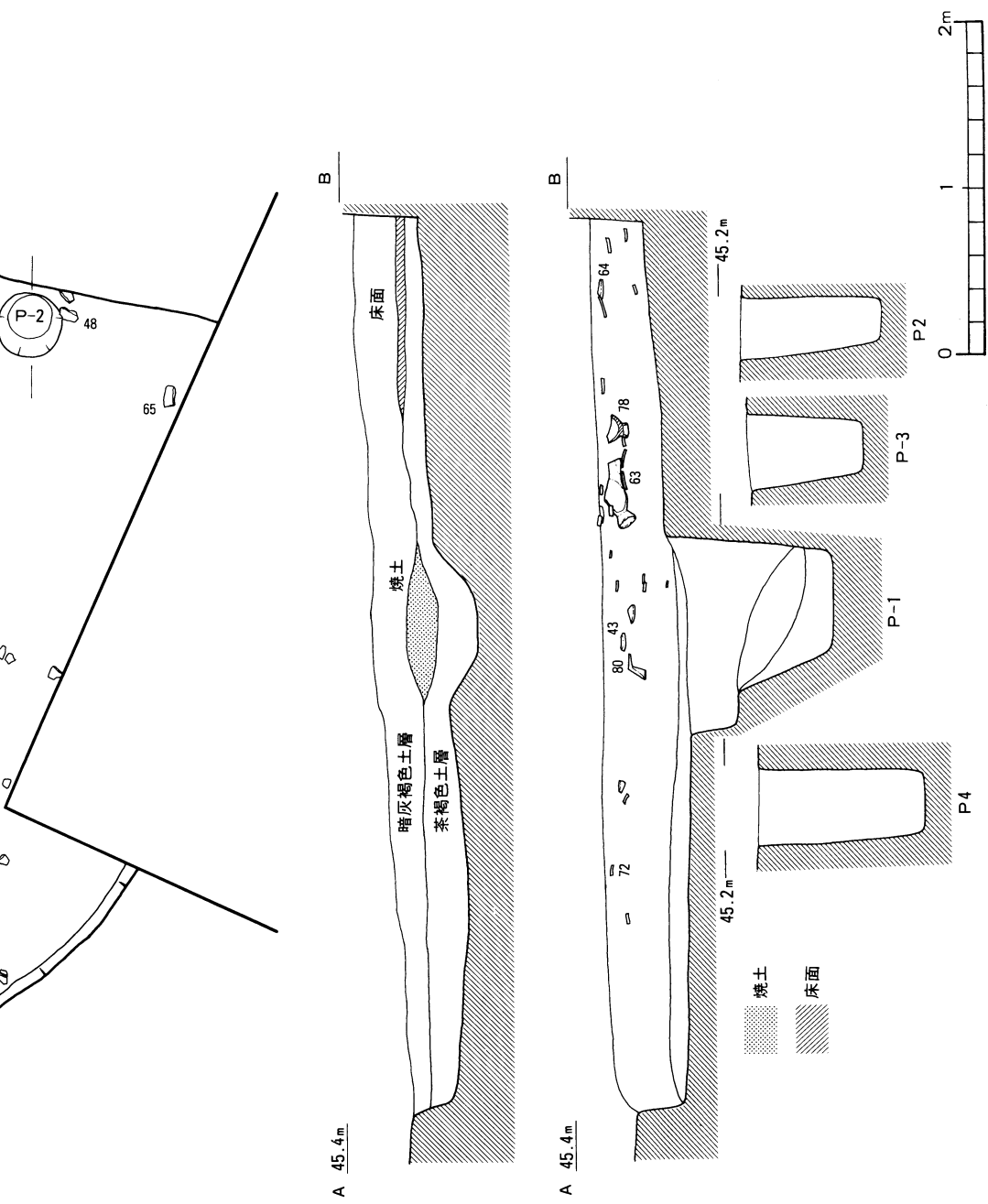
遺物は、埋土中に縄文時代晩期から古墳時代にかけての遺物（第16図）を包含するが、出土状況と、Pit出土土器から、第17図の成川式に大きくくくられる。時期的には成川式の使われる時期の後半の時期に当たり、古墳時代の終わり頃の住居跡と考えられる。鉢形土器・高杯形土器・小型甕形土器・壺形土器の突帯部分がセットで出土し、成川式の細分をおこなううえで良好な資料と言える。

(5) 1号土坑（第19図，第20図）

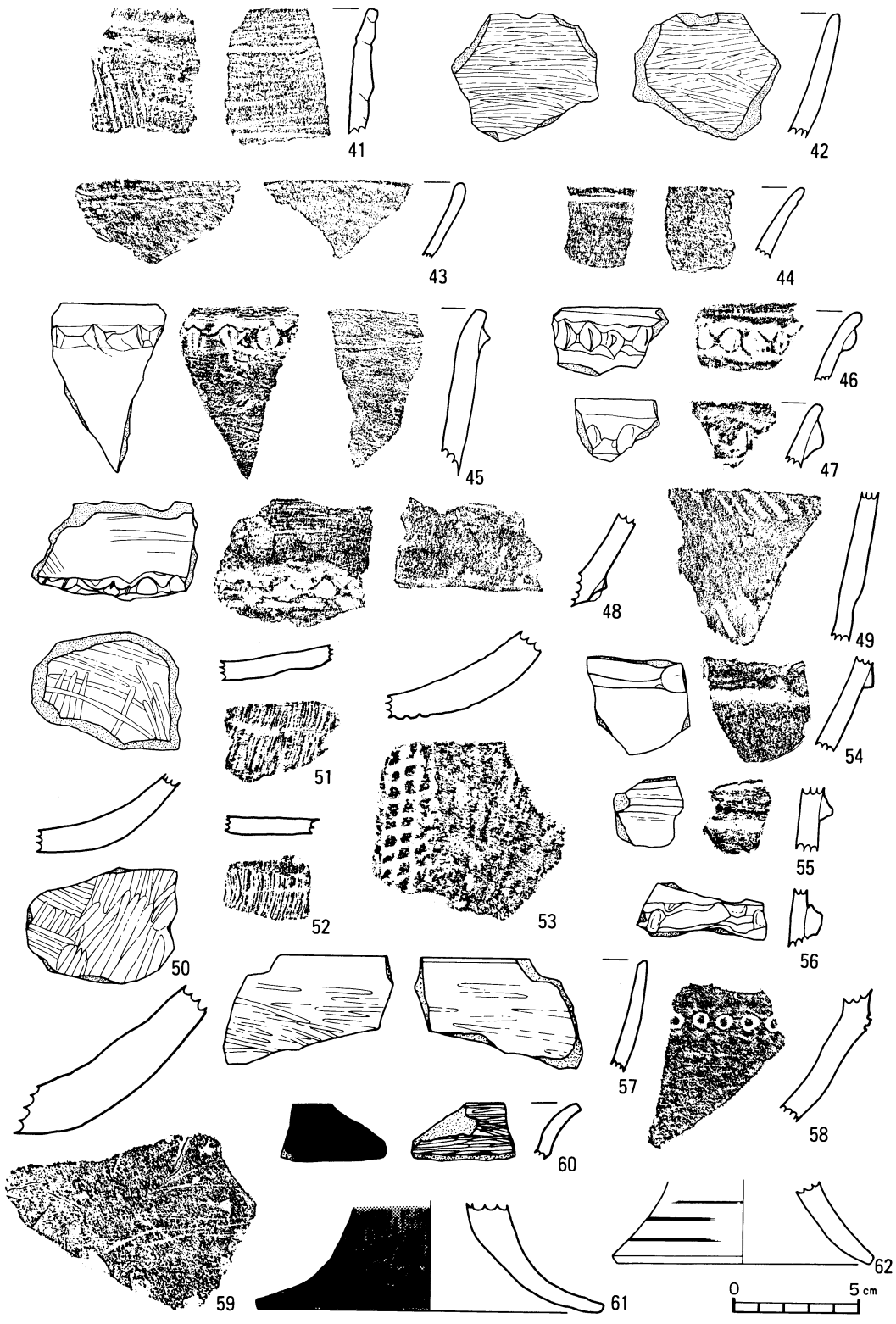
D-4，5区・VII層上面で検出した。東西方向を長軸にする200cm×170cmの長円形の土坑で、しっかりとした壁面をもつ。床面らしい固い面は検出されない。出土遺物（第20図）は、縄文時代晩期の土器片を中心として、92～94が古墳時代の土器片である。92と94の出土位置が深いため土坑の時期を縄文時代晩期と確定できない。D-4，5区には縄文時代晩期の土器と成川式土器も多く出土しており、単純に時期を限定することは困難である。

しかしながら、81～88の土器は、突帯文土器と精製浅鉢の関係を考えるうえで、セットとしてとらえられれば、興味深い資料である。

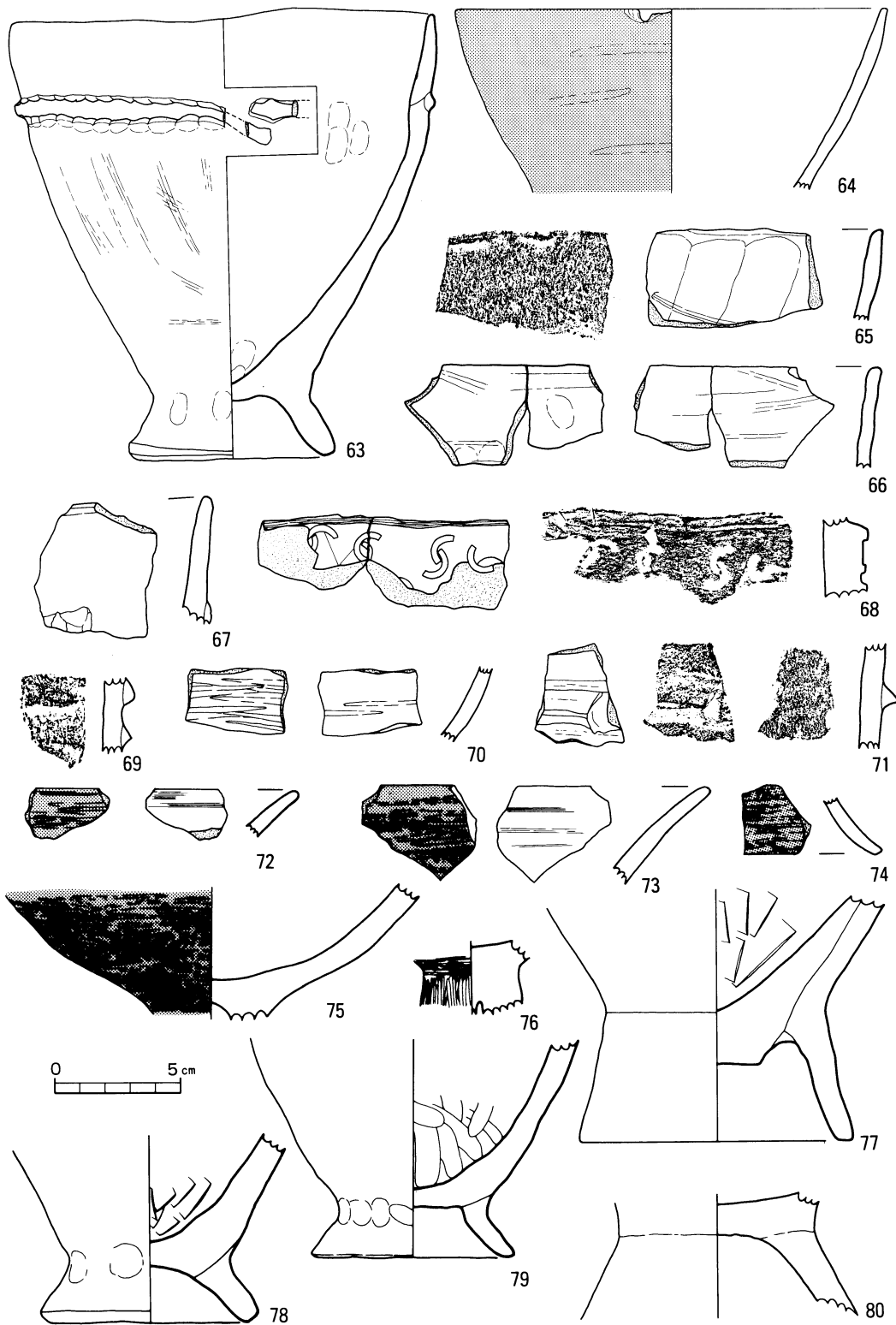




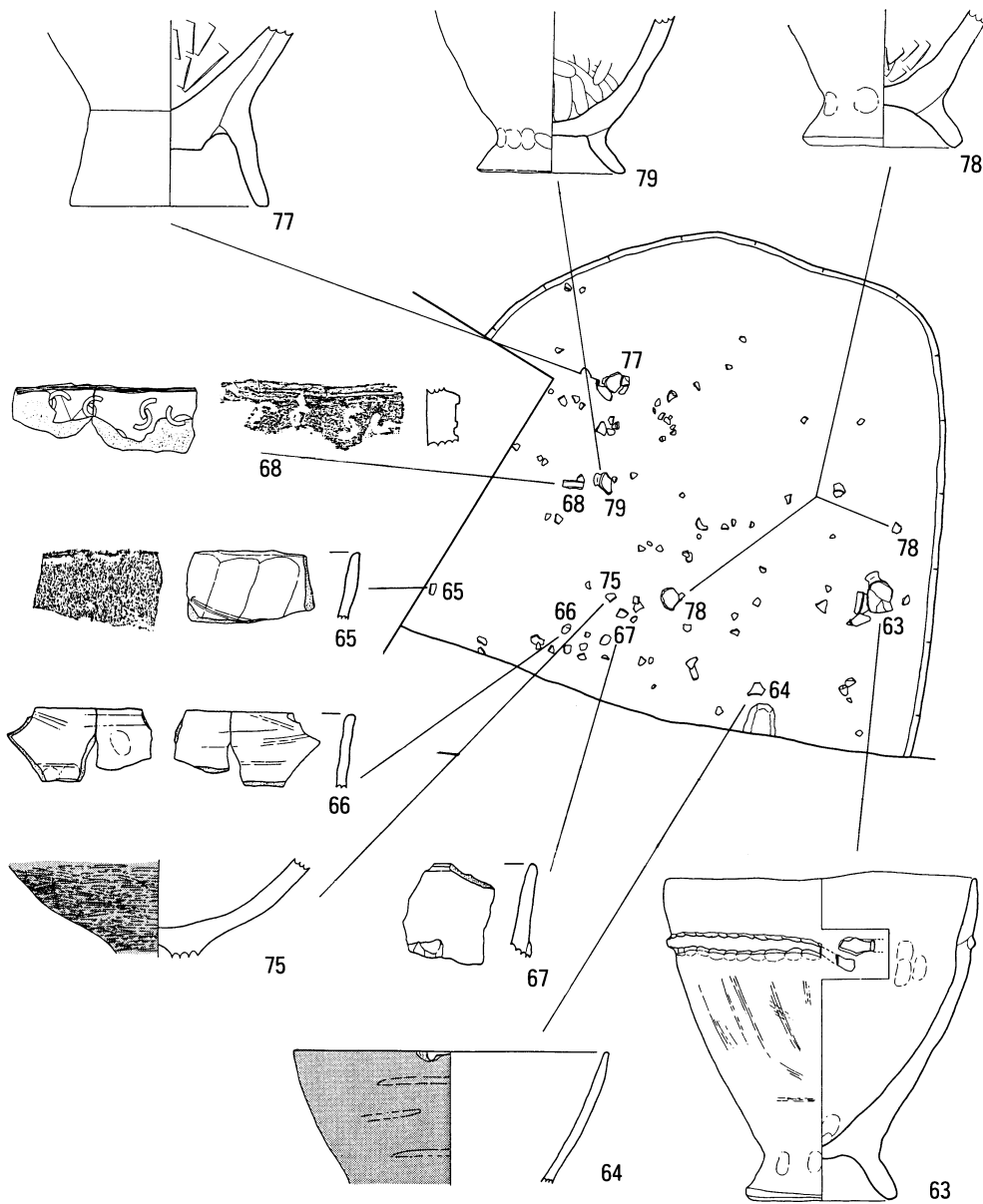
第15图 5号住居跡出土状况



第16图 5号住居跡堀土出土土器(1)



第17图 5号住居跡出土土器(2)

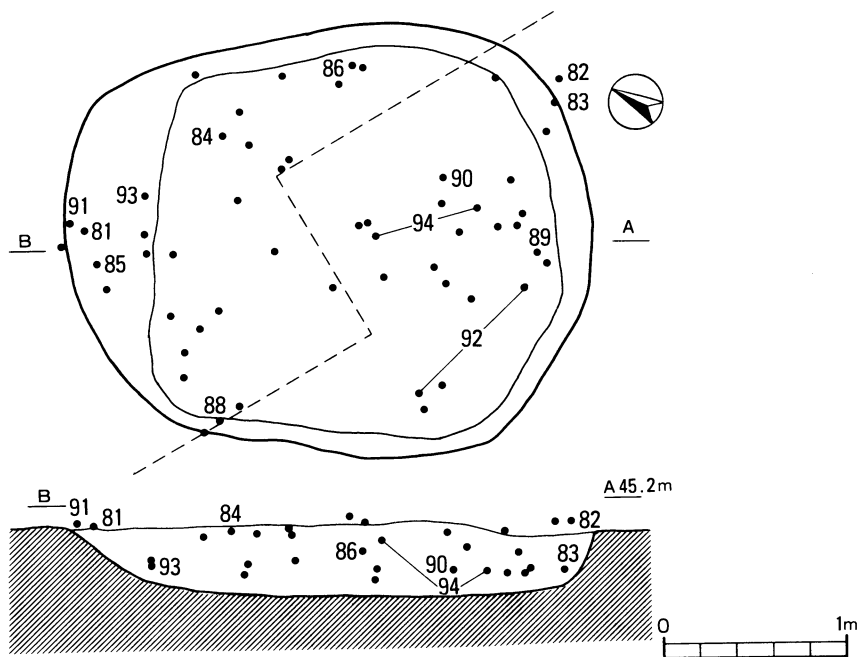


第18図 5号住居跡出土状況

(6) 溝状遺構

①溝状遺構1 (第22図, 第23図, 第24図, 第25図, 第26図, 第27図, 第28図)

前回E-7, 8区, 東西方向に溝状遺構を検出した。深さ約1mで, 土層は, 砂層と鉄分の沈澱したと思われる層が互層にレンズ状に堆積していた。遺物は少なく, 鉄さいが5点 (5.4cm×4.8cm×3.4cm-100g・8.4cm×5.0cm×2.9cm-122g・5.3cm×4.4cm×2.8cm-87g・3.6cm×



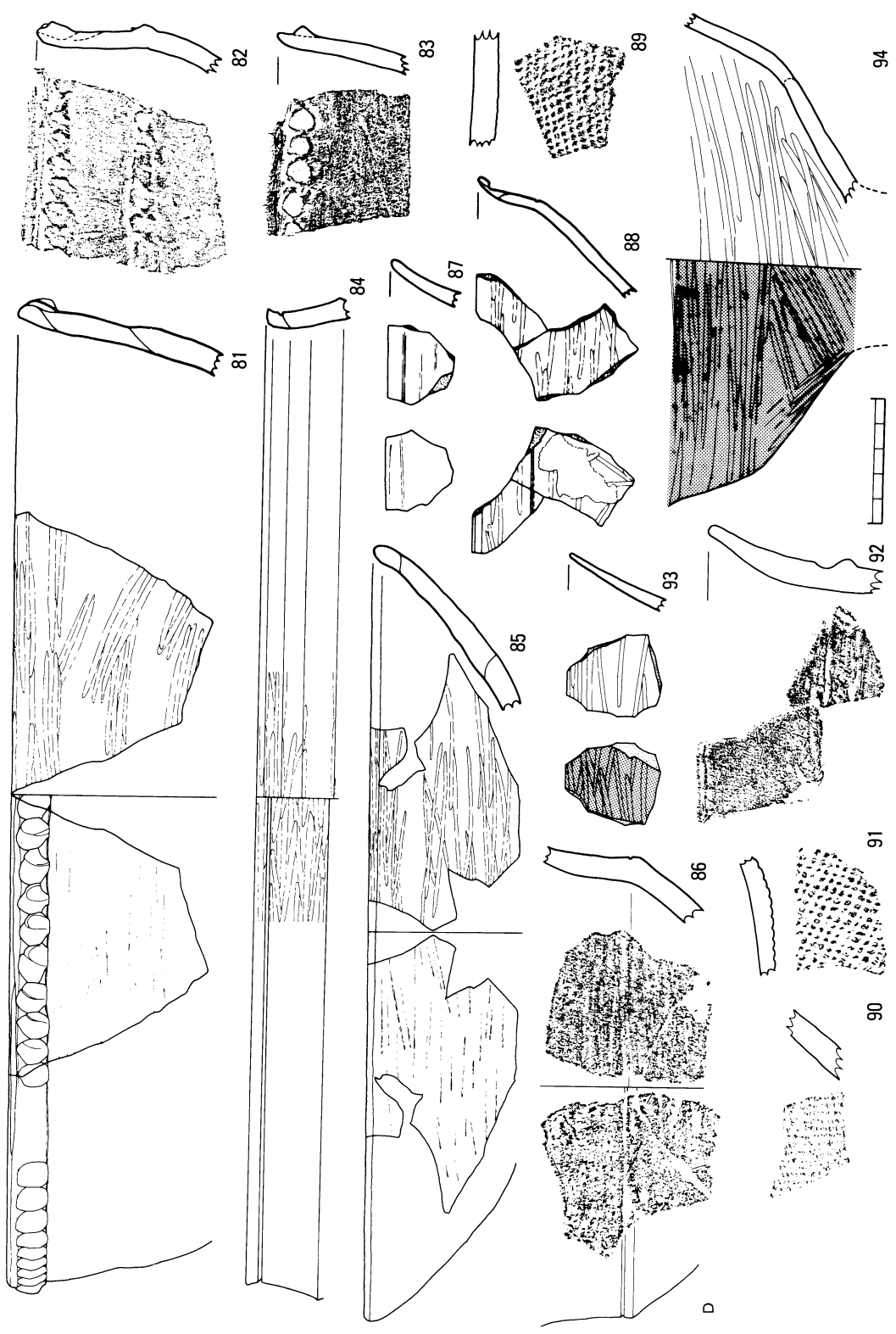
第19図 1号土坑及び遺物出土状況

2.0cm×1.9cm-18g・3.0cm×2.4cm×1.8cm×19g) と錆びて形状は分からないが鉄製品が1点出土している。層位的に近世の時期のものである。この遺構に伴うと考えられるピットからは、鉄さい2点が出土している。

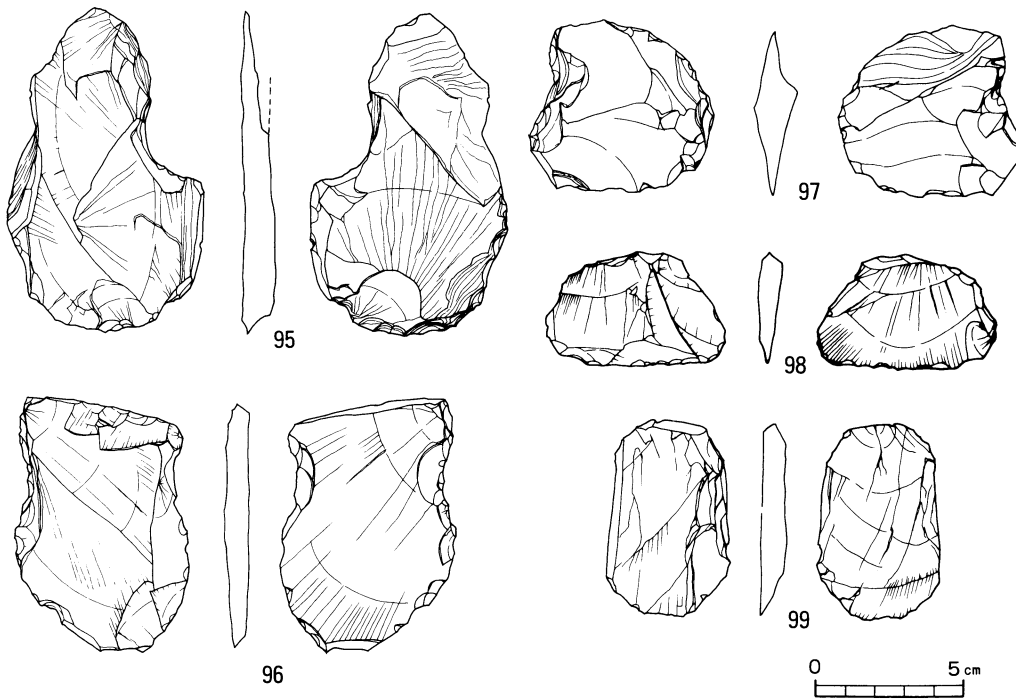
今回、E-8, 9, 10区で、この溝状遺構1が北西側にのび幅約10mにもおよぶことが判明した。セクション図から、I~III層の堆積をもつ溝状遺構が最も新しく(溝状遺構1-a)、鉄分の沈澱層と青灰色シルト層が互層状況を呈するIV a層の溝状遺構(溝状遺構1-b)、IV b~VIII層の堆積状況の溝状遺構(1-c)の、3状の溝状遺構が切り合っている。前回確認した掘り込み面は、第5図の土層図・クリッドE-8土層図でわかるように、III層の途中であったが、鉄分沈澱層と砂層が互層状態になっている溝状遺構(今回の溝状遺構1-b)として、掘り込み面も同一であると考えられる。E-8の土層図においても、鉄分沈澱層と砂層が互層状態になっている溝状遺構の下に、他の溝状の落ち込みが観察できる。これが今回の溝状遺構1-cに該当すると考えられる。溝状遺構1-b・1-cは、共に多量の鉄滓を包含していた。さらに、焼結粘土が混入していることから、製鉄に関係した遺構であろう。北西側は谷に向かっており、台地上の南側に製鉄遺構があった可能性が高い。

鉄滓のほかに出土遺物は、縄文時代晩期~中・近世の時期の多様な遺物が出土しており、特に打製土掘具がめだった。青磁・すり鉢・染付の破片も多く出土した。掘り込み面と青磁などの遺物から中・近世の時期が妥当と考えられる。出土銭貨は「洪武通寶」である。質はあまりよくなく、1.55gを計る。

また、近くに高須古城、金比羅山城などの中世の城跡があり、この地を地元の人が「カジャ



第20图 1号土坑出土土器



第21図 1号住居跡・5号住居跡・1号土塚出土石器

ヤシキ」と呼び、「鍛冶屋敷」と通じるように思われることから、それに伴う遺構と考えられる。

②溝状遺構 2

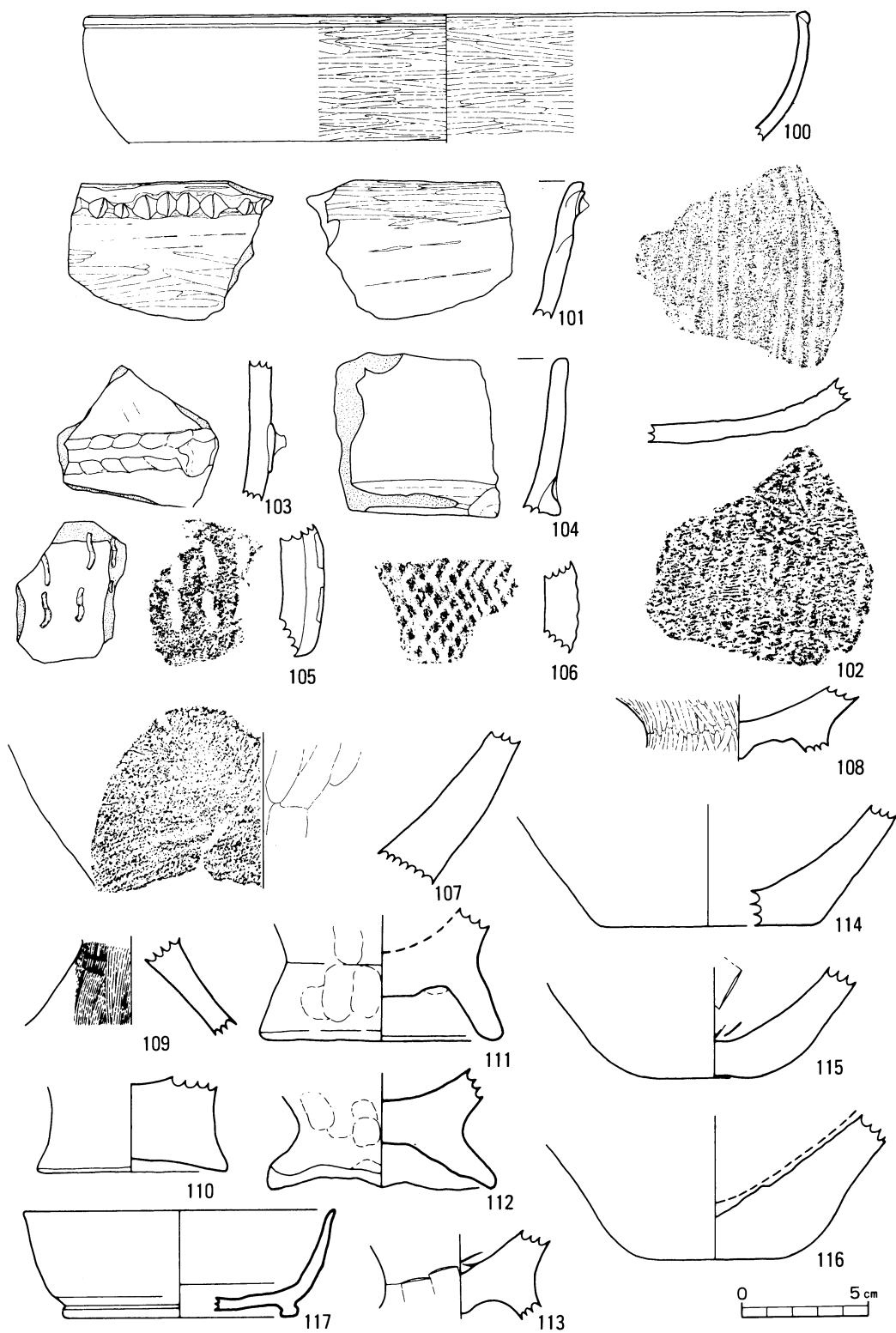
前回、その大部分を掘り終えて、今回は残りの一部の発掘のみであった。F-18からF-22区にかけて東西方向へ伸びる。遺構はIV層上面で検出したが、土層断面からIII層上面から掘り込まれていることが確認できた。埋土に縄文時代晩期から古墳時代の遺物（多くは小破片）を包含していたが、掘り込み面から判断して中・近世の遺構であろう。

③溝状遺構 3

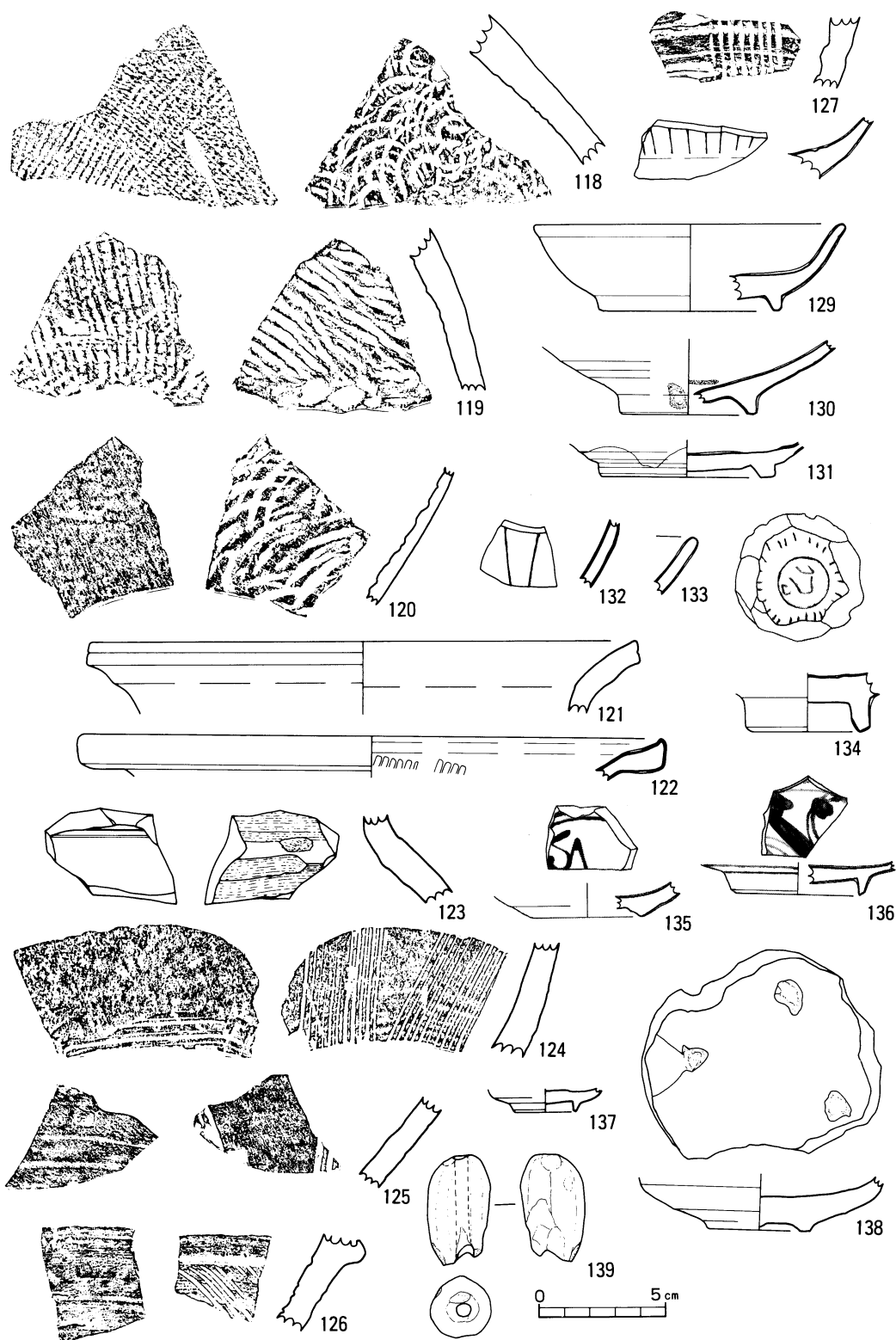
F-15, 16区にかかり、東西方向に伸びる。北西側は現在はガケであるが、谷が入り込んでおり、この方向に向かっている。IV層上面で検出した。遺構は浅く、遺物は少量出土した。

(7) 古道跡

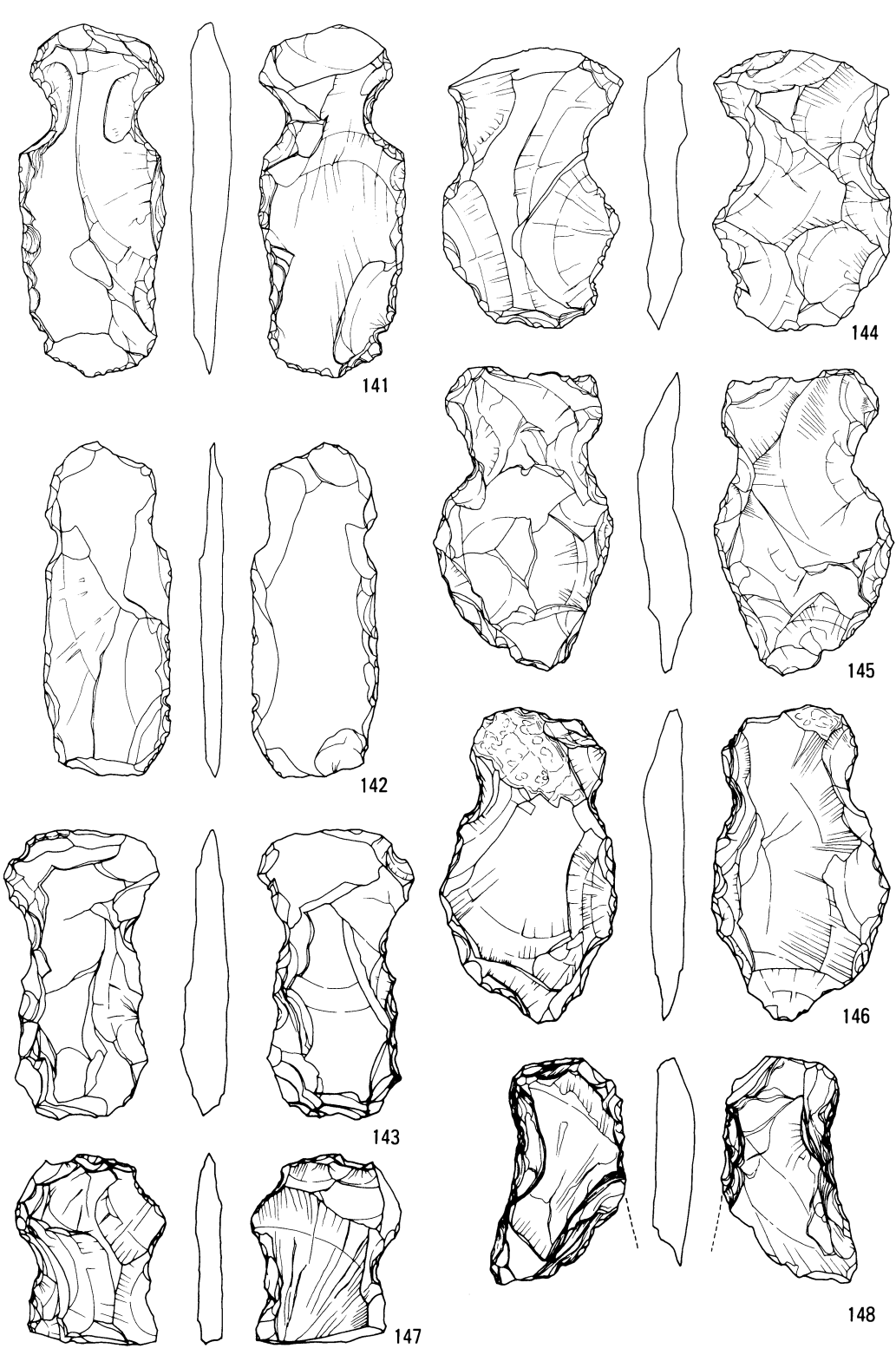
前回の調査で、D・E-5・6区にまたがって、南北方広へ上下に重複して検出された。時期として鎌倉・室町期以後のものとされていたが、今回は検出できなかった。現道に向かって、上って行く傾斜であったので、攪乱を受けた可能性が強い。



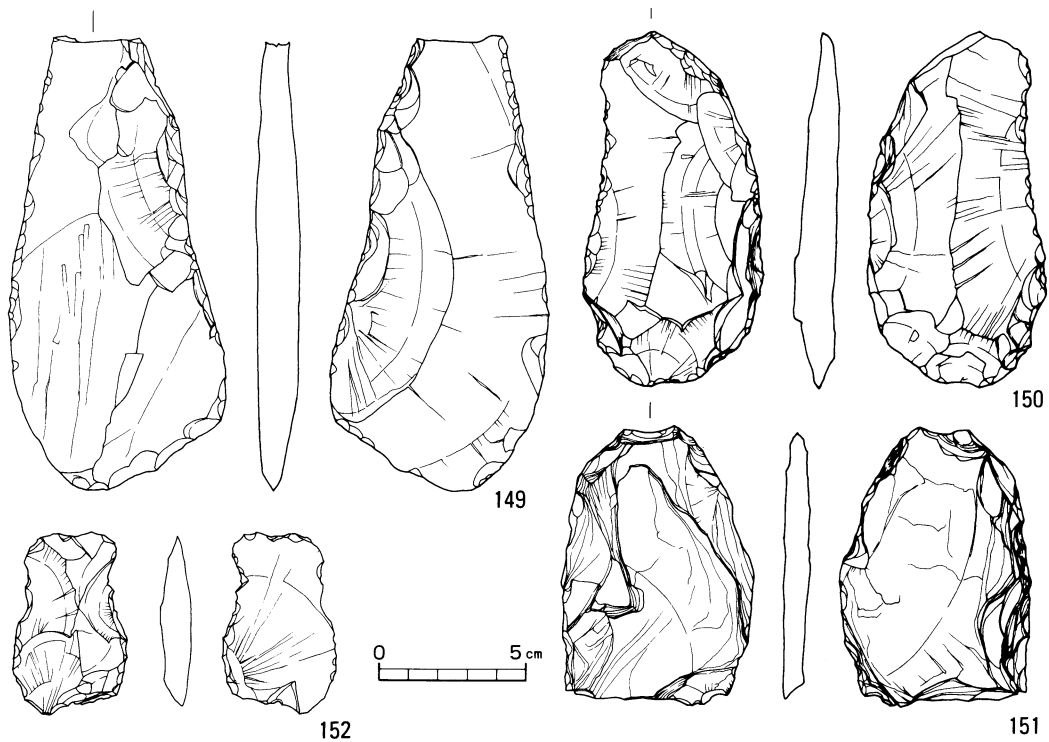
第23图 沟状遺構 1 出土土器 (1)



第24図 溝状遺構 1 出土土器 (2)



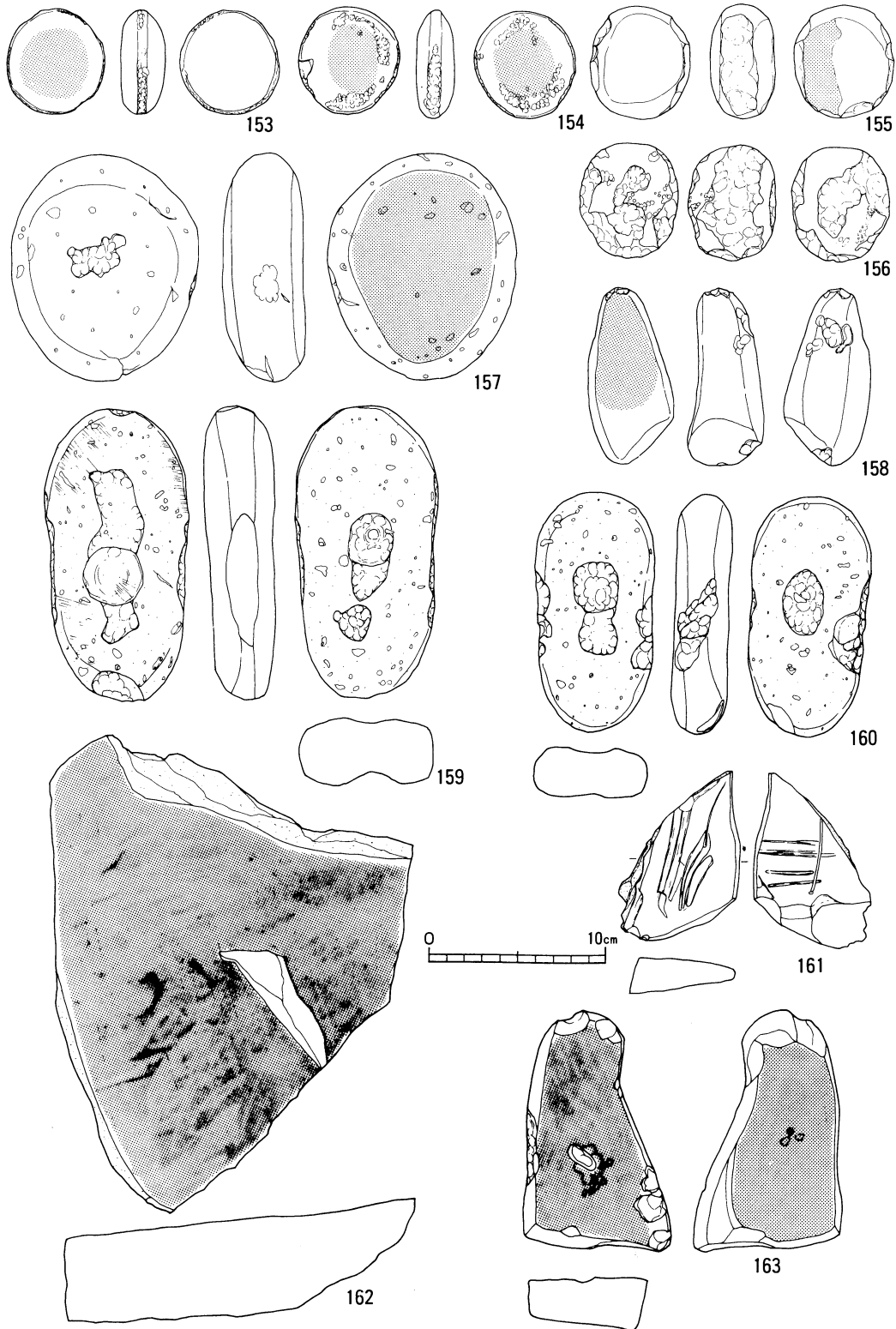
第25図 溝状遺構1出土石器(1)



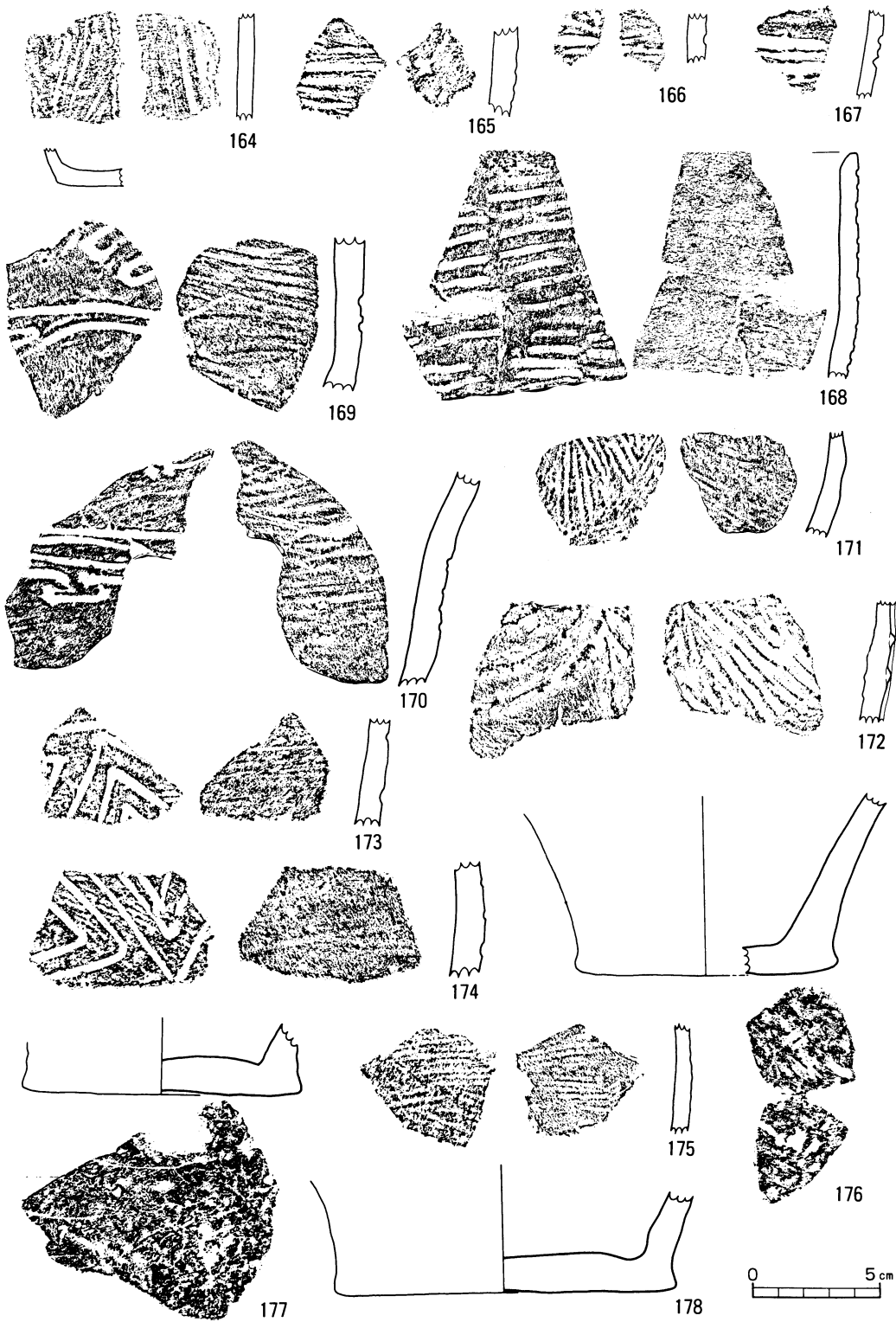
第26図 溝状遺構 1 出土石器 (2)



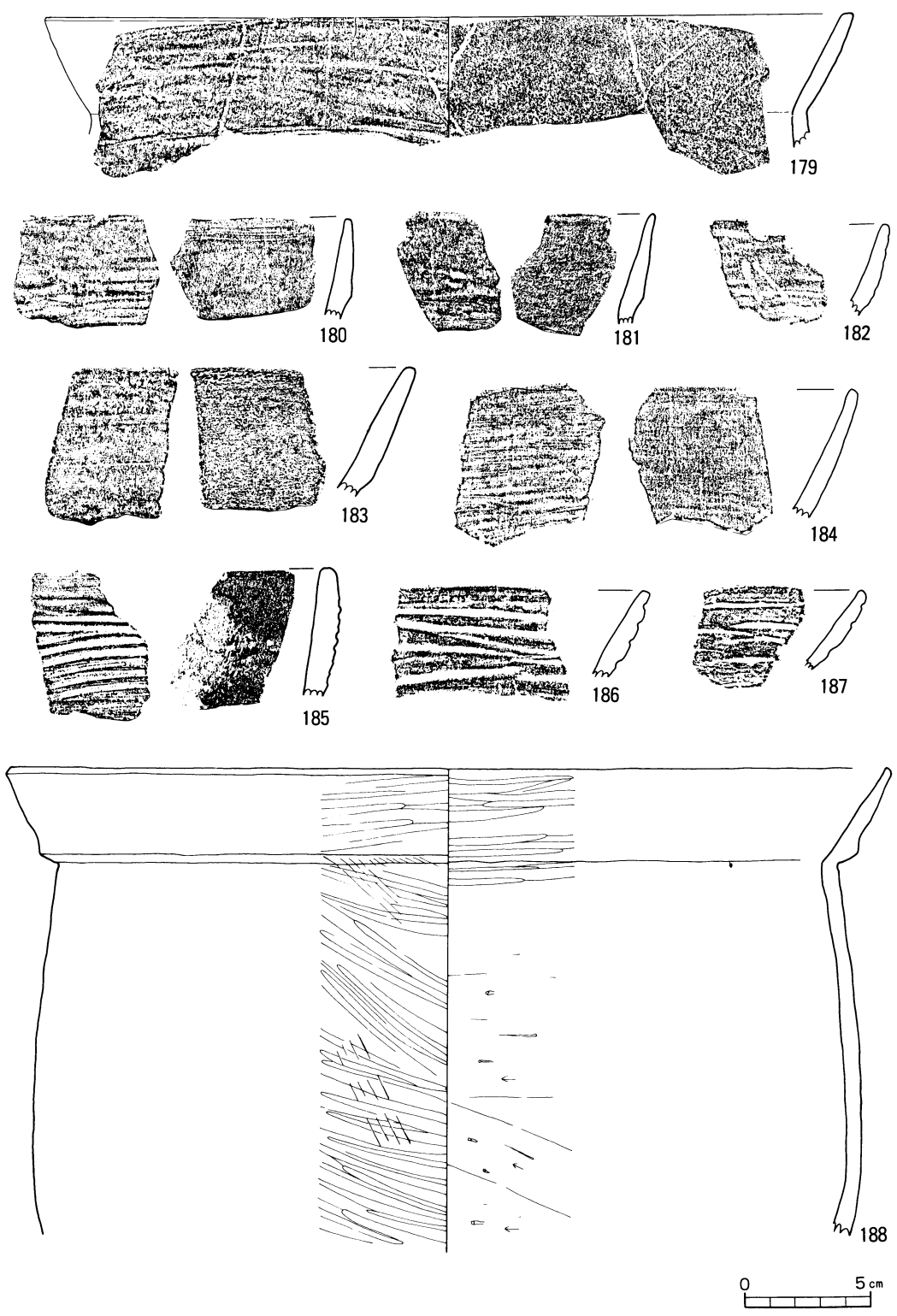
第27図 溝状遺構 1 出土銭貨



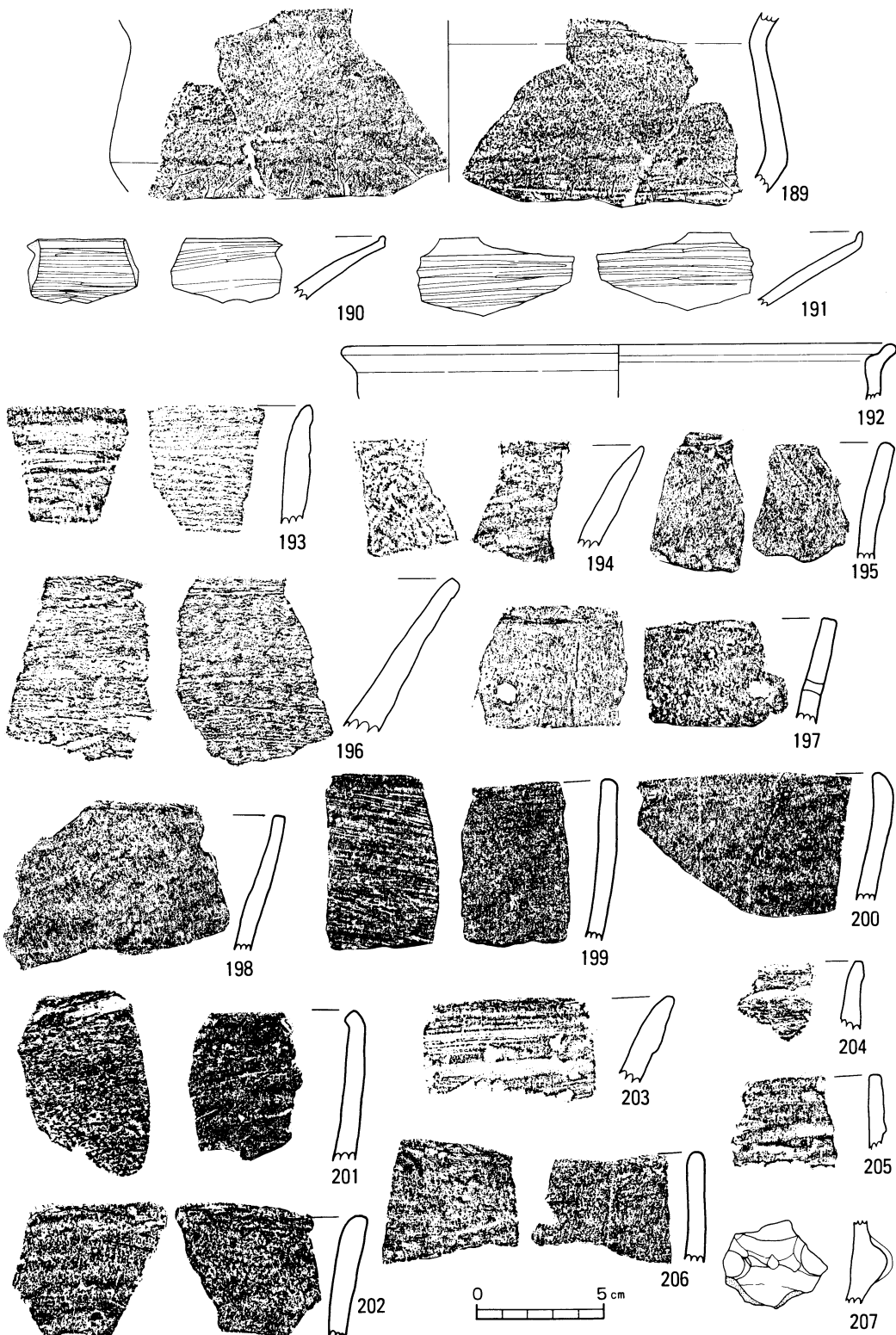
第28図 溝状遺構1出土石器(3)



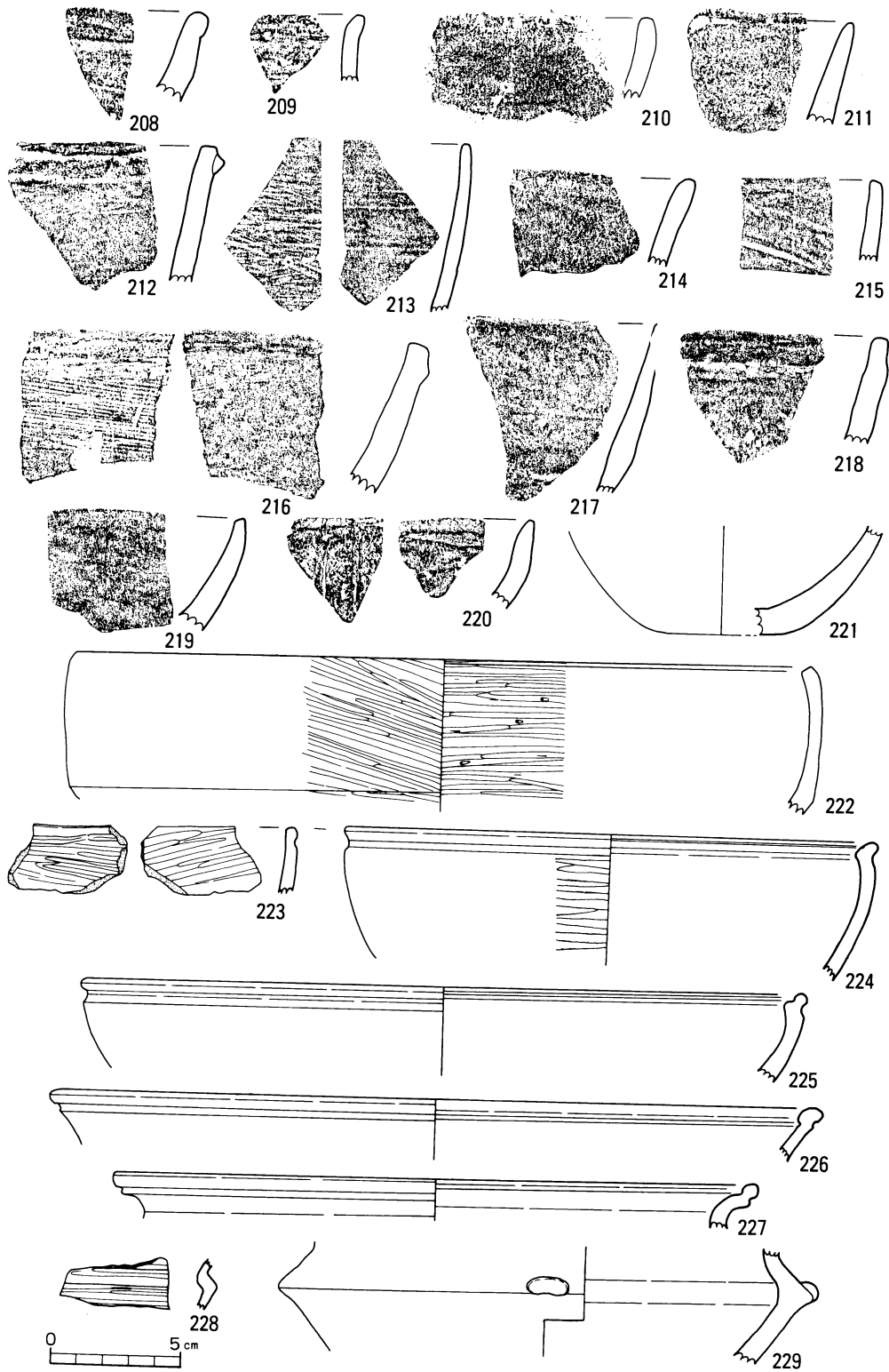
第29図 縄文土器 (1)



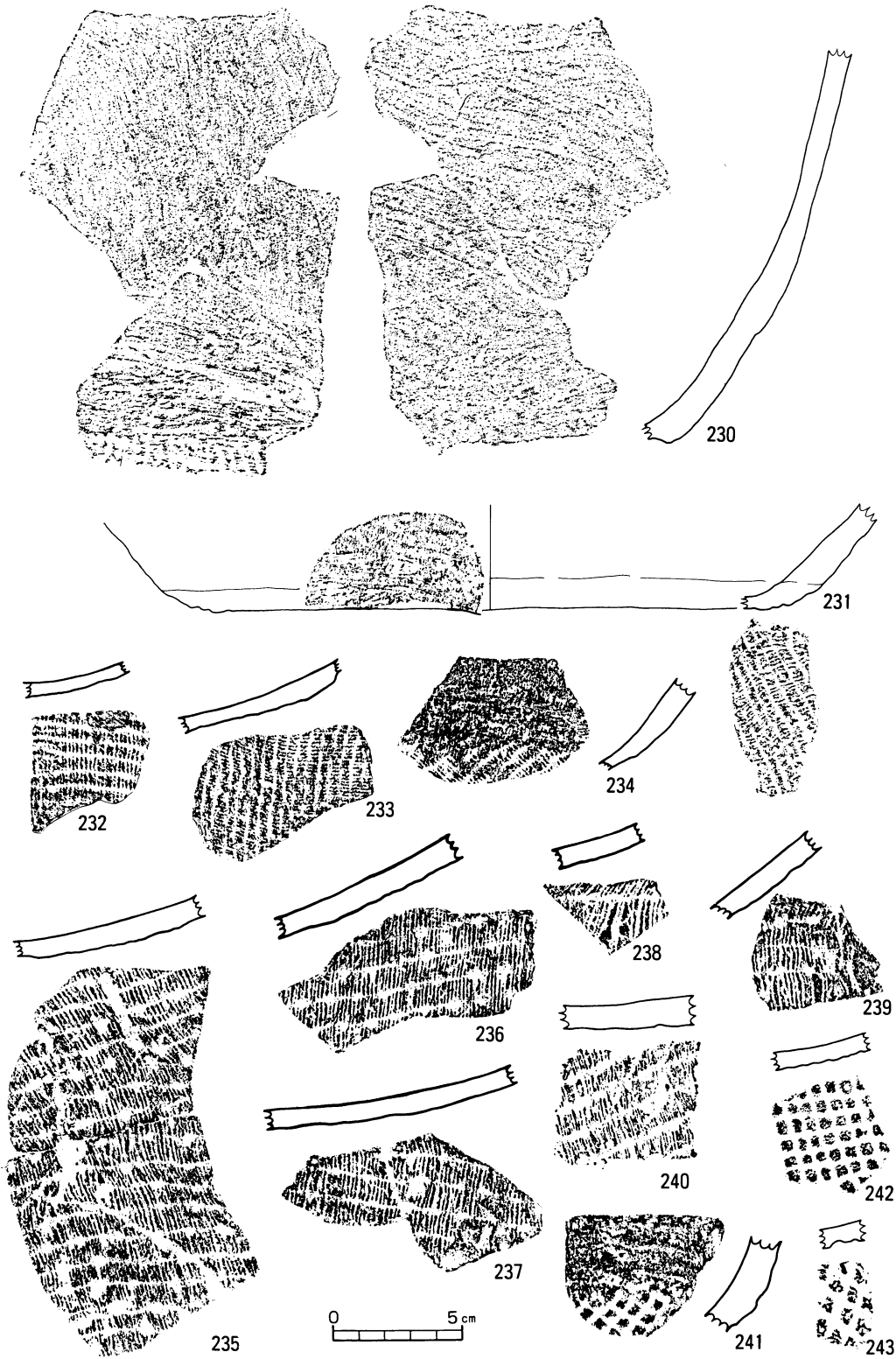
第30図 縄文土器 (2)



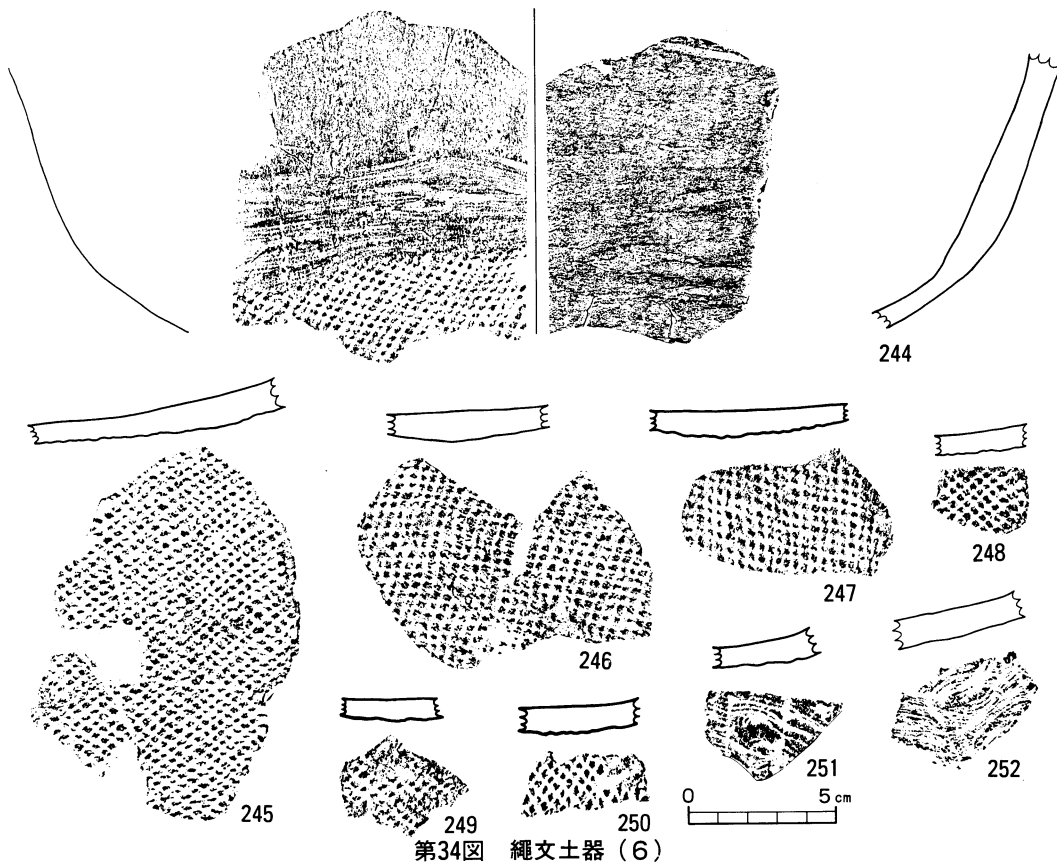
第31図 縄文土器 (3)



第32図 縄文土器 (4)



第33図 縄文土器 (5)

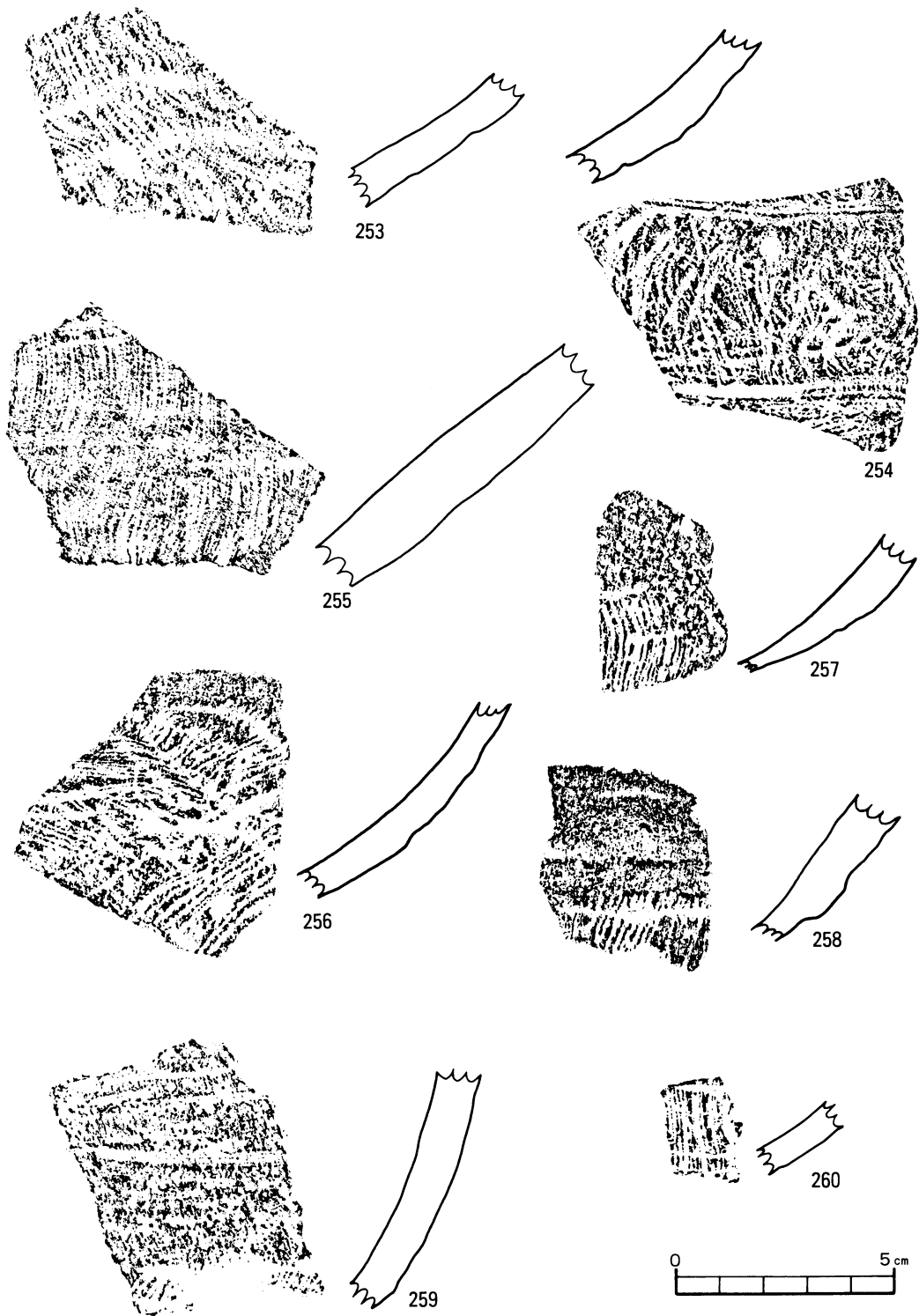


第3節 包含層出土の遺物

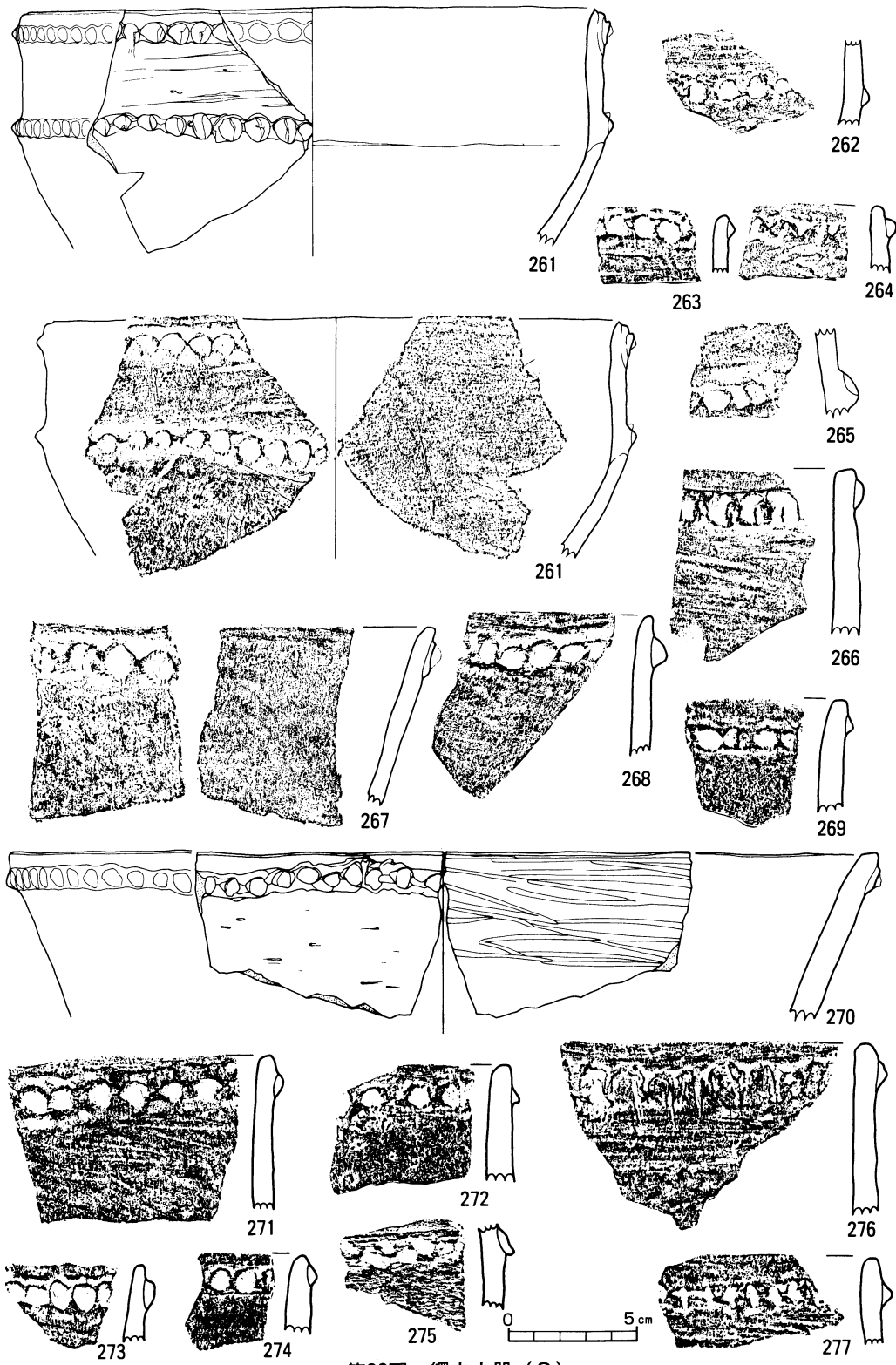
(1) 土器

縄文時代 (第29図～第39図)

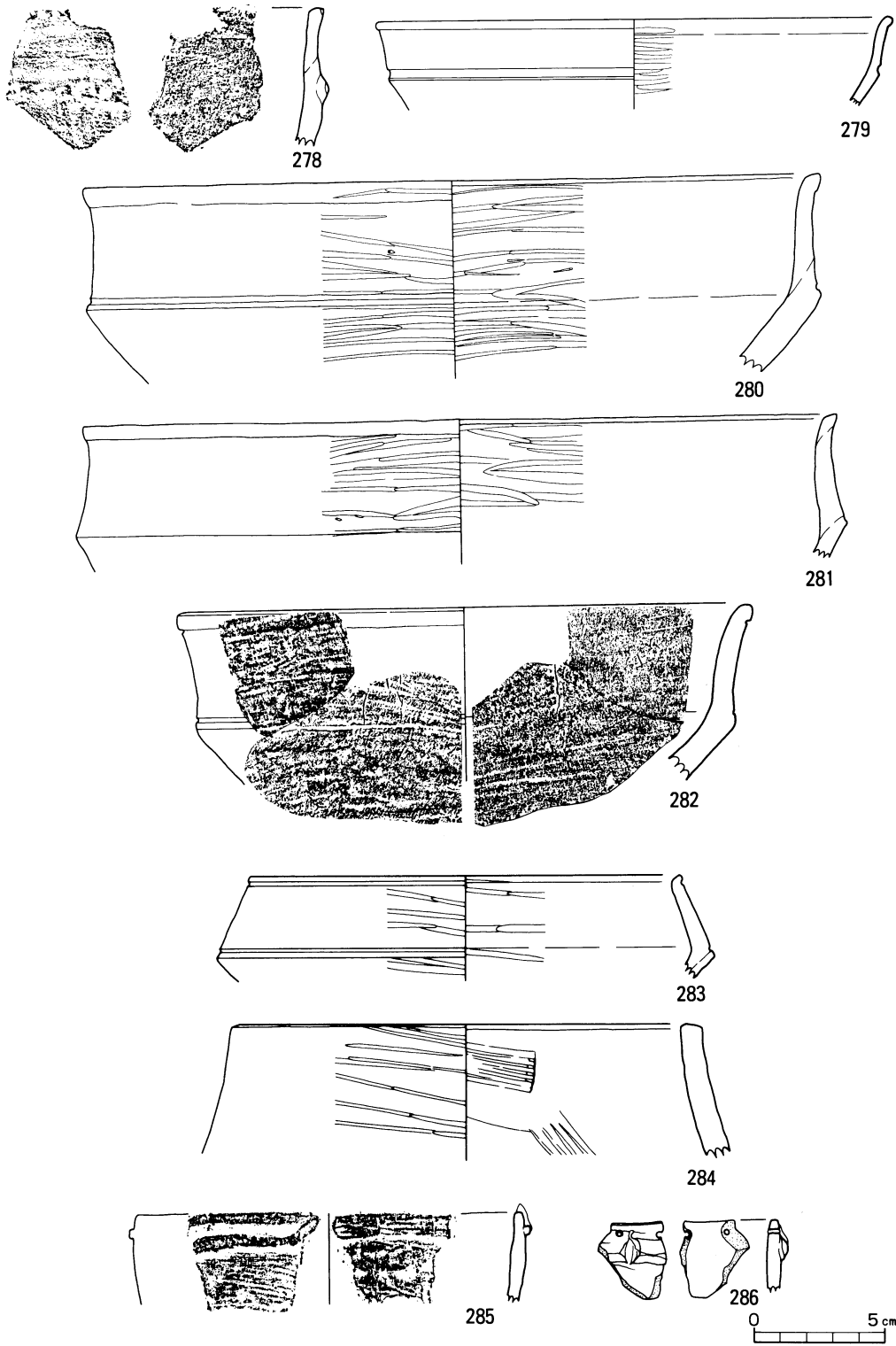
縄文時代晩期の土器を中心に出土した。晩期の土器はD・E-4・5区を中心として、東側半分の方に出土し、それ以外の時期の縄文時代の土器はE・F-21・22区を中心として、F-16区より西側から出土した。164・165は貝殻文角筒土器と円筒土器で、縄文時代早期の前平式である。166～168は曾畑式、171は轟式に、172は深浦式に、それぞれ比定される縄文時代前期の土器である。169・170は凹線で曲線文を描き、胴部まで施文が及び、縄文時代中期の阿高式系の土器と考えられる。173・174は同一個体で、昭和60年の調査時にも同種の土器が出土し、第XIV類土器として、やはり阿高式土器(阿高三式)と報告してある。175は、貝殻条痕で内外面を調整しており、縄文時代後期の土器片と考えられる。179～192は、入佐式土器で、甕形土器の調整に、ヘラミガキを多用している。口縁部に沈線を施すものと、条痕によって、それに変えているようなものがある。190～192は精製浅鉢形土器である。193～229は黒川式土器である。219～221は、椀形(マリ形)土器で、丁寧に内外面ともヘラミガキがなされている。229は浅鉢で、「く」の字状におれる肩部にリボン状貼り付けがつくものである。222～228は精製



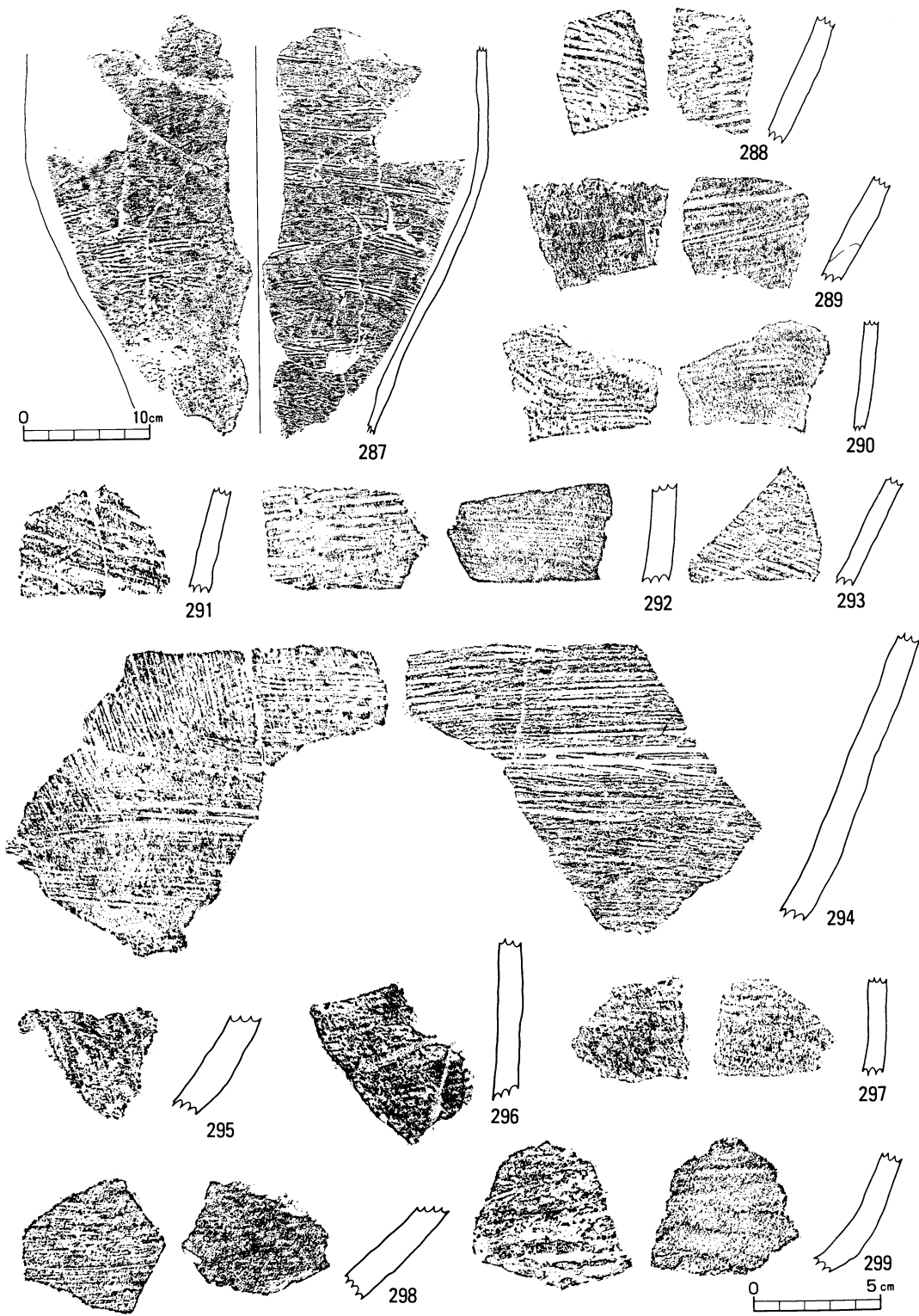
第35図 縄文土器 (7)



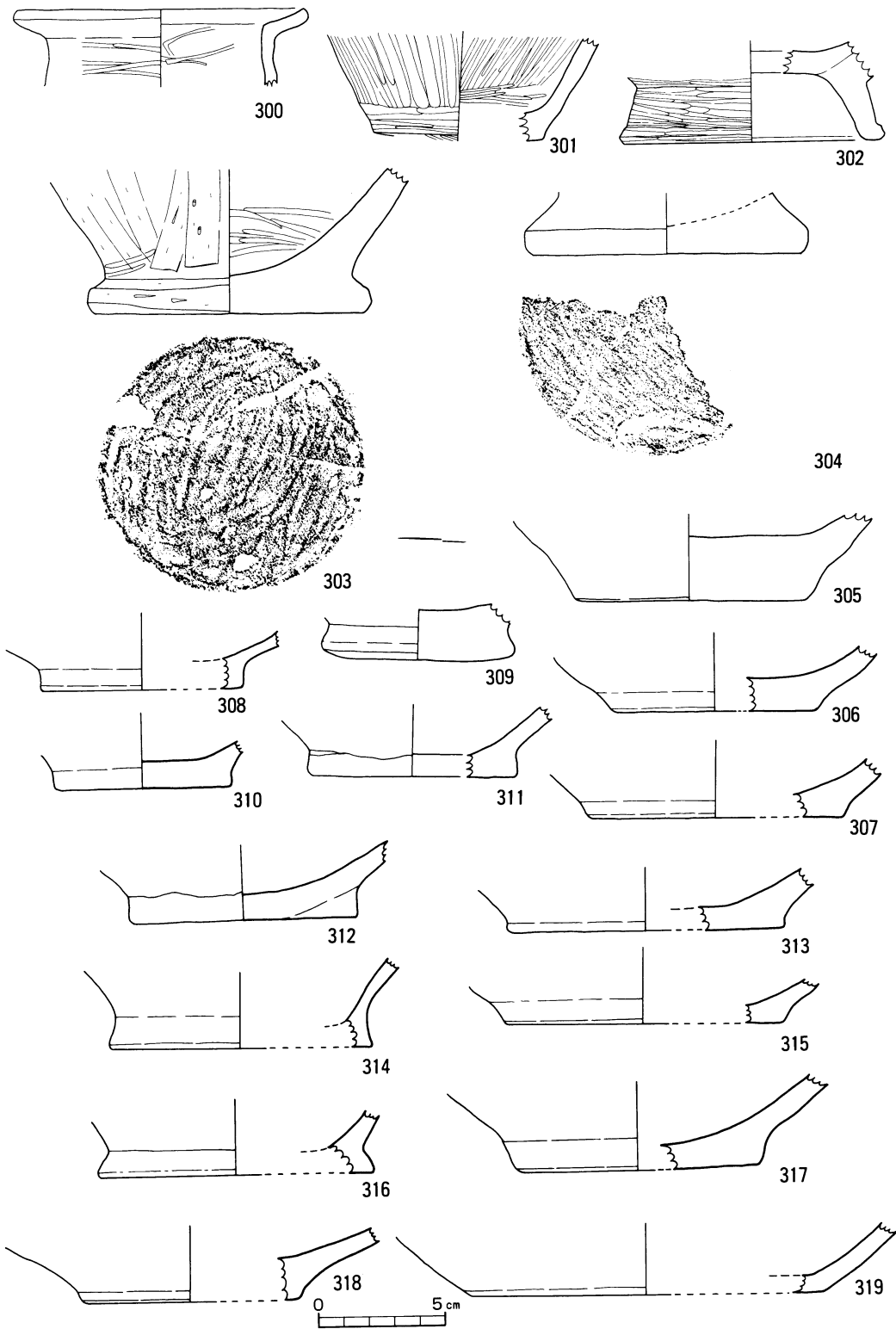
第36図 縄文土器 (8)



第37図 縄文土器 (9)



第38図 縄文土器 (10)



第39図 縄文土器 (11)

浅鉢形土器。230～260は組織痕土器で、230～240・251～260が^{むしろめ}蓆目圧痕、241～250が網目圧痕の組織痕を残す。布目、籠目のものはなかった。すべて、胴部の下半部もしくは底部に圧痕を有する。261～278は、突帯文土器である。土器観察表で内面調整に条痕としたものは、丁寧な工具ナデのことである。内面調整の方法に、条痕のままのものと、さらにその上をヘラキガキするものがあり、数的にはヘラミガキしているもののほうが多い。突帯の刻目は、264・275・276・277・278はヘラ状工具によるもので、その他は指頭によるものである。279～283は精製の浅鉢形土器で、突帯文土器によく共伴する土器であろう。286は、突帯文の孔列土器である。287～299は、胴部の破片である。ほとんどが内外面とも条痕で器面調整されている。300・301・302は、黒色研磨土器である。301は器形が高坏の坏部としか考えられないが、資料の増加を待って判断したい。309～319は底部で、摩耗がはげしく、器面調整の不明のものが多い。

弥生時代（第40図，第41図）

弥生土器のほとんどが、弥生時代前期後半から中期の初頭に位置付けられる土器である。出土区はF-20・21区が中心である。全体に摩耗がはげしく、器面が荒れている。320～335が壺形土器、336・338・339が甕形土器、337が高坏形土器である。337の突帯は削り出し突帯である。

古墳時代（第42図～第44図）

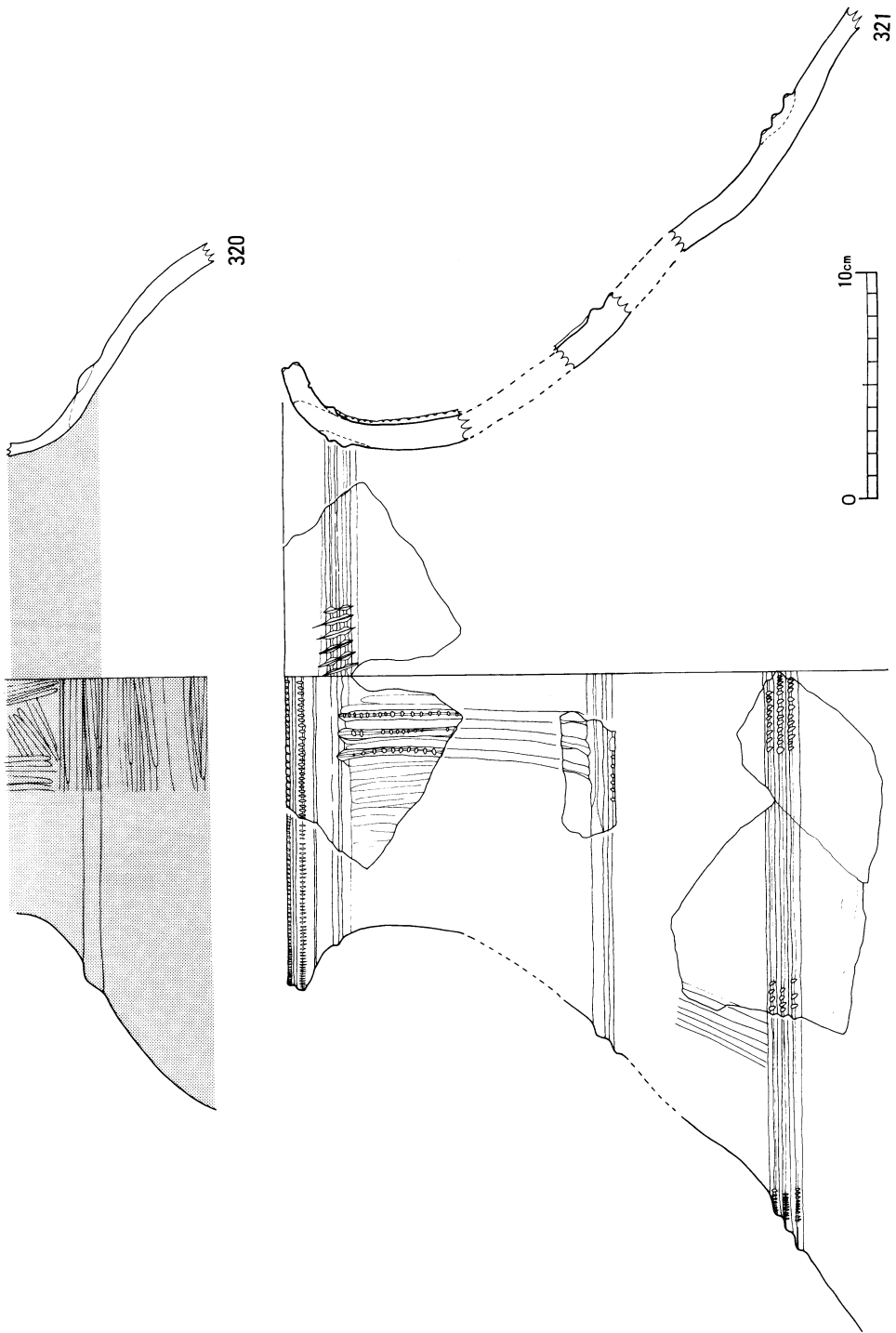
古墳時代の土器は、成川式土器を位置付けた。後世の攪乱を最も受けやすいためか、細片が多く、分布の中心はどちらかといえば東側に寄っている。340～351は壺形土器の口縁部と頸部にあたり、頸部に突帯をもつものと、もたないものがある。352～358は同じく壺形土器の胴部突帯にあたる。359～367は形土器の口縁部、368～358は甕形土器の突帯部分であらる。386～389は胴部の破片、390・391・401は小型壺形土器か埴、392～398は鉢形土器、403～407は高坏形土器、408～410は壺形土器の底部、411～420はその他の底部・脚台部に、それぞれ該当する。400は櫛描文のような施文をなし、402はほそい突帯をもち、いずれも器形不明である。420は、手づくね土器様の脚台で、指頭圧痕が顕著である。

須恵器（第45図，第46図）

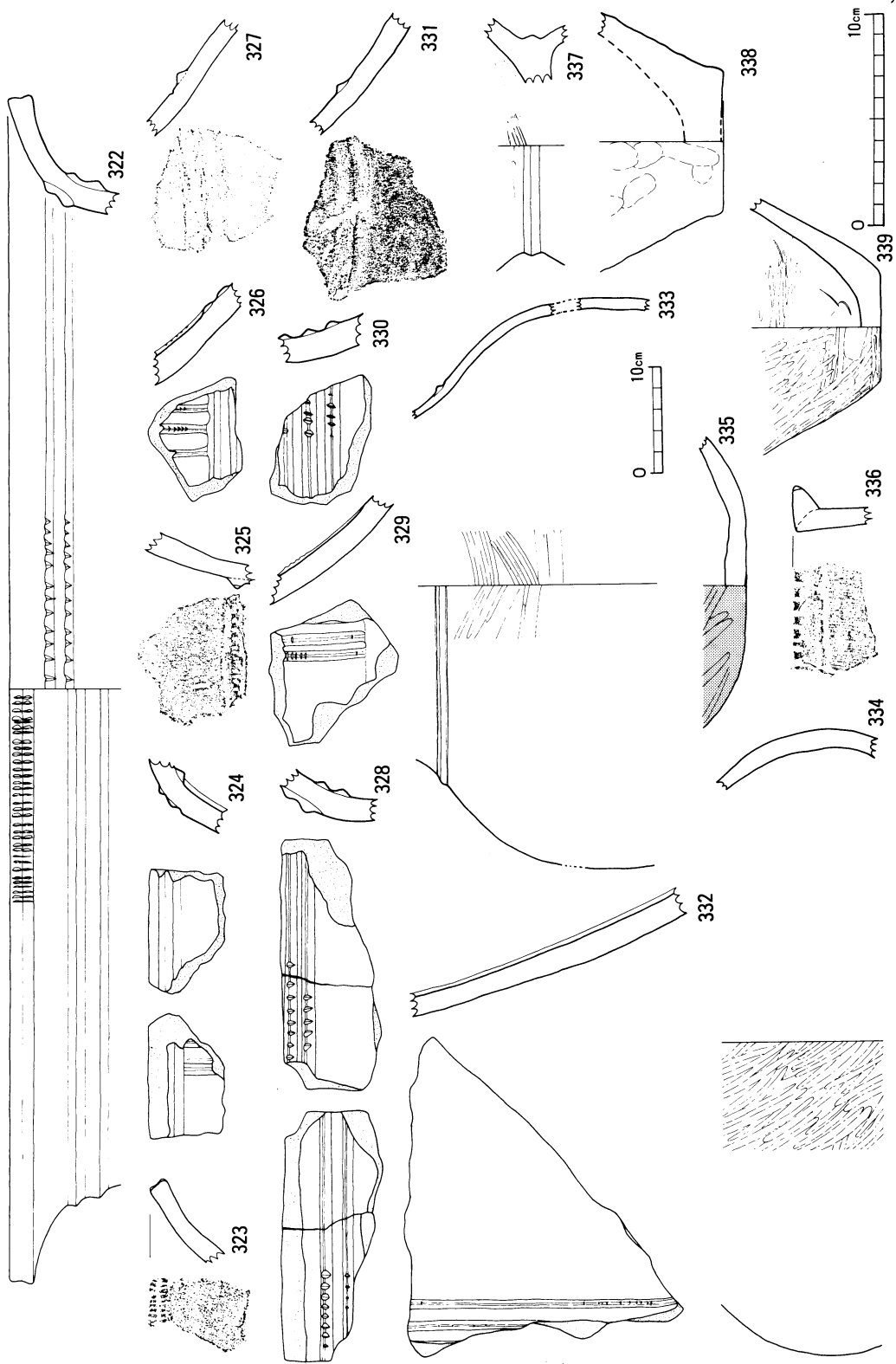
須恵器は、すべて7世紀後半をさかのぼらない時期のものである。421～423・425～428は坏身、429は坏蓋、430～443は、壺の胴部、444は小型の壺か瓶の肩部にあたる。424は、土師器の坏身である。

中・近世（第46図）

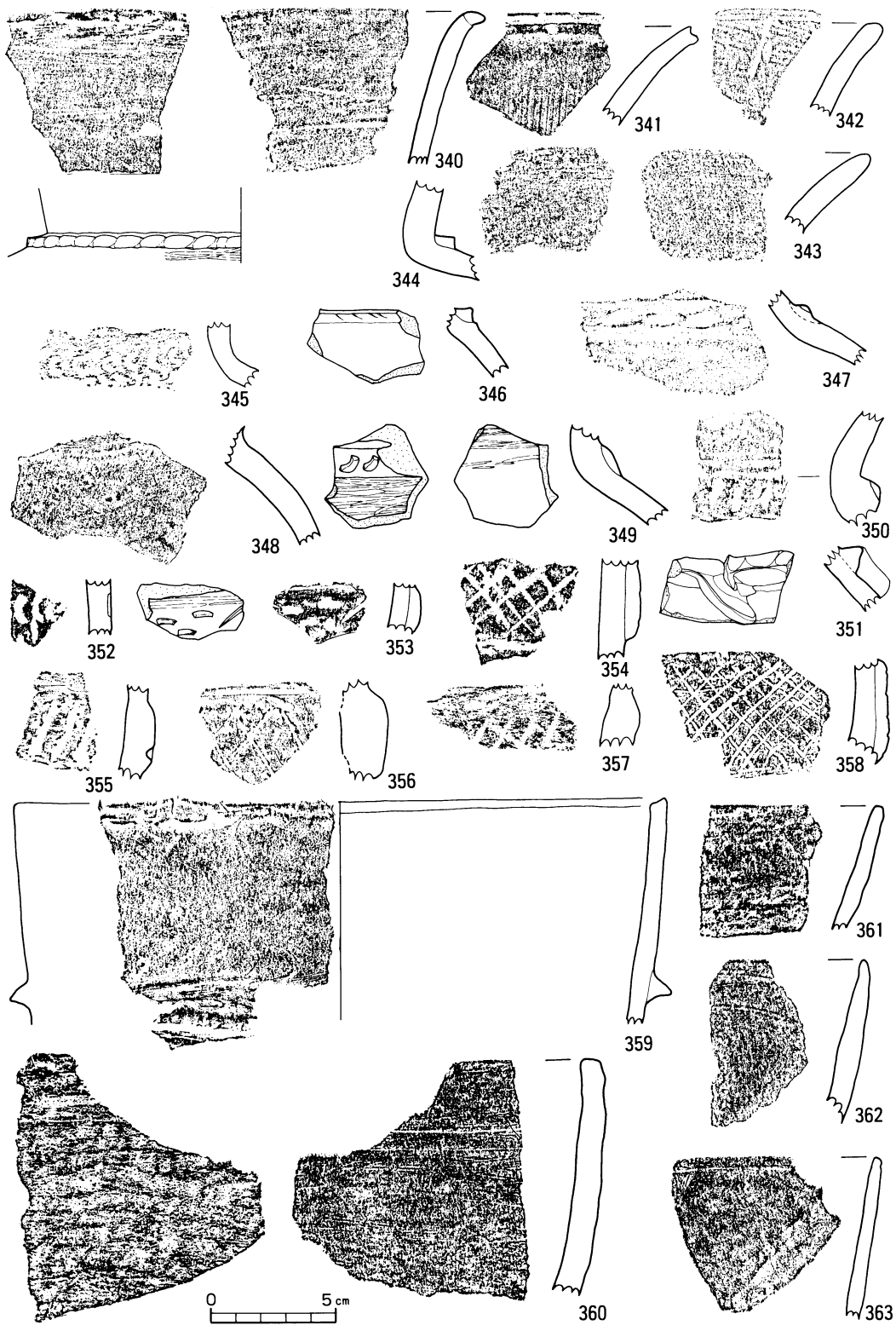
445～448はすり鉢で、445は須恵質をしている。449は土師質の地に、墨がかかる。450は青磁で、451は染付である。451は新しい時期のものである。



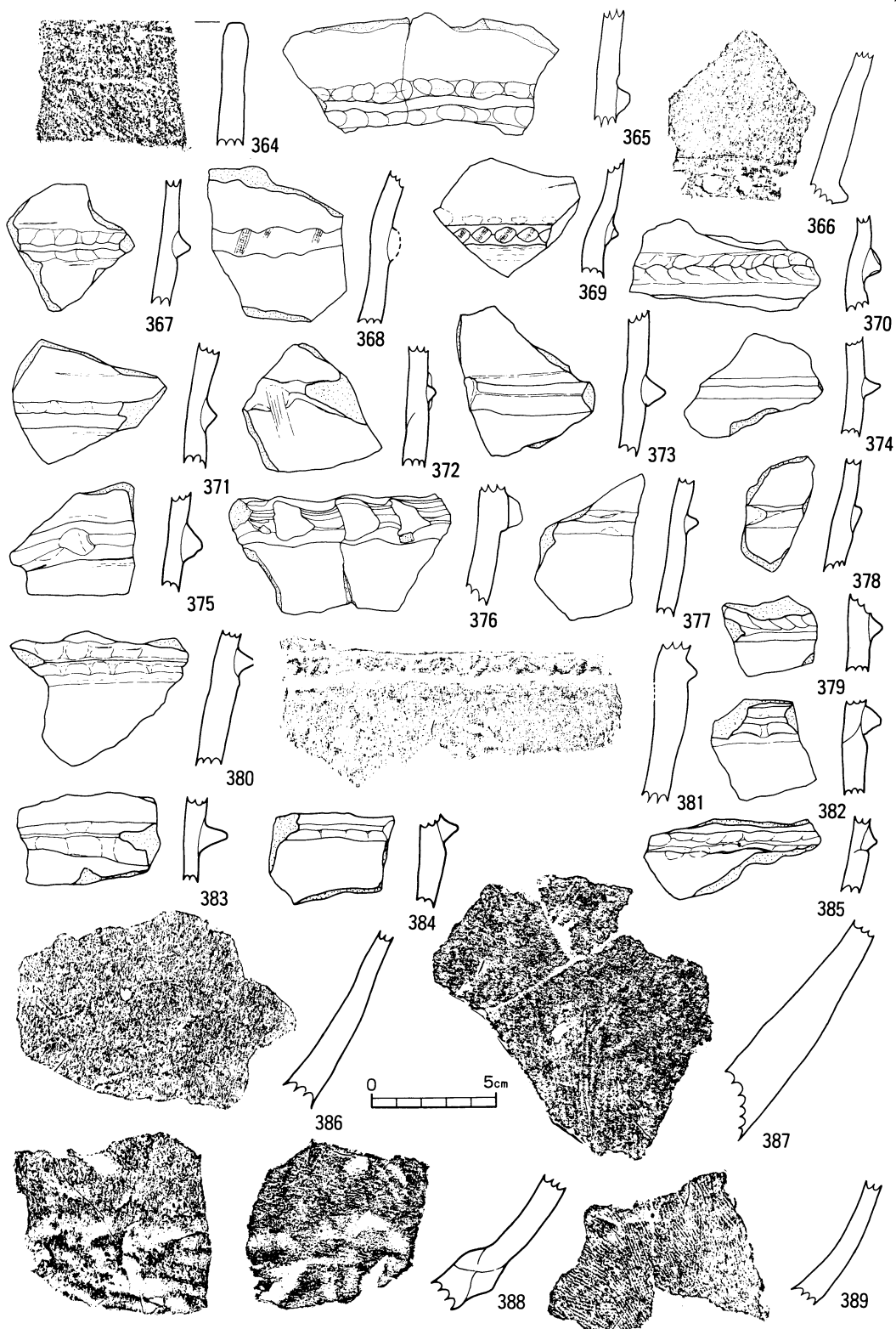
第40图 弥生土器 (1)



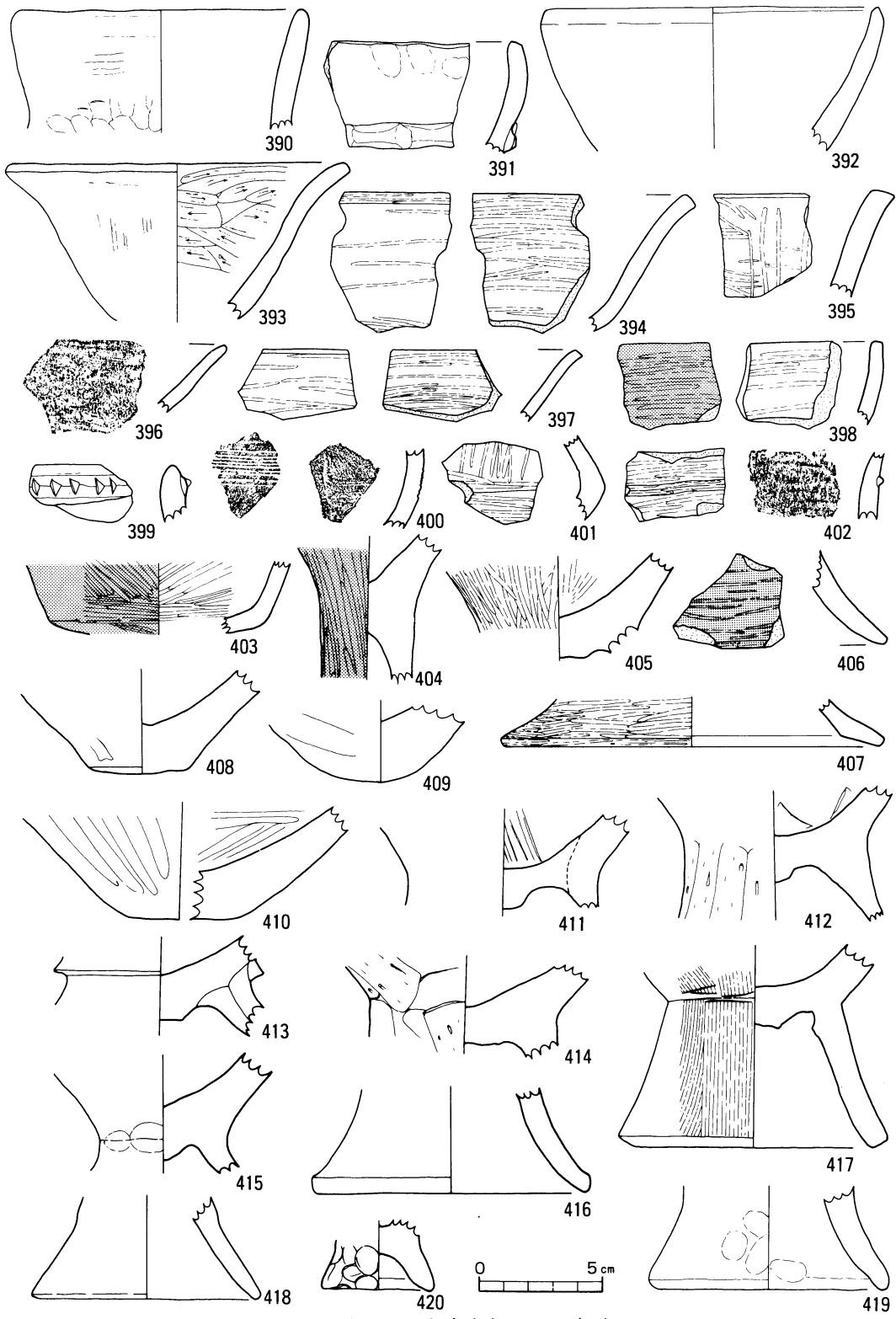
第41图 弥生土器 (2)



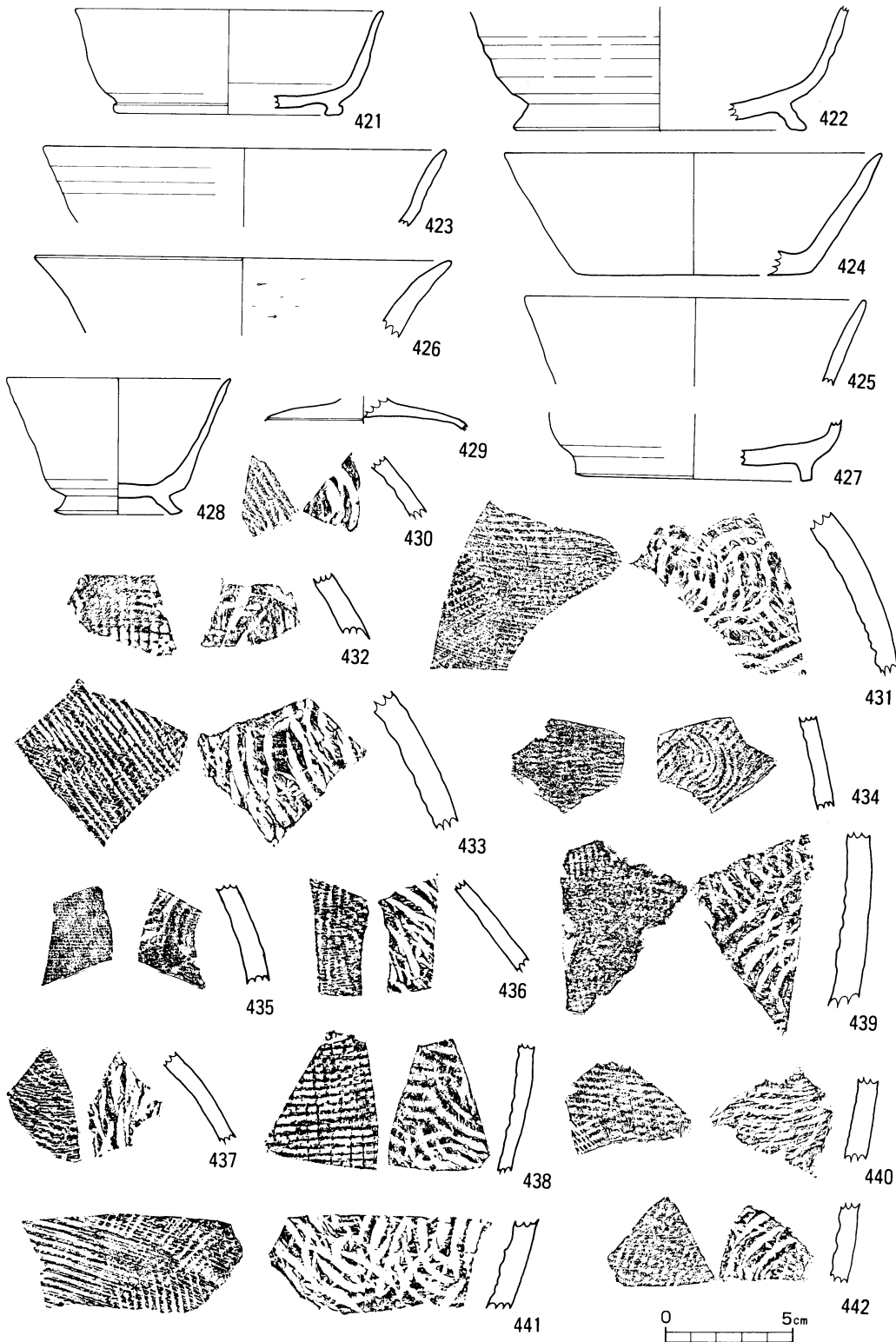
第42図 古墳時代の土器 (1)



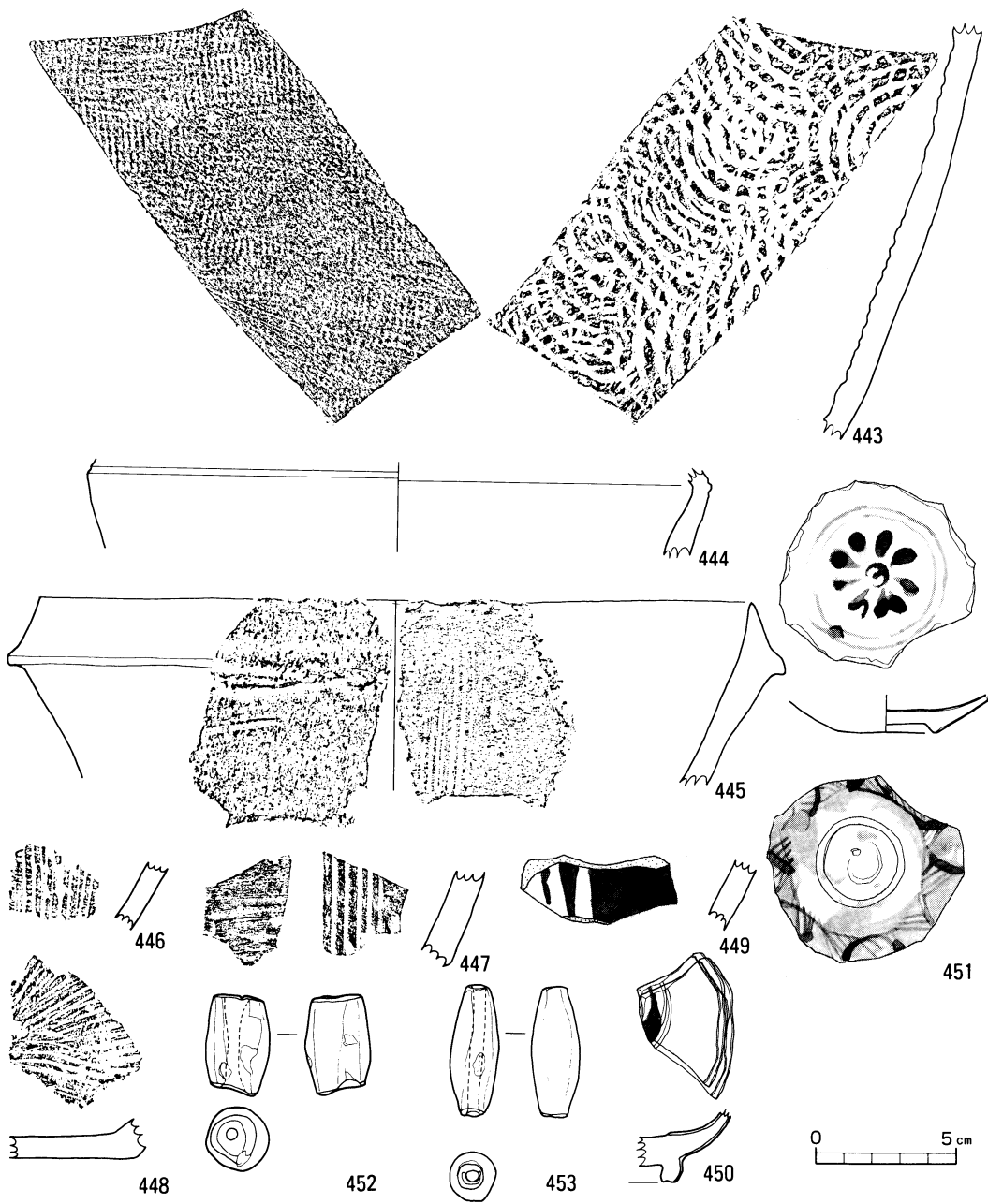
第43図 古墳時代の土器 (2)



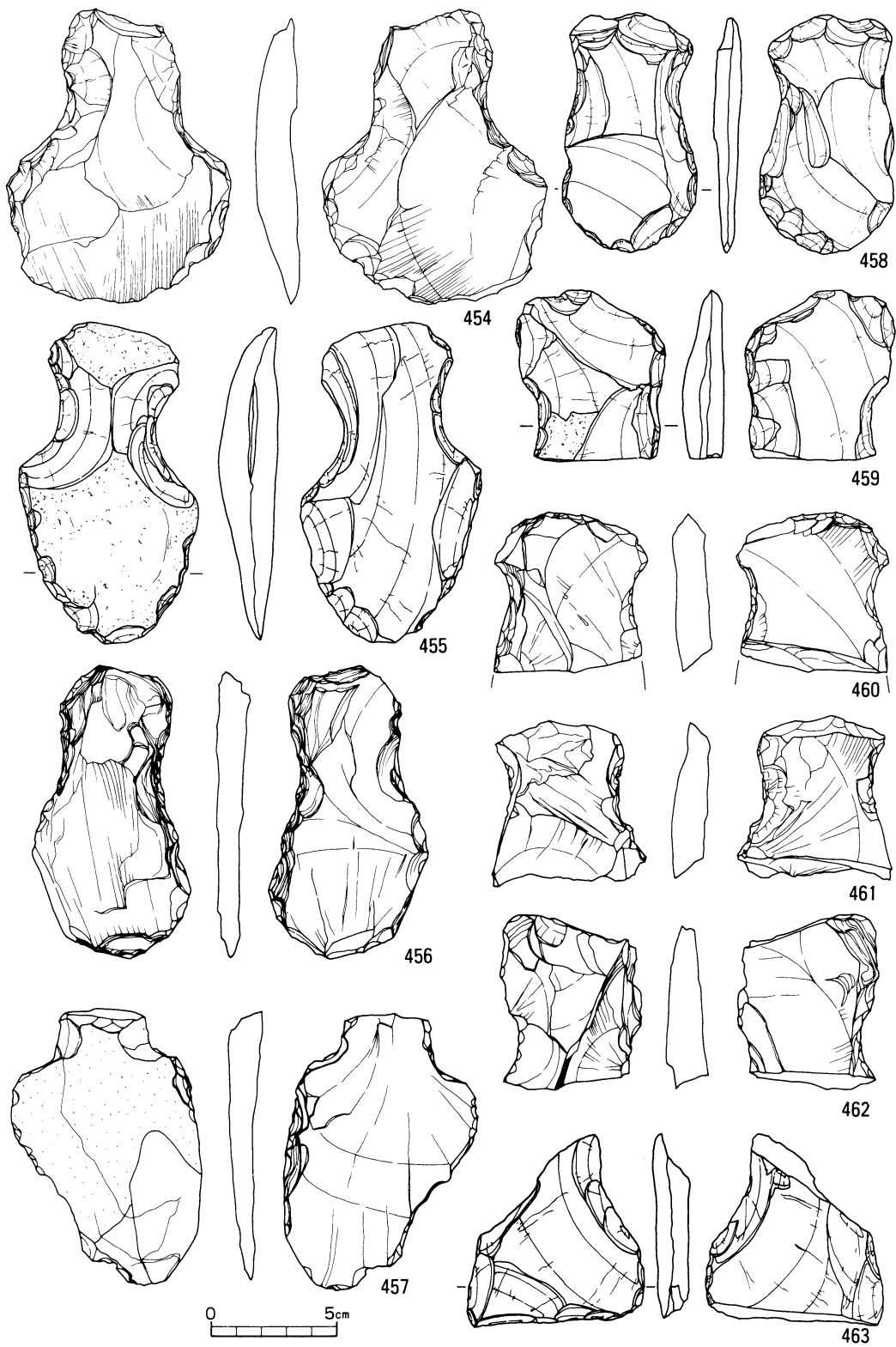
第44図 古墳時代の土器 (3)



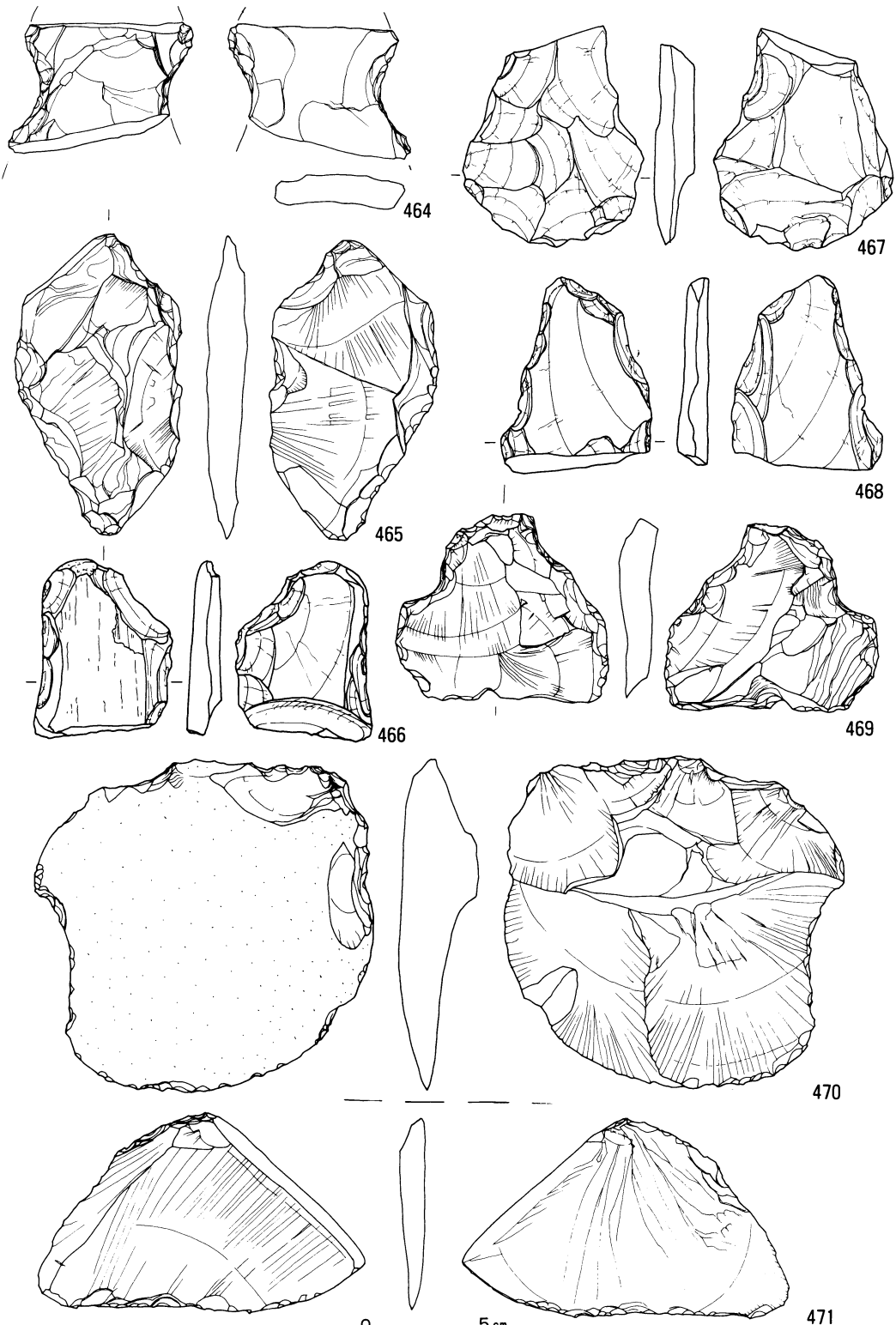
第45図 須恵器



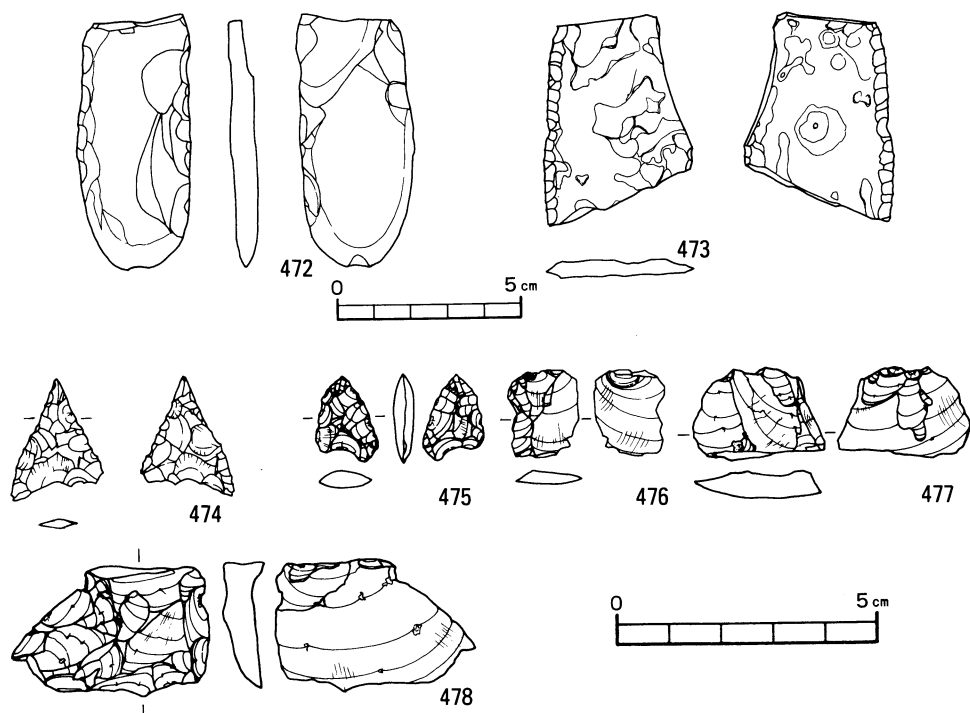
第46図 須恵器、中近世の遺物



第47图 包含层出土石器(1)



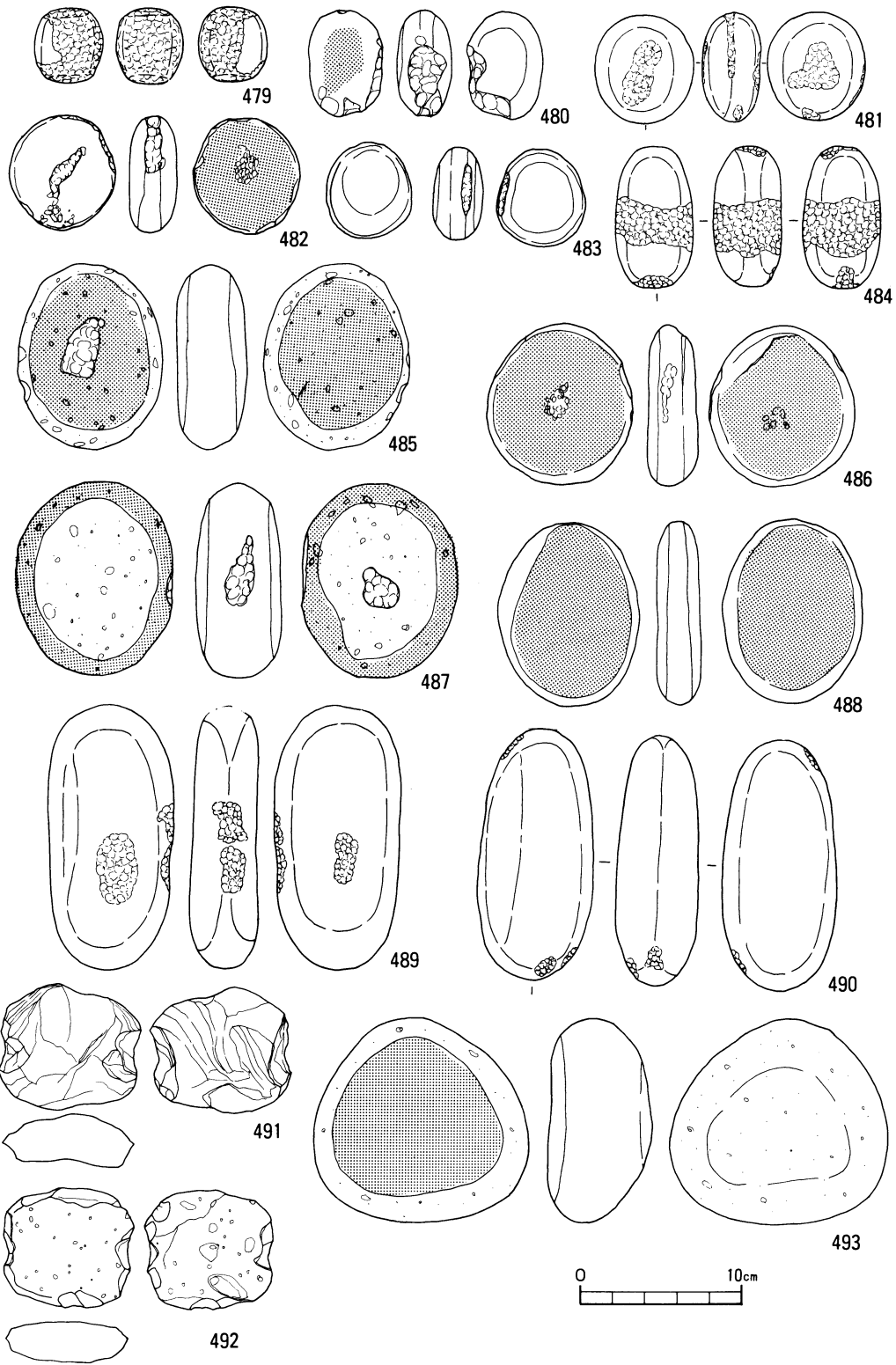
第48图 包含層出土石器(2)



第49図 包含層出土石器 (3)

(2) 石器 (第47図～第50図)

石器は打製土掘具 (454～470), 石包丁型打製石器 (471), 敲石・磨石・凹石 (479～490), 石皿 (493), 石錘 (491・492), 石鎌 (474・475), 石ノミ状石器 (472), 剥片 (476～478) などが出土している。打製土掘具は、溝状遺構1出土のものも合わせて、頁岩を石材に、横長剥片を用い、2次加工をしたものが多い。狭い範囲の発掘調査のわりに欠損品も多く出土した。打製土掘具の範疇に入るものの中に、469 (図面では刃部が横になっている) のように小型のものと、470のように大型のものがある。470は礫面を残す。石包丁型打製石器については、昭和60年の発掘調査の報告書の分類に拠る。敲石、磨石、凹石については、ほとんどが2つ以上の用途を兼ねている。敲打痕は、485・487は片面にのみ残り、溝状遺構の157も同様で、両面使用のものと比較すると、大きさに差があり、ある程度の大きさからは石皿的な使用 (使用に際して表裏を何回も変えなかったこと) を暗示している。これらの大きさは493の石皿に近い。487は、石の周縁部が磨られており、出土した中では1例だけであった。473は、表面に水成作用らしき跡を残し、扁平な素材を用いて、両面剥離によって刃部を作っている。これが完形品であれば、スクレイパーとしての用途が考えられるが、長い刃部の反対側にわずかに刃部がうかがわれ、判断が難しい。477・478は側縁部に使用痕がみられる。



第50圖 包含層出土石器（4）

第 V 章 ま と め

榎木原遺跡は、今回で同じ台地上の2ヶ所を3回にわたって発掘調査を実施したことになる。⁽¹⁾ これら発掘調査によって、大隅半島の各時代の実相にせまる貴重な資料が提供された。特に縄文時代と弥生時代については、考古学の基礎である土器の編年についての資料が数多く追加された。以下前回（昭和63年度）と今回（平成元年度）の発掘調査の遺構・遺物について、各時代ごとにまとめる。

縄文時代

遺構として、住居跡が1基検出された。ここで相伴した、刻目突帯をもつ浅鉢⁽³⁾と小型壺⁽⁴⁾は、個体としても類例が少なく、セットとしても貴重な資料になりうるものである。

縄文時代の出土遺物のなかでは、縄文時代晩期の土器が中心となる。県内の縄文時代晩期の遺跡は、最近よく調査され、鹿児島考古学会のまとめた「鹿児島県下の縄文時代晩期遺跡」⁽²⁾にみるような年々資料は増加している。しかしながら面的な発掘調査は少ないうえに、晩期の遺物包含層が単独でないことが多いため、末だ晩期の様相が明確でないのが実状である。晩期土器の編年にしても、河口貞徳氏による上加世田式→入佐式→黒川式→井手下式→という基本的な編年観⁽³⁾が示されてのち、下山覚氏による黒川式の研究以外は、ほとんどみられない。また入佐遺跡は末吉町であるが、ほかの示準遺跡は大隅半島以外であり、地域性を考慮しながらの編年の再検討も必要であろう。

こうした中で、昭和60年度の榎木原遺跡の発掘調査における、住居跡内の入佐式の一括遺物⁽⁵⁾と、土壇2の黒川式の一括遺物や、昭和61年に報告された末吉町上中段遺跡の山ノ寺式・夜臼式は、大隅半島の縄文時代晩期の編年を補強する資料であった。今回の報告においても、入佐式と黒川式の資料を付け加える一方、後続する型式の様相を明らかにする刻目突帯文の土器が出土した。突帯文の土器は、包含層出土のもの⁽⁶⁾と1号土壇のもの⁽⁷⁾とを併せて考えて、形式は甕形土器と考えると間違いのないであろう。また、これらの突帯文土器（第20図・第36図）と第37図の精製浅鉢はセットとしてとらえられると考える。形式・個体数とも少なく、型式設定は難しく、山ノ寺式・夜臼式並行期として一応位置付けておきたい。刻目の突帯文の甕は、薩摩半島の加世田市上加世田遺跡⁽⁶⁾、日置郡金峰町阿多貝塚⁽⁷⁾、日置郡金峰町高橋貝塚⁽⁸⁾、指宿郡喜入町永野遺跡⁽⁹⁾、枕崎市薙山遺跡⁽¹⁰⁾などで出土している。これらの甕には内面調整にヘラミガキを施す例はなく、ひろく北九州の山ノ寺式・夜臼式でも見当たらない。また大隅地方でも、曾於郡末吉町上中段遺跡で出土した縄文時代晩期の土器の中で、報告者が山ノ寺式・夜臼式とした、いずれの突帯文の甕もヘラナデで内面調整がしてある。同楠木岡遺跡⁽¹³⁾は、夜臼式の壺形土器と甕形土器が出土しているが、この内面調整も同様である。本遺跡のものは、ヘラナデの後にヘラミガキしたものが多く、器面調整に若干の差異が認められる。山ノ寺式の浅鉢のなかに、突帯文で内面調整がヘラミガキのものがある。そうした形式の可能性を含めながらも、鹿屋市水の谷遺跡⁽¹⁴⁾で精製甕形土器として報告してある例もあり、地域的な特色として抽出できるかどうか、資

料の増加を待ちたい。組織痕土器については、黒川式に共伴することが多いが、突帯文を共伴する可能性も考慮する必要がある。

石器では、多くの打製土掘具が敲石、磨石、凹石、石皿などが出土した。これらは農耕への関連性をうかがわせるものであり、縄文時代晩期のこうした石器の組み合わせは、生産関係を追求して行く中の一つの課題である。

弥生時代

昭和60年の調査時において、亀の甲タイプの甕形土器と、内外面にヘラミガキ調整を施して口縁部の内側に断面三角形の貼り付け突帯をめぐらした壺形土器が出土し、弥生時代前期末～中期初頭に位置付けられている。今回も同時期の資料が出土している。板付Ⅱ式にみなされる壺(320)、亀ノ甲式の甕(336)である。また、高坏の坏部と脚部のさかいに三角突帯をもつ器形は、縄文時代晩期から弥生時代中期前半まで存在するが、337の坏部は浅くひろがるものと思われ、板付式・城ノ越式に伴う高坏であると考えられる。321の壺の縦位突帯は、類例が少なく珍しい。突帯間をむすぶものとして、下城式を思い浮かべるが、下城式では甕に施されている。⁽¹⁹⁾西瀬戸内の阿方式のなかで、愛媛県北条市南宮ノ戸貝塚出土の壺に、わずかに例を見る。近畿地方のⅠ様式(新)の突帯文の段階にも出現している。口縁部の内側に断面三角形の貼り付け突帯を持つものは、吹上町入来遺跡、⁽¹⁷⁾鹿屋市水の谷遺跡、⁽¹⁸⁾宮崎県高鍋町持田中尾遺跡、⁽¹⁹⁾同新富町燈遺跡、⁽²⁰⁾同宮崎市保木下遺跡等に見られる。頸部や胴部に、断面三角形の貼り付け突帯をめぐらし、小さく刻目を施す例も、上記の遺跡と共通しているが、加えて宮崎県北諸県郡高崎町今村遺跡でも、瀬戸内系櫛描文とともに出土している。前期後半以降の近畿・瀬戸内文化の東九州への流入と、しだいに西瀬戸内地方が地域性を確立していく中で、とくに阿方式土器との交渉は、かねてから指摘されているが、こうした刻目突帯をもつ壺は前期末から中期初頭の壺において、近畿・瀬戸内で散見されるものである。321の壺は、貼付突帯文の種々の要素をもっており、特に西瀬戸内の影響をうかがわせる。⁽²¹⁾

320～339は、一括遺物ではないが、層位的、形式的にセット関係でとらえられる可能性がある。前期末あるいは中期初頭の様式として成立するかどうか、今後資料の増加を待ちたい。鹿児島県の弥生土器の編年で、いまひとつ明確でなかった時期の様式として期待できるものと考えられる。土器については薩摩地方と大隅地方の地域性にと留意しながら、より汎西日本的な弥生土器の編年観にも目を配る必要がある。編年のみにとどまらず、弥生文化の交流を考えるうえで貴重な資料であろう。

古墳時代～平安時代

遺構は2号、3号住居跡に加えて新たに5号住居跡がこの時期の遺構である。南側の路線外の台地上に古墳時代の集落が存在している可能性も考えられる。

遺物は、成川式土器が出土しているが、後世の攪乱で小破片が多く、接合・復元が困難で、図化できなかったものが多かった。成川式としては、新しい時期にあたる。⁽²²⁾この中で5号住居跡の一括遺物は成川式の細分をおこなう資料となりうる。

中・近世

遺構は、溝状遺構（1，2，3）と古道跡が検出された。溝状遺構1の埋土内出土の鉄さいは多量に及び、今回は150個数・総重量13,549gにあたる鉄滓が出土した。昭和60年の発掘調査で、ふいご羽口が出土し、周辺から鉄さいが採集されている。製鉄に係する遺構であると考えられる。加世田市上加世田遺跡で検出された製鉄跡に伴う溝状遺構と同様の遺構と考えられる。（堂込）

- (1) 鹿児島県教育委員会 「榎木原遺跡」鹿児島県埋蔵文化財発掘調査報告書(44) 1987
- (2) 鹿児島県考古学会 「鹿児島県下の縄文時代晩期遺跡」鹿児島県考古学会秋季大会資料集 1988
- (3) 河口貞徳 「上加世田遺跡発掘調査概要－第5次－」加世田市教育委員会 1972
- (4) 下山覚 「『黒川式土器』細分の為の基礎論」『鹿大考古第3号』 1985
- (5) 末吉町教育委員会 「上中段遺跡（他4遺跡）」末吉町埋蔵文化財発掘調査報告書(4) 1986
- (6) 加世田市教育委員会 「上加世田遺跡－1」加世田市埋蔵文化財発掘調査報告書(3) 1985
- (7) 金峰町教育委員会 「阿多貝塚」金峰町埋蔵文化財調査報告書(1) 1978
- (8) 河口貞徳 「高橋貝塚」『考古学集刊3－2』東京考古学会 1965
- (9) 喜入町教育委員会 「梅木渡瀬調査地区－下大原・松木田・永野遺跡」喜入町埋蔵文化財発掘調査報告書(4) 1988
- (10) 枕崎市教育委員会 「門妙ヶ掘遺跡・小松ノ尾遺跡・雑山遺跡・神ノ小遺跡」枕崎市埋蔵文化財発掘調査報告書(4) 1988
- (11) 中島直幸 「初期稲作期の凸帯文土器」『森貞次郎博士古希記念古文化論集』
- (12) 山崎純男 「弥生文化成立期における土器の編年の研究」『鏡山猛先生古希記念古文化論放』 1980
- (13) 末吉町教育委員会 「四枝道遺跡・楠木岡遺跡・中牛牧遺跡」末吉町埋蔵文化財発掘調査報告書(5) 1987
- (14) 鹿屋市教育委員会 「水の谷遺跡」鹿屋市埋蔵文化財発掘調査報告書(5) 1986
- (15) 小林行雄、杉原荘介 「弥生土器集成 本編」1964
- (15) 小田富士雄 「入門講座・弥生土器 九州1・2・3」『考古学ジャーナル 76～79』 1972
- (16) 賀川光夫 「東九州に於ける押型紋土器と弥生式土器」『考古学雑誌 37－1』 1951
- (16) 真野和夫・牧尾義則 「下城式土器文化の研究1」『大分県宇佐風土記の丘歴史民俗史料館 研究紀要 Vol. 1』 1984
- (17) 杉原荘介 「伊予阿方遺跡・片山遺跡概報」考古学集刊第2冊 1949
- (18) 岡本健児 「入門講座・弥生土器 四国3」『考古学ジャーナル 90』 1974
- (19) 河口貞徳 「入来遺跡」『鹿児島考古 第11号』鹿児島県考古学会 1976,12
- (20) 北郷泰道 「持田中尾遺跡」高鍋町教育委員会 1982,4
- (21) 面高哲郎他 「鎧遺跡・藤掛遺跡」新富町教育委員会 1983,3
- (22) 面高哲郎他 「保木下遺跡」宮崎県教育委員会 1986,3
- (23) 石川恒太郎 「今村遺跡」『九州縦貫道自動車道埋蔵文化財調査報告書(3)』宮崎県教育委員会 1979,3
- (24) 森貞次郎 「弥生文化の発展と地域性－九州」『日本の考古学Ⅲ』1966
- (25) 井藤暁子 「突帯紋」『弥生文化の研究 3 弥生土器Ⅰ』1986
- (26) 石川悦雄 「宮崎平野における弥生土器編年試案－素描(MKⅡ)」『宮崎考古 第9号』 1984,2
- (27) 池畑耕一 「成川式土器の細分編年試案」『鹿児島考古 第14号』鹿児島県考古学会 1980
- (27) 多々良友博 「成川式土器の検討」『鹿児島考古 第15号』 1981

第2表 出土土器観察表(1)

| 挿入番号 | 遺物番号 | 出土区 | 層 | 胎土 | 焼成 | 色調 | 内面調整 | 外面調整・紋様 | 備考 |
|------|------|-----|---|---------------------|-----|---------|----------------|--------------|-----------|
| 第9区 | 1 | H 1 | | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 茶褐色 | 貝殻条痕 | ヘラナデ・微隆突帯 | |
| | 2 | | | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 黒褐色 | 条痕 | 条痕 | 7 |
| | 3 | | | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 黄褐色 | ヘラミガキ・ナデ | ヘラミガキ・突帯文 | 1 |
| | 4 | | | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 黒色 | ヘラミガキ | ヘラミガキ | 3 |
| | 5 | | | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 暗灰色 | ナデ | 条痕・沈線 | |
| | 6 | | | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 暗赤褐色 | 条痕 | ナデ | |
| | 7 | | | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 茶褐色 | 条痕 | 条痕 | 4 |
| | 8 | | | 石英・長石・角閃石・細砂粒を多く含む | 良好 | 赤褐色 | 条痕 | 条痕 | |
| | 9 | | | 石英・長石・角閃石・細砂粒を多く含む | 良好 | 赤褐色 | 貝殻条痕 | 貝殻条痕 | 5 |
| | 10 | | | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 淡赤褐色 | ヘラミガキ | ヘラミガキ | 2 |
| | 11 | | | 石英・細砂粒を含む | 良好 | 黄白色 | ナデ | 突帯 | |
| 第12区 | 14 | H 2 | | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 茶褐色 | ヘラミガキ | ヘラミガキ | |
| | 15 | | | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 黒褐色 | 条痕 | 条痕 | |
| | 16 | | | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 赤色 | ヨコナデ | ハケ目 | 10 |
| | 17 | | | 細砂粒を含む。よく精選 | 良好 | 暗褐色 | ナデ | ナデ後ヘラミガキ | 15 |
| | 18 | | | 石英・細砂粒を含む。よく精選 | 良好 | 赤褐色 | ヘラミガキ | ヘラミガキ | 丹塗り |
| | 19 | | | 石英・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 赤褐色・黒色 | ナデ | ナデ・突帯 | 穿孔あり(外-内) |
| | 20 | | | 石英・細砂粒を含む | 良好 | 黒色・淡褐色 | ナデ | ナデ・突帯 | 13 |
| | 21 | | | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 赤褐色 | ナデ | ナデ・突帯 | 12 |
| | 22 | | | 石英・細砂粒を含む。よく精選 | 良好 | 淡褐色・黒色 | ナデ | ナデ・突帯 | 14 |
| | 23 | | | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 暗褐色 | ハケ目後ナデ | ハケ目後ナデ | |
| | 24 | | | 細砂土 | 良好 | 淡青灰色 | 回転ナデ | 回転ナデ | 須恵器 |
| 第14区 | 25 | | | 細砂土 | 良好 | 青灰土 | 同心円タタキ | 平行タタキ | 須恵器 |
| | 26 | H 3 | | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 赤褐色 | ナデ | ナデ・刻目突帯 | 19 |
| | 27 | | | 石英・細砂粒を含む。よく精選 | 良好 | 淡褐色・黒色 | ナデ | ナデ・突帯 | 21 |
| | 28 | | | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む。精選 | 良好 | 褐色・黒色 | ナデ | 突帯 | 27 |
| | 29 | | | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 黒褐色 | 不明 | ナデ・突帯 | |
| | 30 | | | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 赤褐色 | ナデ | ナデ・突帯 | 22 |
| | 31 | | | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | やや粗 | 茶褐色 | 不明 | 突帯 | 20 |
| | 32 | | | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 淡赤褐色 | ナデ | ナデ・突帯 | 25 |
| | 33 | | | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 淡黄褐色 | 不明 | 不明・突帯(格子文) | ヘラ状工具による |
| | 34 | | | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 淡赤褐色 | 不明 | ヘラミガキ痕・突帯 | ヘラ状工具による |
| | 35 | | | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 黄褐色 | 不明 | 不明・突帯(格子文) | ヘラ状工具による |
| 第16区 | 36 | | | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 青灰色 | 不明 | ナデ・突帯 | 29 |
| | 37 | | | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 淡赤褐色 | ナデ | ナデ | 高坏脚 |
| | 38 | | | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 赤色・黄白色 | ナデ | ヘラミガキ・丹塗り | 高坏脚 |
| | 39 | | | 細砂土・砂粒を含む | 良好 | 青灰色 | 回転ナデ調整 | | 須恵器 |
| | 40 | | | 細砂土・砂粒を含む | 良好 | 青灰色 | 同心円タタキ | タタキ | 須恵器 |
| | 41 | | | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 暗赤褐色 | 条痕後ナデ | 条痕後ナデ | |
| | 42 | | | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 赤褐色 | ヘラミガキ | ヘラミガキ | |
| | 43 | | | 長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 赤褐色 | 条痕後ヘラミガキ | 条痕後ヘラミガキ | |
| | 44 | | | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 暗茶褐色 | ヘラミガキ | ヘラミガキ・沈線 | |
| | 45 | | | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 黒褐色 | 条痕後ナデ | 条痕後ナデ・刻目突帯 | ヘラ状工具による |
| | 46 | | | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 黒褐色 | ヨコナデ | 刻目突帯 | 指頭による |
| 第18区 | 47 | | | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 黒褐色 | ヨコナデ | 刻目突帯 | ヘラ状工具による |
| | 48 | | | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 黒褐色 | ヨコナデ | 一部ヘラミガキ・刻目突帯 | 指頭による |
| | 49 | | | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 暗赤褐色 | ヘラミガキ | 条痕後ヘラミガキ | |
| | 50 | | | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 赤褐色 | ヘラミガキ | ヘラミガキ | |
| | 51 | | | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 黄褐色 | 条痕後ナデ | 組織痕 | |
| | 52 | | | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 黒褐色 | ナデ | 組織痕 | |
| | 53 | | | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 茶褐色 | ヘラミガキ | 組織痕 | |
| | 54 | | | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 黄褐色・黒褐色 | ナデ | ナデ・突帯 | 指頭痕 |
| | 55 | | | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 淡赤褐色 | ヨコナデ | ナデ・突帯 | |
| | 56 | | | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 黒褐色 | ナデ | ナデ・刻目突帯 | 棒状の工具による |
| | 57 | | | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 暗黄褐色 | ハケ目後ヘラミガキ | ハケ目後ヘラミガキ | |
| 第20区 | 58 | | | 石英・長石を含む。よく精選 | 良好 | ヨコナデ | ヨコナデ後ヘラミガキ・竹筒文 | | |
| | 59 | | | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 淡赤褐色 | ナデ | ハケ目後ナデ | |
| | 60 | | | 石英・長石・角閃石を含む | 良好 | 赤褐色 | ヘラミガキ | ヘラミガキ | 丹塗り |
| | 61 | | | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 赤褐色 | ハケ目後ナデ | ヘラミガキ | 丹塗り |
| | 62 | | | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 暗黄褐色 | ハケ目後ナデ | ハケ目後ナデ | |
| | 63 | | | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 暗褐色 | ヨコナデ・ナデ | ヨコナデ・ハケ目・突帯 | |

色調は内・外の順
備考欄の番号は「榎木原遺跡Ⅱ」の遺物番号である。

第3表 出土土器観察表(2)

| 挿入 番号 | 遺物 番号 | 出土区 層 | 胎 土 | 焼成 | 色 調 | 内 面 調 整 | 外 面 調 整 ・ 紋 様 | 備 考 |
|--------------|----------|----------|----------------------|----------|---------|------------------|---------------------------------|------------|
| 第 17 区 | 64 | H 5 | 石英・長石・細砂粒を含む | やや 不良 | 淡黄褐色 | ヘラミガキ | ヘラミガキ | 丹塗りの痕跡・穿孔痕 |
| | 65 | | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 茶褐色 | ハケ目 | ハケ目 | |
| | 66 | | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 黒褐色 | ハケ目後ヨコナデ | ハケ目後ヨコナデ | |
| | 67 | | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 茶褐色・黒褐色 | ハケ目後ナデ | ヨコナデ、突帯 | |
| | 68 | | 石英・長石・細砂粒を含む | 不良 | 褐色 | 不明 | ヘラミガキ、突帯(S字文) | 半截竹筥様工具 |
| | 69 | | 石英・長石・細砂粒を含む | 不良 | 淡黄褐色 | 不明 | ナデ、突帯 | |
| | 70 | | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 淡黄褐色 | ヘラミガキ | ヘラミガキ | |
| | 71 | | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 淡黄褐色 | ナデ | ナデ、刻目突帯 | |
| | 72 | | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 淡赤褐色 | ヨコナデ | ハケ目後ヘラミガキ | 丹塗りの(外) |
| | 73 | | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 赤褐色 | ハケ目(ヨコ) | ハケ目後ヘラミガキ | 丹塗りの(外) |
| | 74 | | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 赤褐色 | ハケ目後ナデ | ヘラミガキ | 丹塗りの(外) |
| | 75 | | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 赤褐色 | ヘラミガキ | ヘラミガキ | 丹塗りの(外) |
| | 76 | | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 赤褐色 | ヘラミガキ | ヘラミガキ | 丹塗りの(外) |
| | 77 | | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 淡黄褐色 | ナデ | ハケ目後ナデ | |
| | 78 | | 石英・長石・軽石・細砂粒を含む | 良好 | 赤褐色 | ヘラケズリ | ナデ | |
| | 79 | | 石英・長石・軽石・細砂粒を含む | 良好 | 赤褐色 | ナデ | ナデ | |
| | 80 | | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 赤褐色 | ナデ | ハケ目後ナデ | |
| 第 20 区 | 81 | D 1 | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 黒褐色 | ヘラミガキ | 条痕、刻目突帯 | 指頭による |
| | 82 | | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 赤褐色 | ナデ | ナデ、刻目突帯 | ヘラによる 35 |
| | 83 | | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 暗茶褐色 | ナデ | ヘラミガキ、刻目突帯 | 指頭による 36 |
| | 84 | | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 暗茶褐色 | ヘラミガキ | ヘラミガキ・沈線 | |
| | 85 | | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 茶褐色 | ヘラミガキ | 条痕 | |
| | 86 | | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 不良 | 赤褐色 | 条痕ナデ | 条痕ナデ | |
| | 87 | | 石英・長石・角閃石を含む。よく精選 | 良好 | 淡黄褐色 | ハケ目後ナデ | ハケ目後ナデ | |
| | 88 | | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 暗茶褐色 | ヘラミガキ | ヘラミガキ | 外面下に煤付着 |
| | 89 | | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 黒色・黄褐色 | 不明 | 組織圧痕 | 37 |
| | 90 | | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 黒色・黄褐色 | ヘラミガキ | 組織圧痕 | 40 |
| | 91 | | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 淡黄褐色・黒色 | ナデ | 組織圧痕 | |
| | 92 | | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 暗褐色 | ナデ | ナデ、突帯 | 38 |
| | 93 | | 石英・細砂粒を含む | 良好 | 赤褐色 | ヘラミガキ | ヘラミガキ | 丹塗りの(外) |
| | 94 | | 石英・細砂粒を含む | 良好 | 赤褐色・赤色 | ヘラミガキ | ヘラミガキ | 丹塗りの(外) 39 |
| 第 23 区 | 100 | 溝 1 | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 黒褐色 | ヘラミガキ | ヘラミガキ | 黒色研磨 |
| | 101 | | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 茶褐色・黒褐色 | ヘラミガキ・ナデ | ヘラミガキ、刻目突帯 | |
| | 102 | | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 黄褐色 | 条痕 | 組織圧痕 | |
| | 103 | | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 黄褐色・黒褐色 | ナデ | ナデ、突帯 | |
| | 104 | | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 黄褐色 | ナデ | ナデ | |
| | 105 | | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 黄褐色 | 不明 | 不明、突帯(刺突文) | 半截竹筥様工具 |
| | 106 | | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 黄灰色 | 不明 | 突帯(斜格子文) | |
| | 107 | | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 黄褐色 | ハケ目後ナデ | ハケ目 | |
| | 108 | | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 黒褐色・赤褐色 | ヘラミガキ | ヘラミガキ | |
| | 109 | | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 赤褐色 | ナデ | ハケ目 | |
| | 110 | | 石英・長石・角閃石・金雲母・細砂粒を含む | 良好 | 黄褐色 | ナデ | ナデ | |
| | 111 | | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 淡黄褐色 | ナデ | ナデ | |
| | 112 | | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 淡黄褐色 | ナデ | ナデ | |
| | 113 | | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 赤褐色 | ハケ目、ナデ | ハケ目、ナデ | |
| | 114 | | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 暗赤褐色 | ナデ | ナデ | |
| | 115 | | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 赤褐色 | ハケ目後ナデ | ハケ目後ナデ | |
| | 116 | | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 淡黄褐色 | 不明 | ナデ | |
| 117 | | 細砂土 | 良好 | 青灰色 | 回転ナデ | 回転ナデ | 須恵器 | |
| 第 24 区 | 118 | | 細砂土 | 良好 | 青灰色 | 同心円タタキ | 格子状タタキ | 須恵器 |
| | 119 | | 細砂土 | 不良 | 青灰色 | 平行タタキ | 格子状タタキ | 須恵器 |
| | 120 | | 細砂土 | 良好 | 灰黒色 | 平行タタキ | 格子状タタキ | 須恵器 |
| | 121 | | 陶土 | 良好 | 暗緑色 | 回転ナデ | 回転ナデ | |
| | 122 | | | 良好 | | | | 青磁 |
| | 123 | | | 良好 | | | | 灰軸 |
| | 124 | | | 良好 | 黄灰色 | | | すり鉢、須恵質 |
| | 125 | | | 良好 | 赤褐色 | | | すり鉢、須恵質 |
| | 126 | | | 良好 | | | | すり鉢 |
| | 127 | | | 良好 | | | | すり鉢、須恵質 |
| 128 | | | 良好 | | | | 青磁 | |
| 129 | | | 良好 | | | | 青磁 | |

第4表 出土土器観察表(3)

| 挿図 番号 | 遺物 番号 | 出土区 | 層 | 胎 土 | 焼成 | 色 調 | 内 面 調 整 | 外 面 調 整・紋 様 | 備 考 | | |
|--------------|--------------|-----|------------------|------------------|------------------|---------|--------------|-------------|---------------|------------|----|
| 第 24 図 | 130 | 溝1 | | | 良好 | | | | 青磁・重ね焼きの痕跡 | | |
| | 131 | | | | 良好 | | | | 青磁・貫入・重ね焼きの痕跡 | | |
| | 132 | | | | 良好 | | | 運弁 | 青磁・貫入 | | |
| | 133 | | | | 良好 | | | | 青磁 | | |
| | 134 | | | | 良好 | | | | 青磁 | | |
| | 135 | | | | 良好 | | | | 染付 | | |
| | 136 | | | | 良好 | | | | 染付・貫入 | | |
| | 137 | | | | 良好 | | | | 白磁 | | |
| | 138 | | | | 良好 | | | | 乳白色釉 | | |
| 139 | | | | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 赤褐色 | | | 土鍾 | | |
| 第 29 図 | 164 | F16 | Ⅱ | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 褐色 | 貝殻条痕 | 貝殻条痕・貝殻刺突 | | 角陶 | |
| | 165 | F17 | Ⅲ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 褐色 | 貝殻条痕 | 貝殻条痕 | | | |
| | 166 | 〃 | Ⅶ下 | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 赤褐色 | 貝殻条痕 | 沈線 | | | |
| | 167 | E21 | Ⅶ下 | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 赤褐色 | 不明 | 沈線 | | | |
| | 168 | F21 | Ⅶ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 茶褐色 | 貝殻条痕 | 沈線 | | 41 | |
| | 169 | F21 | Ⅶ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 黄褐色・茶褐色 | 貝殻条痕 | 凹線 | | 44 | |
| | 170 | F21 | Ⅶ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 黄褐色・赤褐色 | 貝殻条痕 | 凹線 | | 43 | |
| | 171 | F14 | Ⅶ | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 黒褐色 | 貝殻条痕 | 貝殻条痕 | | 42 | |
| | 172 | F12 | Ⅶ下 | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 黒褐色 | 貝殻条痕 | 条痕・微隆突帯 | | | |
| | 173 | E21 | Ⅶ | 石英・金雲母・細砂粒を含む | 良好 | 暗褐色 | 貝殻条痕 | 貝殻条痕 | | | |
| | 174 | E21 | Ⅶ | 石英・金雲母・細砂粒を含む | 良好 | 暗褐色 | 貝殻条痕 | 貝殻条痕 | | 173と同一 | |
| | 175 | F15 | Ⅶ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 赤褐色 | 貝殻条痕 | 貝殻条痕 | | | |
| | 176 | F21 | Ⅶ | 石英・長石・金雲母・細砂粒を含む | 良好 | 黄褐色 | ヘラミガキ | ヘラミガキ | | 網代底 46 | |
| | 177 | E7 | Ⅶ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 淡赤褐色 | ナデ | ナデ | | 木葉痕 45 | |
| | 178 | E6 | Ⅶ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 淡茶褐色 | ナデ | ナデ | | 47 | |
| | 179 | F21 | Ⅶ | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 茶褐色 | 不明・ヘラミガキ痕 | 沈線 | | 50 | |
| | 第 30 図 | 180 | F21 | Ⅶ | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 茶褐色 | 条痕・ヘラミガキ | 条痕後ナデ | | 51 |
| | | 181 | F22 | Ⅶ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 茶褐色・赤褐色 | ヘラミガキ | ヘラミガキ | | 49 |
| 182 | | E20 | Ⅶ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 赤褐色 | 条痕・ナデ | 沈線・ナデ | | | |
| 183 | | F22 | Ⅶ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 茶褐色 | 不明 | ナデ | | 52 | |
| 184 | | F20 | Ⅶ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 暗茶褐色 | 工具ナデ・一部ヘラミガキ | 条痕 | | | |
| 185 | | F22 | Ⅶ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 茶褐色・赤褐色 | ヘラミガキ | 条痕(クシ状) | | 48 | |
| 186 | | E20 | Ⅶ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 暗赤褐色 | ナデ | 沈線・ナデ | | | |
| 187 | | E21 | Ⅶ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 赤褐色 | ナデ | 沈線・ナデ | | | |
| 188 | | F22 | Ⅶ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 茶褐色 | ヘラミガキ | ヘラミガキ・工具ナデ | | 53 | |
| 189 | | F21 | Ⅶ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 茶褐色 | ナデ・条痕 | ナデ | | 黒斑 50 | |
| 190 | | D6 | Ⅶ | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 黄灰色 | ヘラミガキ | ヘラミガキ | | | |
| 191 | | F16 | Ⅶ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 黒褐色・赤褐色 | ヘラミガキ | ヘラミガキ | | | |
| 第 31 図 | 192 | F22 | Ⅶ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 淡茶褐色 | ヘラミガキ | ヘラミガキ | | 91 | |
| | 193 | F15 | Ⅶ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 褐色・暗褐色 | 条痕 | 条痕 | | | |
| | 194 | D6 | Ⅶ | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 茶褐色・黒色 | 条痕 | 条痕 | | | |
| | 195 | E6 | Ⅶ | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 黒褐色・褐色 | 条痕 | ナデ | | 55 | |
| | 196 | F16 | Ⅶ | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 暗赤褐色 | 条痕・ヘラミガキ | 条痕 | | | |
| | 197 | D4 | Ⅵ | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 赤褐色・暗褐色 | 不明 | ナデ | | 穿孔(外→内) 57 | |
| | 198 | E6 | Ⅶ | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 黄褐色・暗褐色 | ナデ | ヘラミガキ | | 56 | |
| | 199 | F18 | Ⅶ | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 暗褐色 | ヘラミガキ | 条痕 | | 58 | |
| | 200 | F21 | Ⅶ | 石英・長石・金雲母・細砂粒を含む | 良好 | 茶褐色 | 不明 | 不明 | | 63 | |
| | 201 | E5 | Ⅶ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 暗茶褐色・褐色 | 条痕後ヘラミガキ | ナデ | | 59 | |
| | 202 | F17 | Ⅶ | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 暗褐色・黄褐色 | 工具ナデ(条痕) | 工具ナデ(条痕) | | 60 | |
| | 203 | F15 | Ⅶ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 黄褐色 | ナデ | 条痕 | | | |
| | 204 | D5 | Ⅶ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 赤褐色 | ナデ | 条痕 | | | |
| | 205 | E21 | Ⅶ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 暗褐色 | ナデ | 条痕 | | | |
| 第 32 図 | 206 | F18 | Ⅶ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 暗茶褐色 | 工具ナデ(条痕) | 工具ナデ(条痕) | | 61 | |
| | 207 | E21 | Ⅶ | 細砂粒を含む | 良好 | 赤褐色 | 不明 | リボン状突帯 | | | |
| | 208 | F18 | Ⅶ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 淡茶褐色 | 不明 | ヘラミガキ | | 79 | |
| | 209 | D4 | Ⅶ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 暗褐色 | ナデ | 条痕 | | 80 | |
| | 210 | F21 | Ⅶ | 石英・長石・金雲母・細砂粒を含む | 良好 | 茶褐色 | ナデ | ナデ | | | |
| | 211 | E6 | Ⅶ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 褐色・黒褐色 | ナデ | 条痕 | | 黒斑 83 | |
| | 212 | F22 | Ⅶ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 淡黄褐色 | 不明 | 不明・突帯 | | | |
| | 213 | F17 | Ⅶ | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 黒褐色 | 条痕・ヘラミガキ | 条痕 | | | |
| 214 | F21 | Ⅶ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 暗黄褐色 | 不明 | 不明 | | 84 | | |

第5表 出土土器観察表(4)

| 挿図番号 | 遺物番号 | 出土区 | 層 | 胎土 | 焼成 | 色調 | 内面調整 | 外面調整・紋様 | 備考 |
|------|------|------|---|------------------|----|----------|------------|------------------|----------|
| 第 | 215 | F 22 | Ⅶ | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 暗茶褐色 | 条痕後ヘラミガキ | 条痕 | |
| | 216 | F 15 | Ⅶ | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 暗褐色 | 条痕後ヘラミガキ | 条痕 | |
| | 217 | F 22 | Ⅶ | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 黄褐色 | 不明 | 条痕 | 87 |
| | 218 | F 20 | Ⅶ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 茶褐色・黄褐色 | 不明 | 条痕 | 88 |
| | 219 | E 4 | Ⅶ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 暗褐色 | ヘラミガキ | ヘラミガキ | 97 |
| | 220 | E 4 | Ⅶ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 淡褐色 | ヘラナデ | 工具ナデ | 98 |
| | 221 | E 5 | Ⅶ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 黄褐色・黒色 | ナデ | ヘラミガキ | 99 |
| | 222 | F 18 | Ⅶ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 黒褐色 | ヘラミガキ | ヘラミガキ | |
| | 223 | D 5 | Ⅶ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 黒色 | ヘラミガキ | ヘラミガキ | |
| | 224 | F 22 | Ⅶ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 暗灰褐色 | ヘラミガキ | ヘラミガキ | 93 |
| 図 | 225 | E 6 | Ⅶ | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 黒褐色 | ヘラミガキ | ヘラミガキ | 94 |
| | 226 | F 22 | Ⅶ | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 灰褐色 | ヘラミガキ | ヘラミガキ | 90 |
| | 227 | F 23 | Ⅶ | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 淡赤褐色 | ヘラミガキ | ヘラミガキ | 92 |
| | 228 | E 20 | Ⅶ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 暗褐色 | 不明 | ヘラミガキ | |
| | 229 | E 5 | Ⅶ | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 黄褐色 | 条痕 | ヘラミガキ | 溜付き 96 |
| | 230 | D 5 | Ⅶ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 暗赤褐色 | 工具ナデ(タテ) | 工具ナデ(タテ) 条痕・組織圧痕 | |
| | 231 | D 5 | Ⅶ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 赤褐色・灰褐色 | 工具ナデ(タテ) | 条痕・組織圧痕 | |
| | 232 | D 4 | Ⅶ | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 黒褐色・茶褐色 | ヘラミガキ | 組織圧痕 | 114 |
| | 233 | F 15 | Ⅶ | 石英・長石・金雲母・細砂粒を含む | 良好 | 暗褐色・茶褐色 | 工具ナデ | 組織圧痕 | 113 |
| | 234 | D 6 | Ⅶ | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 茶褐色 | ヘラミガキ | 条痕・組織圧痕 | 117 |
| 第 | 235 | D 4 | Ⅶ | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 暗褐色・黄褐色 | ヘラミガキ | 組織圧痕 | 110 |
| | 236 | E 4 | Ⅶ | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 黒褐色・黄褐色 | ヘラミガキ | 組織圧痕 | 111 |
| | 237 | D 4 | Ⅶ | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 茶褐色 | ヘラミガキ | 組織圧痕 | 117 |
| | 238 | E 4 | Ⅶ | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 茶褐色 | ヘラミガキ | 組織圧痕 | 116 |
| | 239 | D 4 | Ⅶ | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 黒褐色・黄褐色 | ヘラミガキ | 組織圧痕 | 108 |
| | 240 | | Ⅶ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 茶褐色・黄褐色 | ヘラミガキ・こげつき | 組織圧痕 | |
| | 241 | F 14 | Ⅶ | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 暗褐色・赤褐色 | ヘラミガキ | 組織圧痕 | |
| | 242 | F 14 | Ⅶ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 暗褐色・淡褐色 | 不明 | 組織圧痕 | |
| | 243 | D 5 | Ⅶ | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 黒色・褐色 | 不明 | 組織圧痕 | |
| | 244 | D 4 | Ⅶ | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 灰褐色・黒褐色 | ヘラミガキ | 工具ナデ・条痕・組織圧痕 | 100 |
| 図 | 245 | E 4 | Ⅶ | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 黒褐色・暗褐色 | ヘラミガキ | 組織圧痕 | 106 |
| | 246 | D 4 | Ⅶ | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 黒褐色・褐色 | ヘラミガキ | 組織圧痕 | 105 |
| | 247 | D 4 | Ⅶ | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 黒褐色・褐色 | ヘラミガキ | 組織圧痕 | 104 |
| | 248 | D 3 | Ⅶ | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 黒褐色・暗褐色 | ヘラミガキ | 組織圧痕 | 103 |
| | 249 | E 4 | Ⅶ | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 黒褐色・褐色 | ヘラミガキ | 組織圧痕 | 101 |
| | 250 | DE 4 | Ⅶ | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 黒褐色・褐色 | ヘラミガキ | 組織圧痕 | 102 |
| | 251 | E 4 | Ⅶ | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 黒褐色・黄褐色 | ヘラミガキ | 組織圧痕 | 109 |
| | 252 | F 16 | Ⅶ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 暗赤褐色・黄褐色 | ヘラミガキ | 組織圧痕 | |
| | 253 | F 15 | Ⅶ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 黒色・灰褐色 | ヘラミガキ | 組織圧痕 | |
| | 254 | D 4 | Ⅶ | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 赤褐色 | ヘラミガキ | 組織圧痕 | 121 |
| 第 | 255 | F 14 | Ⅶ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 赤褐色 | ヘラミガキ | 組織圧痕 | |
| | 256 | D 4 | Ⅶ | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 暗褐色・赤褐色 | ヘラミガキ | 組織圧痕 | 120 |
| | 257 | E 6 | Ⅶ | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 暗褐色・赤褐色 | ヘラミガキ | 組織圧痕 | 119 |
| | 258 | E 6 | Ⅶ | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 黄褐色・黒褐色 | ヘラミガキ | 組織圧痕 | 118 |
| | 259 | D 5 | Ⅶ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 暗褐色 | ヘラミガキ | 条痕(ヨコ)・組織圧痕 | |
| | 260 | D 6 | Ⅶ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 暗灰褐色 | ヘラミガキ | 組織圧痕 | |
| | 261 | D 5 | Ⅶ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 淡褐色・暗褐色 | ヨコナデ | 条痕・刻目突帯 | 指頭による |
| | 262 | E 4 | Ⅶ | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 黄褐色・暗褐色 | 条痕 | 条痕・刻目突帯 | 指頭による 77 |
| | 263 | D 4 | Ⅶ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 暗褐色 | 条痕 | 条痕・刻目突帯 | 指頭による 67 |
| | 264 | E 4 | Ⅶ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 暗褐色 | 条痕 | ヘラミガキ・刻目突帯 | 工具による 66 |
| 第 | 265 | D 1 | Ⅶ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 赤褐色・黒褐色 | 条痕 | 条痕・刻目突帯 | 工具による |
| | 266 | D 5 | Ⅶ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 黄褐色・暗褐色 | 条痕・ヘラミガキ | 条痕・刻目突帯 | 指頭による 68 |
| | 267 | D 5 | Ⅶ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 暗褐色・黒褐色 | ヘラナデ・ヘラミガキ | 条痕・刻目突帯 | 指頭? |
| | 268 | D 4 | Ⅶ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 赤褐色・黒褐色 | ヘラナデ・ヘラミガキ | 条痕・刻目突帯 | 指頭による 70 |
| | 269 | D 4 | Ⅶ | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 黄褐色・茶褐色 | ヘラミガキ | 条痕・刻目突帯 | 指頭による 73 |
| | 270 | D 5 | Ⅶ | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 茶褐色・黒褐色 | ヘラミガキ | 条痕・刻目突帯 | 工具による |
| | 271 | D 5 | Ⅶ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 茶褐色・黒褐色 | ヘラナデ・ヘラミガキ | 条痕・ヘラミガキ・刻目突帯 | 工具による 69 |
| | 272 | D 5 | Ⅶ | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 茶褐色 | 条痕 | 条痕・刻目突帯 | 指頭による 71 |
| | 273 | D 4 | Ⅶ | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 茶褐色 | ヘラミガキ | 条痕・ヘラミガキ・刻目突帯 | 指頭による 72 |
| | 274 | E 4 | Ⅶ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 茶褐色 | ヘラミガキ | 条痕・刻目突帯 | 指頭による 74 |
| 図 | 275 | F 14 | Ⅶ | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 黄褐色・黒褐色 | 条痕 | 条痕・刻目突帯 | 指頭による 76 |

第6表 出土土器観察表(5)

| 種別 番号 | 遺物 番号 | 出土区 | 層 | 胎 土 | 焼成 | 色調 | 内面調整 | 外面調整・紋様 | 備考 |
|----------|----------|------|------------------|------------------|------|---------|-----------|---------------|----------|
| 第37 区 | 276 | D 5 | Ⅶ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 褐色・茶褐色 | 条痕 | 条痕、刻目突帯 | 指頭・ヘラ 64 |
| | 277 | D 4 | Ⅶ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 淡褐色・褐色 | 条痕 | 条痕、刻目突帯 | ヘラによる 65 |
| | 278 | D 6 | Ⅶ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 赤褐色 | 条痕 | ナデ、刻目突帯 | |
| | 279 | D 4 | Ⅶ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 暗褐色・黒褐色 | ヘラミガキ | ヘラミガキ・沈線 | 95 |
| | 280 | D 5 | Ⅶ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 暗茶褐色 | ヘラミガキ | 条痕後ヘラミガキ・沈線 | |
| | 281 | D 2 | Ⅶ | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 茶褐色 | ヘラミガキ | 条痕後ヘラミガキ | ふきこぼれ痕 |
| | 282 | D 5 | Ⅶ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 茶褐色・褐色 | 条痕後ヘラミガキ | 条痕後ヘラミガキ | 78 |
| | 283 | D 6 | Ⅶ | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 茶褐色 | ナデ後ヘラミガキ | ナデ後ヘラミガキ・沈線 | |
| | 284 | D 5 | Ⅶ | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 黒褐色 | 工具ナデ後ナデ | ナデ後ヘラミガキ | |
| | 285 | E 21 | Ⅶ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 黒褐色 | 条痕 | 条痕・突帯 | |
| 286 | F 18 | Ⅶ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 暗褐色 | ナデ | ナデ、刻目突帯 | 孔列土器 | |
| 第38 区 | 287 | D 6 | Ⅶ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 赤褐色 | 条痕 | 条痕 | |
| | 288 | F 13 | Ⅶ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 褐色・黒褐色 | 条痕 | 条痕 | |
| | 289 | D 1 | Ⅶ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 褐色 | 条痕 | 条痕 | |
| | 290 | F 15 | Ⅶ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 赤褐色 | 条痕 | 条痕 | |
| | 291 | D 1 | Ⅶ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 淡褐色・黒色 | 不明 | 条痕 | |
| | 292 | F 16 | Ⅶ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 暗褐色 | 条痕 | 条痕 | |
| | 293 | D 1 | Ⅶ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 灰色・黒褐色 | ナデ一部ヘラミガキ | 条痕 | |
| | 294 | F 14 | Ⅶ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 褐色・暗褐色 | 条痕 | 条痕 | |
| | 295 | D 6 | Ⅶ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 黒色・茶褐色 | ヘラミガキ | 条痕 | |
| | 296 | F 11 | Ⅶ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 赤褐色 | 工具ナデ | 条痕 | |
| 第39 区 | 297 | D 1 | Ⅶ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 赤褐色・黒色 | 条痕 | 条痕 | |
| | 298 | F 15 | Ⅶ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 茶褐色・黄褐色 | ヘラミガキ | 条痕 | |
| | 299 | F 15 | Ⅶ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 赤褐色 | ヘラミガキ | 条痕 | |
| | 300 | E 21 | Ⅶ | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 黒褐色 | ナデ・ヘラミガキ | ナデ・ヘラミガキ | |
| | 301 | D 5 | Ⅶ | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 黒色 | ヘラミガキ | ヘラミガキ | |
| | 302 | D 6 | Ⅶ | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 黒褐色 | ヘラミガキ | ヘラミガキ | |
| | 303 | F 14 | Ⅶ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 暗褐色 | ヘラミガキ | ヘラミガキ | |
| | 304 | D 8 | Ⅶ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 赤褐色 | 不明 | ヘラミガキ | |
| | 305 | D 8 | Ⅶ | 石英・長石・金雲母・細砂粒を含む | 良好 | 褐色 | 不明 | ヘラミガキ | |
| | 306 | F 22 | Ⅶ | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 暗赤褐色 | 不明 | 不明 | 122 |
| 第40 区 | 307 | F 22 | Ⅶ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 灰褐色・赤褐色 | 不明 | ナデ | 123 |
| | 308 | D 6 | Ⅶ | 石英・長石・金雲母・細砂粒を含む | 良好 | 淡茶褐色 | 不明 | 不明 | 126 |
| | 309 | D 6 | Ⅶ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 赤褐色 | 不明 | ナデ | |
| | 310 | F 21 | Ⅶ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 褐色・茶褐色 | 不明 | 不明 | 127 |
| | 311 | E 21 | Ⅶ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 黒色・淡赤褐色 | 不明 | 不明 | |
| | 312 | E 20 | Ⅶ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 赤褐色 | 不明 | 不明 | |
| | 313 | F 21 | Ⅶ | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 暗褐色・淡褐色 | 不明 | 不明 | 124 |
| | 314 | F 15 | Ⅶ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 淡褐色・茶褐色 | 条痕 | 条痕 | 129 |
| | 315 | F 19 | Ⅶ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 黄褐色・赤褐色 | 不明 | 不明 | 125 |
| | 316 | E 6 | Ⅶ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 赤褐色 | ヘラミガキ | 条痕 | 128 |
| 第41 区 | 317 | F 21 | Ⅶ | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 灰色・赤褐色 | 不明 | 不明 | 131 |
| | 318 | F 21 | Ⅶ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 黒褐色・赤褐色 | 不明 | 不明 | 130 |
| | 319 | E 4 | Ⅶ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 暗茶褐色 | ヘラミガキ | ヘラミガキ・条痕 | 132 |
| | 320 | D 4 | Ⅵ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 赤褐色 | ヘラミガキ | ヘラミガキ・突帯 | 丹塗り 133 |
| | 321 | F 21 | Ⅵ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 不良 | 赤褐色 | ヨコナデ | ヘラミガキ・突帯・ヘラ刻目 | 134 |
| | 322 | F 20 | Ⅵ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 不良 | 淡黄褐色 | 不明、刻目突帯 | 不明、突帯、口縁部ヘラ刻目 | |
| | 323 | F 21 | Ⅵ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 淡黒褐色 | ヨコナデ | ヨコナデ・ヘラ刻目 | 136 |
| | 324 | E 21 | Ⅵ | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 淡黄褐色 | ナデ、突帯 | ヘラミガキ・突帯 | |
| | 325 | F 21 | Ⅵ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 赤褐色 | ヘラミガキ | ヘラミガキ・突帯 | 137 |
| | 326 | E 21 | Ⅵ | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 淡黄褐色 | ヘラミガキ | ヘラミガキ・刻目突帯 | |
| 327 | F 18 | Ⅵ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 茶褐色 | ヨコナデ | ヨコナデ | 139 | |
| 328 | F 20 | Ⅵ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 淡黄褐色 | 不明、刻目突帯 | 不明、刻目突帯 | 322と同一 | |
| 329 | F 20 | Ⅵ | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 淡赤褐色 | 不明 | 不明、刻目突帯 | | |
| 330 | F 20 | Ⅵ | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 淡赤褐色 | 不明 | 不明、刻目突帯 | | |
| 331 | E 21 | Ⅵ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 暗茶褐色 | ナデ | ナデ、突帯 | | |
| 332 | F 20 | Ⅵ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 淡黄褐色 | 不明 | 不明、刻目突帯 | | |
| 333 | F 15 | Ⅵ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 淡黄褐色 | ハケ目 | ヘラミガキ | 135 | |
| 334 | F 15 | Ⅵ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 淡黄褐色 | ナデ | ヘラミガキ | | |
| 335 | D 5 | Ⅵ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 淡黄褐色 | 不明 | ヘラミガキ | 丹塗り 141 | |
| 336 | F 21 | Ⅵ | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 暗褐色 | ヨコナデ | ハケ目、刻目突帯 | 140 | |

第7表 出土土器観察表(6)

| 挿入 番号 | 遺物 番号 | 出土区 | 層 | 胎 | 土 | 焼成 | 色 調 | 内 面 調 整 | 外 面 調 整・紋 様 | 備 考 | |
|----------|----------|------|------------------|----------------------|------------------|---------|-----------|-----------|---------------|-----------|-----|
| | 337 | E 5 | VI | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 暗褐色 | ハケ目 | ナデ | ヘラミガキ・削り出し突帯 | 142 | |
| | 338 | F 13 | VI | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 赤褐色 | 剥落 | ナデ | | | |
| | 339 | D 7 | VI | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 赤褐色 | ハケ目後ヘラミガキ | ナデ | ハケ目後ヘラミガキ | | |
| 第 | 340 | F 16 | IV | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 淡黄褐色 | ハケ目後ナデ | ナデ | | | |
| | 341 | D 8 | IV | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 赤褐色 | ハケ目後ナデ | ナデ | ハケ目後ナデ | | |
| | 342 | F 16 | IV | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 淡黄褐色 | ナデ | ナデ | ハケ目後ナデ | | |
| | 343 | F 14 | IV | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 黄灰色 | ハケ目後ナデ | ナデ | ハケ目後ナデ | | |
| | 344 | D 6 | IV | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 茶褐色 | ナデ | ナデ | ナデ・ヘラミガキ | | |
| | 345 | F 21 | IV | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 黄褐色 | ヨコナデ | ナデ | ナデ | 半截竹管文 114 | |
| | 346 | D 6 | IV | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 赤褐色・黒褐色 | ナデ | ナデ | ハケ目後ナデ・突帯 | | |
| | 347 | F 22 | IV | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 黄褐色 | ナデ | ナデ | ナデ・突帯 | 143 | |
| | 348 | D 5 | IV | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 赤褐色・黒褐色 | ナデ | ナデ | | | |
| | 349 | D 6 | IV | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 淡赤褐色 | ヘラミガキ・ナデ | ナデ | ナデ・ヘラミガキ・突帯 | | |
| | 350 | E 5 | IV | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 黄褐色 | 不明・刻目突帯 | ナデ | ナデ | 145 | |
| | 351 | F 14 | IV | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 赤褐色 | ナデ | ナデ | ナデ・突帯つなぎ目 | 146 | |
| | 352 | D 6 | IV | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 黒褐色 | 不明 | ナデ | 突帯(刺突文) | 半截竹管文 | |
| | 353 | D 6 | IV | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 茶褐色 | ナデ | ナデ | 突帯・ヘラミガキ・刺突文 | | |
| | 354 | D 7 | IV | 石英・長石・細砂粒を含む | やや不良 | 黄灰色 | 不明 | ナデ | 突帯・ナデ・斜格子文 | | |
| | 355 | E 6 | IV | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 淡黄褐色 | ナデ | ナデ | 突帯・ナデ・ヘラ刻目 | 147 | |
| | 356 | E 5 | IV | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 暗赤褐色 | ナデ | ナデ | 突帯・ヘラミガキ・斜格子文 | 151 | |
| | 357 | E 6 | IV | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 黄褐色 | 不明 | ナデ | 突帯・不明・斜格子文 | 152 | |
| | 区 | 358 | D 1 | IV | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | やや不良 | 淡黄褐色 | 不明 | ナデ | 突帯・斜格子文 | |
| | | 359 | E 6 | IV | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 黄褐色・黒褐色 | ナデ | ナデ | ナデ・突帯 | 153 |
| 360 | | F 13 | IV | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 淡黄褐色 | ハケ目後ヘラミガキ | ナデ | ハケ目 | | |
| 361 | | E 21 | IV | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 暗黄褐色 | ハケ目後ナデ | ナデ | ハケ目後ナデ | | |
| 362 | | F 17 | IV | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 赤褐色 | ハケ目後ナデ | ナデ | ハケ目後ナデ | | |
| 363 | | E 21 | IV | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 黒褐色 | ナデ | ナデ | ナデ | | |
| 364 | | F 16 | IV | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | やや不良 | 黄褐色 | 不明 | ナデ | ナデ・突帯 | | |
| 365 | | D 6 | IV | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 黄褐色・黒褐色 | ナデ | ナデ | ナデ・突帯 | 155 | |
| 366 | | E 6 | IV | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 黒褐色 | ナデ | ナデ | 突帯・ナデ | 154 | |
| 367 | | D 6 | IV | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 黄褐色・黒褐色 | ナデ | ナデ | 突帯・ナデ | | |
| 第 | 368 | D 1 | IV | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 赤褐色 | ナデ | ナデ | 突帯・ナデ | 刻目に組織痕 | |
| | 369 | F 14 | IV | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 黄褐色・黒褐色 | ハケ目後ナデ | ナデ | 刻目突帯 | 刻目に組織痕 | |
| | 370 | D 3 | IV | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 茶褐色・黒褐色 | ナデ | ナデ | 突帯・ナデ | | |
| | 371 | D 8 | IV | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 黄褐色・黒褐色 | ナデ | ナデ | 突帯・ナデ | | |
| | 372 | D 1 | IV | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 黒褐色 | ナデ | ナデ | 突帯・ナデ | | |
| | 373 | D 2 | IV | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 暗黄褐色・黒色 | ナデ | ナデ | 突帯・ナデ | | |
| | 374 | E 21 | IV | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 黒褐色 | ナデ | ナデ | 突帯・ナデ | | |
| | 375 | F 11 | IV | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 黄褐色・黒褐色 | ハケ目後ナデ | ナデ | 刻目突帯・ナデ | | |
| | 376 | F 22 | IV | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 赤褐色 | ナデ | ナデ | 突帯・ナデ | 163 | |
| | 377 | D 8 | IV | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 黄褐色・黒褐色 | ナデ | ナデ | 突帯・ナデ | | |
| | 378 | D 6 | IV | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 淡黄褐色 | ナデ | ナデ | 突帯・ナデ | | |
| | 379 | D 6 | IV | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 淡黄褐色 | ナデ | ナデ | 突帯・ナデ | | |
| | 380 | D 6 | IV | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 淡黄褐色 | ナデ | ナデ | 突帯・ナデ | | |
| | 381 | E 4 | IV | 石英・長石・角閃石・金雲母・細砂粒を含む | 良好 | 淡褐色 | ナデ | ナデ | 突帯・ナデ | 166 | |
| | 382 | D 6 | IV | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 黒褐色 | ナデ | ナデ | 突帯・ナデ | | |
| | 383 | D 3 | IV | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 赤褐色・茶褐色 | ナデ | ナデ | 突帯・ナデ | | |
| | 区 | 384 | D 7 | IV | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 赤褐色・黒褐色 | ナデ | ナデ | 突帯・ハケ目後ナデ | |
| 385 | | D 8 | IV | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 赤褐色 | ナデ | ナデ | 突帯・ナデ | | |
| 386 | | D 5 | IV | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 茶褐色・黄褐色 | ハケ目後ナデ | ナデ | ハケ目後ナデ | | |
| 387 | | F 14 | IV | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 赤褐色・黒褐色 | ナデ | ナデ | ハケ目後ヘラミガキ | | |
| 388 | | D 8 | IV | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 黒褐色・黄褐色 | ナデ | ナデ | ナデ | | |
| 389 | | D 6 | IV | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 淡黄褐色 | ハケ目後ナデ | ナデ | ハケ目 | | |
| 390 | | F 14 | IV | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 赤褐色・黒褐色 | ハケ目後ナデ | ナデ | ハケ目後ナデ | | |
| 391 | | F 13 | IV | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 茶褐色 | ハケ目後ナデ | ナデ | ハケ目後ナデ・突帯 | | |
| 392 | | E 5 | IV | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 黄褐色 | ナデ | ナデ | ナデ | 170 | |
| 393 | | D 1 | IV | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 黄褐色・黒褐色 | ヘラナデ・ハケ目 | ナデ | ハケ目後ナデ | | |
| 394 | F 15 | IV | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 赤褐色・黄褐色 | ヘラミガキ | ナデ | ヘラミガキ | | | |
| 395 | D 7 | IV | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | やや不良 | 淡黄褐色 | 剥落 | ナデ | ハケ目後ヘラミガキ | | | |
| 396 | E 21 | IV | 石英・細砂土 | 良好 | 赤褐色 | ハケ目後ナデ | ナデ | ハケ目後ナデ | | | |
| 397 | D 1 | IV | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 淡黄褐色 | ヘラミガキ | ナデ | ヘラミガキ | | | |

第8表 出土土器観察表(7)

| 挿図 番号 | 遺物 番号 | 出土区 層 | 胎 土 | 焼成 | 色 調 | 内 面 調 整 | 外 面 調 整 ・ 紋 様 | 備 考 | |
|----------|----------|----------|------------------|------------------|---------|---------|---------------|--------------|-------------|
| 第 | 398 | F14 | IV | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 赤褐色 | ヘラミガキ | ヘラミガキ | 丹塗り |
| | 399 | D1 | IV | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 黒褐色 | ナデ | ナデ・刻目突帯 | |
| | 400 | F16 | IV | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 暗茶褐色 | ハケ目 | ヘラミガキ・クシ目文 | |
| | 401 | F20 | IV | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 淡黄褐色 | ナデ | ヘラミガキ | |
| | 402 | D7 | IV | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 淡黄褐色 | ヘラナデ | ヘラミガキ | |
| | 403 | D3 | IV | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 褐色・赤色 | ヘラミガキ | ヘラミガキ | 丹塗り 171 |
| | 404 | E5 | IV | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 赤色 | | ヘラミガキ | 丹塗り 175 |
| | 405 | D6 | IV | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 淡黄褐色 | ハケ目後ナデ | ヘラミガキ | |
| | 406 | | | 細砂土・よく精選 | 良好 | ナデ | ヘラミガキ | 丹塗り | |
| | 407 | D6 | IV | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 黒褐色 | ヘラケズリ・ナデ | ヘラミガキ | |
| | 408 | E4 | IV | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 赤褐色 | 不明 | 不明 | 174 |
| | 409 | E5 | IV | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 淡褐色 | 不明 | 不明 | 丹塗り 172 |
| | 410 | E5 | IV | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 赤褐色 | 工具ナデ | ナデ | 173 |
| | 411 | E4 | IV | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 淡黄褐色 | ハケ目 | ハケ目後ナデ | 178 |
| | 412 | F21 | IV | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 淡褐色 | ハケ目 | ヘラケズリ | 176 |
| | 413 | D5 | IV | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 淡黄褐色 | ナデ | 突帯・ナデ | |
| | 414 | F21 | IV | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 淡黄褐色 | ナデ | ヘラケズリ | 177 |
| | 415 | D5 | IV | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 淡黄褐色 | 不明 | ナデ | |
| | 416 | D1 | IV | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 淡黄褐色 | ハケ目後ナデ | ハケ目後ナデ | |
| | 417 | D5 | IV | 石英・長石・細砂粒を含む | 良好 | 黄褐色 | ナデ | ハケ | |
| 418 | F14 | IV | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 赤褐色・黄白色 | ナデ | ナデ | 179 | |
| 419 | D7 | IV | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 淡黄褐色 | ナデ | ナデ | | |
| 420 | F21 | IV | 石英・長石・角閃石・細砂粒を含む | 良好 | 赤褐色 | ナデ | ナデ | 指頭圧痕 180 | |
| 第 | 421 | D6 | IV | 細砂土 | 良好 | 青灰色 | 回転ナデ | 回転ナデ | 須恵器 |
| | 422 | E6 | IV | 細砂土 | 良好 | 青灰色 | 回転ナデ | 回転ナデ | 須恵器 183 |
| | 423 | E5 | IV | 細砂土 | 良好 | 青灰色 | 回転ナデ | 回転ナデ | 須恵器 |
| | 424 | F20 | IV | 細砂土 | 良好 | 茶灰色 | 回転ナデ | 回転ナデ | 須恵器・土師器 |
| | 425 | D1 | IV | 細砂土 | 良好 | 黄灰色 | 回転ナデ | 回転ナデ | 須恵器 |
| | 426 | E8 | IV | 細砂土・細砂を含む | 良好 | 淡灰褐色 | 回転ナデ | 回転ナデ | 須恵器 182 |
| | 427 | D1 | IV | 細砂土 | 良好 | 青灰色 | 回転ナデ | 回転ナデ | 須恵器 |
| | 428 | D5 | IV | 細砂土 | 良好 | 青灰色 | 回転ナデ | 回転ナデ・回転ヘラケズリ | 須恵器 |
| | 429 | D2 | IV | 細砂土 | 良好 | 暗青灰色 | 回転ナデ | 回転ナデ | 須恵器・灰釉 184 |
| | 430 | E8 | IV | 細砂土 | 良好 | 青灰色 | 同心円タタキ | 平行タタキ | 須恵器 186 |
| | 431 | D3 | IV | 細砂土 | 良好 | 青灰色 | 同心円タタキ | 平行タタキ | 須恵器 188 |
| | 432 | D6 | IV | 細砂土 | 良好 | 灰白色 | 同心円タタキ | 格子状タタキ | 須恵器 |
| | 433 | D1 | IV | 細砂土 | 良好 | 青灰色 | 同心円タタキ | 平行タタキ | 須恵器 190 |
| | 434 | D2 | IV | 細砂土 | 良好 | 青灰色 | 同心円タタキ | 平行タタキ | 須恵器 |
| | 435 | D7 | IV | 細砂土 | 良好 | 青灰色 | 同心円タタキ | 回転ナデ | 須恵器 |
| 第 | 436 | E7 | IV | 細砂土 | 良好 | 青灰色 | 同心円タタキ | 平行タタキ | 須恵器 189 |
| | 437 | E4 | IV | 細砂土 | 良好 | 青灰色 | 同心円タタキ | 平行タタキ | 須恵器 187 |
| | 438 | F9 | IV | 細砂土 | 良好 | 青灰色・褐色 | 同心円タタキ | 格子状タタキ | 須恵器 191 |
| | 439 | E5 | IV | 細砂土 | 良好 | 青灰色 | 同心円タタキ | 格子状タタキ | 須恵器 194 |
| | 440 | F14 | IV | 細砂土 | 良好 | 青灰色 | 同心円タタキ | 平行タタキ | 須恵器 195 |
| | 441 | D5 | IV | 細砂土 | 良好 | 青灰色 | 同心円タタキ | 格子状タタキ | 須恵器 |
| | 442 | | IV | 細砂土 | 良好 | 青灰色 | 同心円タタキ | 格子状タタキ | 須恵器 |
| | 443 | D6 | IV | 細砂土 | 良好 | 青灰色 | 同心円タタキ | 格子状タタキ | 須恵器 193 |
| | 444 | E5 | IV | 細砂土 | 良好 | 灰色 | 回転ナデ | 回転ナデ | 須恵器 196 |
| | 445 | E7 | IV | 細砂土 | 良好 | 灰褐色 | | | すり鉢・須恵質 197 |
| 第 | 446 | D7 | IV | 細砂土 | 良好 | 灰黒色 | | | すり鉢 |
| | 447 | D8 | IV | 細砂土 | 良好 | 灰黒色 | | | すり鉢 |
| | 448 | E21 | IV | 細砂土 | 良好 | 暗褐色 | | | すり鉢 |
| | 449 | D7 | IV | 細砂土 | 良好 | 淡黄褐色 | ナデ | ナデ | 墨書 |
| | 450 | | IV | | 良好 | | | | 染付 19 |
| 第 | 451 | E7 | | | 良好 | | | | 染付・釉ダレ 198 |
| | 452 | | | | | | | | 土鍾 201 |
| | 453 | | | | | | | | 土鍾 200 |

第9表 出土石器計測表 (1)

| No | 器種 | 石材 | 区 | 層 | 最大長cm | 最大長cm | 厚さcm | 重量g | 備考 |
|-----|----------|------|-------|----|-------|-------|------|-------|----------------|
| 12 | 敲石 | 安山石 | 1号住居跡 | | 13.7 | 4.4 | | 540 | 完形 8 |
| 13 | 敲石 | 安山石 | 1号住居跡 | | 8.2 | 11.1 | | 854 | 9 |
| 95 | 打製土掘具 | 粘板岩 | 1号土壙 | | 10.0 | 8.9 | 1.0 | 80 | 完形 長/幅=1.1 |
| 96 | 打製土掘具 | 頁岩 | 5号住居跡 | | 7.5 | 5.1 | 0.7 | 55 | 完形 長/幅=1.5 |
| 97 | 打製土掘具 | 頁岩 | 1号土壙 | | 5.1 | 5.0 | 1.4 | 50 | 完形 |
| 98 | 打製土掘具 | 頁岩 | 1号住居跡 | | 8.3 | 3.2 | 0.7 | 20 | 完形 |
| 99 | 剥片 | チャート | 5号住居跡 | | 6.0 | 3.5 | 0.9 | 30 | 未製品 |
| 141 | 打製土掘具 | 砂岩 | 溝1埋土 | | 13.0 | 5.9 | 1.7 | 135 | 完形 長/幅=2.2 |
| 142 | 打製土掘具 | 粘板岩 | 溝1埋土 | | 12.8 | 4.3 | 1.0 | 75 | 完形 長/幅=3.0 |
| 143 | 打製土掘具 | 頁岩 | 溝1埋土 | | 11.0 | 6.1 | 1.4 | 150 | 完形 長/幅=1.8 |
| 144 | 打製土掘具 | 頁岩 | 溝1埋土 | | 10.8 | 6.6 | 1.6 | 135 | 完形 長/幅=1.6 |
| 145 | 打製土掘具 | 頁岩 | 溝1埋土 | | 11.5 | 6.8 | 2.0 | 125 | 完形 長/幅=1.7 |
| 146 | 打製土掘具 | 頁岩 | 溝1埋土 | | 11.2 | 6.3 | 1.5 | 150 | 完形 長/幅=1.8 |
| 147 | 打製土掘具 | 砂岩 | 溝1埋土 | | 6.7 | 5.1 | 1.3 | 65 | |
| 148 | 打製土掘具 | 粘板岩 | 溝1埋土 | | 8.1 | 4.7 | 1.6 | 90 | |
| 149 | 打製土掘具 | 頁岩 | 溝1埋土 | | 14.5 | 6.5 | 1.8 | 210 | 完形 長/幅=2.2 |
| 150 | 打製土掘具 | 頁岩 | 溝1埋土 | | 11.3 | 8.3 | 1.4 | 125 | 完形 長/幅=1.4 |
| 151 | 打製土掘具 | 粘板岩 | 溝1埋土 | | 8.8 | 5.8 | 1.2 | 95 | |
| 152 | 異形石器 | 砂岩 | 溝1埋土 | | 5.5 | 3.1 | 0.9 | 25 | 完形 |
| 153 | 磨石・敲石 | 安山岩 | 溝1埋土 | | 5.0 | 4.7 | 2.4 | 115 | |
| 154 | 磨石・敲石 | 砂岩 | 溝1埋土 | | 6.6 | 5.2 | 2.1 | 100 | |
| 155 | 磨石・敲石 | 安山岩 | 溝1埋土 | | 5.5 | 4.8 | 3.7 | 180 | |
| 156 | 磨石・敲石・凹石 | 安山岩 | 溝1埋土 | | 5.5 | 4.8 | 4.7 | 235 | |
| 157 | 磨石・敲石・凹石 | 安山岩 | 溝1埋土 | | 11.9 | 9.9 | 4.7 | 935 | |
| 158 | 磨石・敲石・凹石 | 安山岩 | 溝1埋土 | | 9.2 | 4.1 | 4.0 | 230 | |
| 159 | 磨石・敲石・凹石 | 安山岩 | 溝1埋土 | | 15.6 | 7.4 | 4.0 | 810 | |
| 160 | 磨石・敲石・凹石 | 安山岩 | 溝1埋土 | | 12.2 | 5.8 | 3.1 | 455 | |
| 161 | 砥石 | 砂岩 | 溝1埋土 | | 10.5 | 6.0 | 2.1 | 160 | |
| 162 | 石皿 | 安山岩 | 溝1埋土 | | 19.7 | 20.3 | 5.3 | 4500 | |
| 163 | 石皿 | 安山岩 | 溝1埋土 | | 13.2 | 7.8 | 2.6 | 460 | |
| 454 | 打製土掘具 | 頁岩 | F14 | VI | 10.5 | 8.0 | 1.7 | 175 | 完形 長/幅=1.3 |
| 455 | 打製土掘具 | 砂岩 | D5 | VI | 12.6 | 7.0 | 2.4 | 193.2 | 完形 長/幅=1.8 206 |
| 456 | 打製土掘具 | 粘板岩 | F14 | VI | 11.0 | 5.8 | 1.3 | 120 | 完形 長/幅=1.9 |
| 457 | 打製土掘具 | 頁岩 | F14 | 溝3 | 10.8 | 7.0 | 1.3 | 110 | 完形 長/幅=1.5 |
| 458 | 打製土掘具 | 頁岩 | F14 | VI | 9.5 | 5.3 | 1.1 | 65.3 | 完形 長/幅=1.8 207 |
| 459 | 打製土掘具 | 頁岩 | E7 | VI | 6.7 | 5.7 | 1.6 | 83.5 | 完形 長/幅=1.2 209 |
| 460 | 打製土掘具 | 頁岩 | D2 | VI | 5.9 | 5.8 | 1.8 | 75 | |
| 461 | 打製土掘具 | 頁岩 | F11 | VI | 5.6 | 5.2 | 1.4 | 65 | |
| 462 | 打製土掘具 | 頁岩 | F14 | VI | 6.2 | 4.5 | 1.4 | 70 | |
| 463 | 打製土掘具 | 頁岩 | F18 | VI | 7.3 | 7.0 | 1.4 | 81.2 | 211 |
| 464 | 打製土掘具 | 頁岩 | F15 | VI | 4.6 | 5.1 | 1.1 | 57 | |
| 465 | 打製土掘具 | 粘板岩 | F16 | 表土 | 11.7 | 6.2 | 1.4 | 125 | 完形 長/幅=1.9 |

第10表 出土石器計測表 (2)

| No | 器種 | 石材 | 区 | 層 | 最大長cm | 最大長cm | 厚さcm | 重量g | 備考 |
|-----|----------|-----|-----|-----|-------|-------|------|------|-------|
| 466 | 打製土掘具 | 頁岩 | F21 | | 7.0 | 5.1 | 1.3 | 70.5 | 210 |
| 467 | 打製土掘具 | 頁岩 | | | 8.4 | 7.1 | 1.5 | 101 | 212 |
| 468 | 打製土掘具 | 頁岩 | E7 | 溝 | 6.7 | 5.7 | 1.6 | 83.5 | 208 |
| 469 | 打製土掘具 | 頁岩 | F14 | VI | 7.7 | 6.6 | 1.4 | 100 | |
| 470 | 打製土掘具 | 砂岩 | F11 | VI | 12.5 | 12.3 | 3.1 | 565 | 礫面を残す |
| 471 | 石包丁形打製石器 | 頁岩 | F15 | VI | 5.8 | 4.7 | 1.1 | 35 | |
| 472 | ノミ状石器 | 頁岩 | | | 6.5 | 3.1 | 0.6 | 24.5 | |
| 473 | | 泥岩 | F21 | VI | 5.0 | 4.0 | 0.4 | 11.0 | |
| 474 | 石 鏃 | 頁岩 | D5 | 表 | | | | 0.84 | |
| 475 | 石 鏃 | 黒耀石 | F21 | VII | | | | 0.5 | 202 |
| 476 | 剥 片 | 黒耀石 | D5 | VII | 1.7 | 1.3 | 0.25 | 0.5 | 203 |
| 477 | 剥 片 | 黒耀石 | F21 | | 1.8 | 2.4 | 0.5 | 2.1 | 204 |
| 478 | 剥 片 | 黒耀石 | F21 | | 2.5 | 3.8 | 0.8 | 7.05 | 205 |
| 479 | 磨石・敲石・凹石 | 花崗岩 | F22 | | 4.7 | 4.3 | 4.2 | 116 | 216 |
| 480 | 磨石・敲石・凹石 | 安山岩 | D6 | VI | 5.9 | 3.8 | 3.1 | 130 | |
| 481 | 磨石・敲石・凹石 | 花崗岩 | D4 | | 6.7 | 6.1 | 3.6 | 205 | 217 |
| 482 | 磨石・敲石・凹石 | 砂岩 | E21 | 表 | 6.6 | 6.2 | 2.9 | 200 | |
| 483 | 磨石・敲石・凹石 | 花崗岩 | F16 | VII | 5.4 | 4.8 | 3.2 | 135 | |
| 484 | 磨石・敲石・凹石 | 安山岩 | F21 | | 8.7 | 4.7 | 4.4 | 264 | 215 |
| 485 | 磨石・敲石・凹石 | 安山岩 | E21 | VII | 10.7 | 5.3 | 4.4 | 660 | |
| 486 | 磨石・敲石・凹石 | 安山岩 | F11 | IV | 8.8 | 8.0 | 3.1 | 395 | |
| 487 | 磨石・敲石・凹石 | 安山岩 | F20 | VI | 11.0 | 8.9 | 5.1 | 845 | |
| 488 | 磨石・敲石・凹石 | 安山岩 | F12 | VI | 10.5 | 7.8 | 2.5 | 375 | |
| 489 | 磨石・敲石・凹石 | 安山岩 | E4 | | 16.3 | 7.6 | 4.2 | 796 | 213 |
| 490 | 磨石・敲石・凹石 | 安山岩 | F20 | | 15.4 | 7.0 | 4.5 | 775 | 214 |
| 491 | 石 錘 | | | | 7.7 | 7.0 | 2.9 | 270 | |
| 492 | 石 錘 | 安山岩 | F14 | VI | 8.3 | 6.6 | 2.6 | 150 | |
| 493 | 石 皿 | 安山岩 | D6 | VI | 13.0 | 12.5 | 6.1 | 1490 | |

第11表 出土鉄滓計測表 (1)

| No | 区 | 層 | 最大長cm | 最大長cm | 厚さcm | 重量g | No | 区 | 層 | 最大長cm | 最大長cm | 厚さcm | 重量g |
|-----|----|---|-------|-------|------|-----|-----|----|---|-------|-------|------|-----|
| 494 | 溝1 | | 9.3 | 8.3 | 3.9 | 290 | 536 | 溝1 | | 5.0 | 4.1 | 3.7 | 115 |
| 495 | | | 5.6 | 3.9 | 2.3 | 100 | 537 | | | 4.2 | 3.1 | 2.3 | 75 |
| 496 | | | 6.3 | 4.0 | 3.0 | 100 | 538 | | | 4.0 | 3.5 | 2.4 | 45 |
| 497 | | | 7.4 | 5.5 | 2.3 | 210 | 539 | | | 4.0 | 3.5 | 2.2 | 45 |
| 498 | | | 9.9 | 7.6 | 4.3 | 465 | 540 | | | 3.7 | 3.5 | 3.4 | 75 |
| 499 | | | 8.0 | 7.4 | 4.1 | 370 | 541 | | | 2.9 | 2.9 | 2.4 | 35 |
| 500 | | | 8.4 | 4.7 | 4.4 | 360 | 542 | | | 5.3 | 3.5 | 1.8 | 65 |
| 501 | | | 6.2 | 3.7 | 0.6 | 40 | 543 | | | 3.5 | 2.6 | 2.8 | 55 |
| 502 | | | 9.4 | 7.7 | 3.2 | 280 | 544 | | | 3.9 | 2.3 | 2.3 | 45 |
| 503 | | | 6.5 | 5.1 | 2.9 | 150 | 545 | | | 3.1 | 2.3 | 2.3 | 40 |
| 504 | | | 4.1 | 3.6 | 2.7 | 45 | 546 | | | 4.1 | 2.1 | 2.1 | 30 |
| 505 | | | 8.4 | 5.1 | 2.6 | 250 | 547 | | | 3.5 | 1.6 | 2.4 | 30 |
| 506 | | | 6.0 | 4.8 | 1.4 | 110 | 548 | | | 3.8 | 2.0 | 1.8 | 40 |
| 507 | | | 8.9 | 7.7 | 3.2 | 360 | 549 | | | 3.0 | 2.4 | 2.1 | 40 |
| 508 | | | 4.1 | 3.1 | 2.2 | 35 | 550 | | | 3.5 | 2.1 | 2.7 | 45 |
| 509 | | | 2.1 | 2.0 | 1.8 | 10 | 551 | | | 3.2 | 2.8 | 2.2 | 35 |
| 510 | | | 4.8 | 4.4 | 3.3 | 145 | 552 | | | 2.7 | 2.5 | 1.9 | 20 |
| 511 | | | 3.5 | 2.8 | 2.3 | 40 | 553 | | | 2.5 | 2.2 | 1.4 | 20 |
| 512 | | | 7.4 | 4.5 | 2.5 | 135 | 554 | | | 2.6 | 2.2 | 2.0 | 25 |
| 513 | | | 6.0 | 3.1 | 2.3 | 98 | 555 | | | 3.0 | 2.6 | 1.5 | 15 |
| 514 | | | 4.0 | 3.7 | 2.4 | 70 | 556 | | | 2.8 | 1.7 | 1.8 | 25 |
| 515 | | | 3.4 | 2.8 | 2.2 | 31 | 557 | | | 2.0 | 1.9 | 1.5 | 15 |
| 516 | | | 4.6 | 3.3 | 2.6 | 40 | 558 | | | 2.7 | 1.4 | 1.5 | 15 |
| 517 | | | 7.0 | 5.0 | 2.7 | 185 | 559 | | | 2.2 | 2.1 | 1.9 | 15 |
| 518 | | | 8.4 | 6.3 | 4.2 | 295 | 560 | | | 2.8 | 1.9 | 2.2 | 20 |
| 519 | | | 5.5 | 3.2 | 1.8 | 50 | 561 | | | 1.8 | 1.5 | 1.6 | 20 |
| 520 | | | 5.4 | 4.4 | 2.9 | 115 | 562 | | | 1.8 | 1.5 | 1.5 | 10 |
| 521 | | | 7.9 | 4.5 | 1.2 | 85 | 563 | | | 2.0 | 1.9 | 1.4 | 10 |
| 522 | | | 1.7 | 1.4 | 1.8 | 10 | 564 | | | 1.5 | 1.5 | 0.9 | 10 |
| 523 | | | 8.4 | 5.4 | 5.3 | 210 | 565 | | | 1.4 | 1.0 | 1.1 | 5 |
| 524 | | | 7.3 | 4.7 | 2.4 | 135 | 566 | | | 1.9 | 1.5 | 1.1 | 10 |
| 525 | | | 5.0 | 4.9 | 4.6 | 120 | 567 | | | 7.2 | 4.9 | 1.9 | 105 |
| 526 | | | 3.9 | 3.0 | 2.4 | 80 | 568 | | | 5.7 | 4.9 | 1.9 | 95 |
| 527 | | | 3.7 | 2.5 | 2.2 | 35 | 569 | | | 4.9 | 4.8 | 3.3 | 90 |
| 528 | | | 4.0 | 2.5 | 2.3 | 40 | 570 | | | 5.7 | 5.4 | 3.3 | 125 |
| 529 | | | 3.8 | 3.4 | 1.4 | 25 | 571 | | | 6.9 | 6.1 | 2.7 | 230 |
| 530 | | | 4.5 | 3.3 | 2.9 | 45 | 572 | | | 5.8 | 5.3 | 2.9 | 90 |
| 531 | | | 5.0 | 4.5 | 3.6 | 120 | 573 | | | 5.2 | 4.3 | 2.7 | 110 |
| 532 | | | 5.3 | 4.0 | 3.2 | 100 | 574 | | | 6.0 | 3.7 | 3.1 | 105 |
| 533 | | | 5.2 | 3.6 | 2.4 | 80 | 575 | | | 4.0 | 3.7 | 2.1 | 35 |
| 534 | | | 7.1 | 6.1 | 3.0 | 175 | 576 | | | 4.8 | 3.5 | 1.9 | 75 |
| 535 | | | 4.4 | 4.4 | 2.6 | 100 | 577 | | | 4.5 | 1.9 | 1.7 | 55 |

第12表 出土鉄滓計測表 (2)

| No | 区 | 層 | 最大長cm | 最大長cm | 厚さcm | 重量g | No | 区 | 層 | 最大長cm | 最大長cm | 厚さcm | 重量g |
|-----|----|---|-------|-------|------|-----|-----|----|---|-------|-------|------|-----|
| 578 | 溝1 | | 5.3 | 5.0 | 2.5 | 120 | 620 | 溝1 | | 4.5 | 2.9 | 2.3 | 60 |
| 579 | | | 5.2 | 4.4 | 2.4 | 95 | 631 | | | 5.8 | 3.9 | 2.0 | 105 |
| 580 | | | 5.9 | 5.2 | 3.2 | 135 | 622 | | | 6.1 | 2.5 | 2.0 | 35 |
| 581 | | | 4.8 | 3.1 | 2.1 | 75 | 623 | | | 3.3 | 3.3 | 2.6 | 75 |
| 582 | | | 5.8 | 3.4 | 2.6 | 120 | 624 | | | 4.0 | 3.0 | 2.4 | 75 |
| 583 | | | 5.2 | 2.9 | 2.2 | 50 | 625 | | | 4.0 | 3.0 | 2.2 | 50 |
| 584 | | | 5.1 | 2.8 | 2.3 | 75 | 626 | | | 5.3 | 3.7 | 1.6 | 70 |
| 585 | | | 3.7 | 3.0 | 1.9 | 50 | 627 | | | 5.1 | 4.5 | 1.6 | 55 |
| 586 | | | 5.0 | 2.8 | 2.0 | 40 | 628 | | | 3.8 | 2.3 | 2.2 | 45 |
| 587 | | | 3.4 | 1.9 | 1.5 | 15 | 629 | | | 4.4 | 3.8 | 2.5 | 65 |
| 588 | | | 3.9 | 2.9 | 2.0 | 35 | 630 | | | 3.3 | 2.4 | 2.5 | 45 |
| 589 | | | 2.0 | 1.5 | 1.8 | 10 | 631 | | | 2.5 | 1.7 | 1.5 | 30 |
| 590 | | | 2.6 | 1.9 | 1.4 | 20 | 632 | | | 3.3 | 1.9 | 1.8 | 25 |
| 591 | | | 3.4 | 2.2 | 2.2 | 35 | 633 | | | 2.4 | 1.7 | 1.4 | 10 |
| 592 | | | 3.9 | 1.8 | 1.8 | 15 | 634 | | | 2.0 | 1.8 | 1.8 | 15 |
| 593 | | | 2.5 | 2.3 | 2.7 | 20 | 635 | | | 3.3 | 1.5 | 1.5 | 20 |
| 594 | | | 3.2 | 1.5 | 0.7 | 10 | 636 | | | 1.9 | 1.8 | 2.2 | 10 |
| 595 | | | 1.8 | 0.8 | 1.3 | 10 | 637 | | | 2.8 | 1.8 | 1.6 | 15 |
| 596 | | | 14.7 | 10.3 | 5.8 | 975 | 638 | | | 2.7 | 2.0 | 1.7 | 20 |
| 597 | | | 4.8 | 4.7 | 4.0 | 205 | 639 | | | 2.0 | 2.0 | 2.3 | 15 |
| 598 | | | 6.5 | 4.8 | 4.8 | 180 | 640 | | | 1.5 | 1.4 | 1.4 | 10 |
| 599 | | | 5.7 | 4.5 | 3.6 | 120 | 641 | | | 2.0 | 1.5 | 2.0 | 15 |
| 600 | | | 6.7 | 6.1 | 4.2 | 215 | 642 | | | 1.8 | 0.9 | 1.4 | 10 |
| 601 | | | 6.3 | 4.0 | 4.1 | 110 | 643 | | | 2.5 | 1.6 | 1.0 | 10 |
| 602 | | | 8.2 | 3.6 | 2.2 | 145 | | | | | | | |
| 603 | | | 4.3 | 3.8 | 2.9 | 100 | | | | | | | |
| 604 | | | 8.1 | 4.1 | 2.5 | 165 | | | | | | | |
| 605 | | | 6.5 | 6.2 | 2.3 | 65 | | | | | | | |
| 606 | | | 7.7 | 6.9 | 3.0 | 270 | | | | | | | |
| 607 | | | 7.5 | 5.5 | 2.0 | 115 | | | | | | | |
| 608 | | | 5.0 | 3.5 | 2.8 | 70 | | | | | | | |
| 609 | | | 6.3 | 4.5 | 3.0 | 165 | | | | | | | |
| 610 | | | 4.5 | 4.2 | 3.7 | 40 | | | | | | | |
| 611 | | | 6.9 | 5.4 | 3.0 | 185 | | | | | | | |
| 612 | | | 5.1 | 5.1 | 2.7 | 65 | | | | | | | |
| 613 | | | 4.5 | 3.4 | 2.7 | 120 | | | | | | | |
| 614 | | | 5.9 | 3.6 | 2.8 | 95 | | | | | | | |
| 615 | | | 6.0 | 4.5 | 2.6 | 105 | | | | | | | |
| 616 | | | 5.2 | 3.0 | 2.7 | 65 | | | | | | | |
| 617 | | | 6.7 | 2.3 | 1.9 | 60 | | | | | | | |
| 618 | | | 4.5 | 4.1 | 2.4 | 80 | | | | | | | |
| 619 | | | 5.6 | 4.6 | 2.6 | 115 | | | | | | | |



榎木原遺跡遠景（東から）



伐採作業風景（西から）



草刈り作業風景（西から）



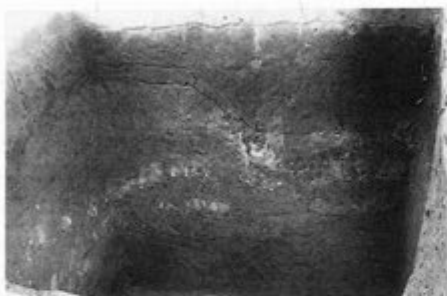
発掘作業風景（東から）



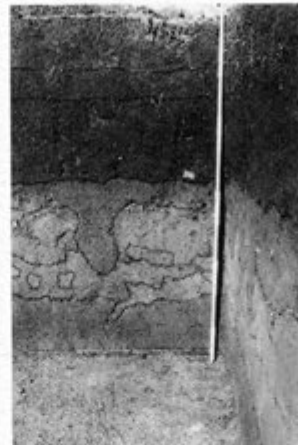
発掘作業風景（2次調査）



表土剥ぎ（2次調査）



土層(1)



土層(2)



VI層 遺物出土状況及び5号住居跡検出面



縄文土器出土状況



1号住居跡内No.3出土状況



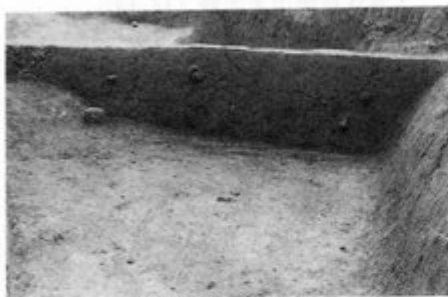
No.4 遺物出土状況



弥生土器出土状況



3号住居跡



溝状遺構1 土層



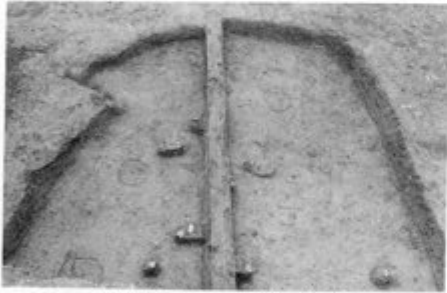
1号土坑



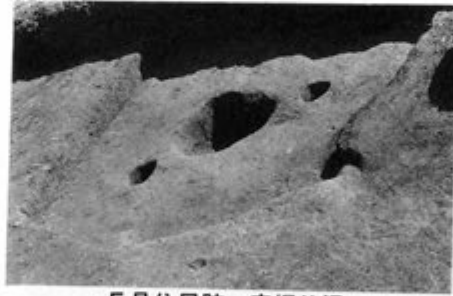
5号住居跡 遺物出土状況



5号住居跡 No.63出土状況



5号住居跡 Pit検出状況



5号住居跡 完掘状況



No.3



No.4



No.10



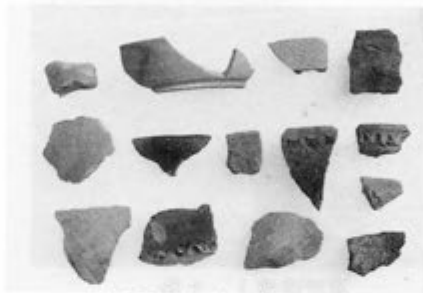
住居跡出土土器 (1~23)



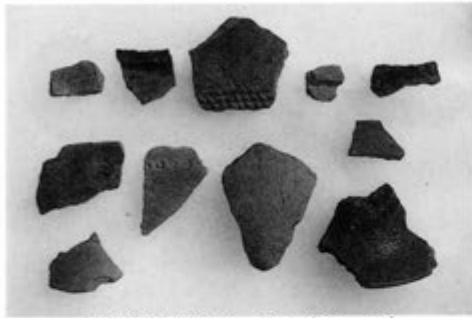
1号住居跡出土土器 (12.13)



住居跡出土土器 (24~37)



住居跡出土土器 (38~51)



5号住居跡出土土器 (52~62)



63



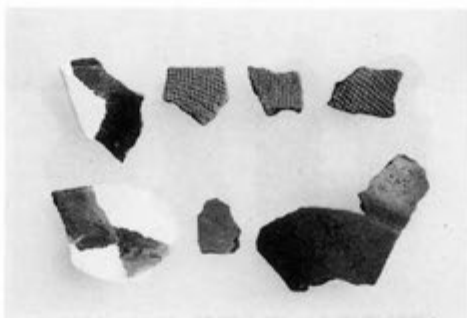
5号住居跡出土土器 (64~76)



5号住居跡出土土器 (77~80)



1号土塚出土土器 (81~86)



1号土塚出土土器 (87~94)



遺構出土石器 (95~99)



溝状遺構 1 出土土器 (100~106)



溝状遺構 1 出土土器 (107~113)



溝状遺構 1 出土土器 (114~119)



溝状遺構 1 出土土器 (120~131)



溝状遺構 1 出土土器 (132~139)



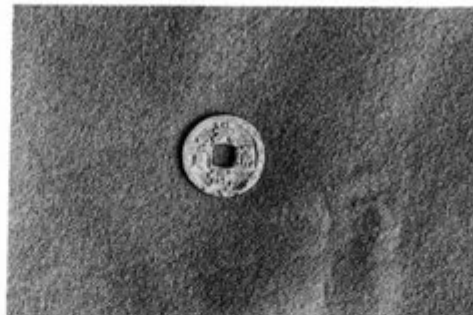
溝状遺構 1 出土石器 (141~144)



溝状遺構 1 出土土器 (145~148)



溝状遺構 1 出土石器 (149~152)



溝状遺構 1 出土錢貨 (140)



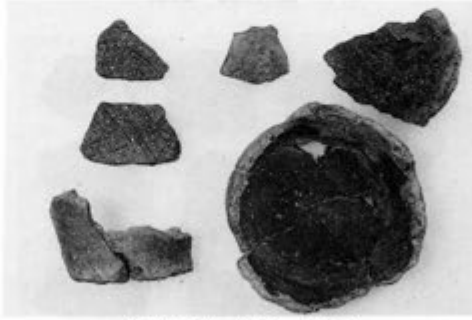
溝状遺構 1 出土石器 (153~158)



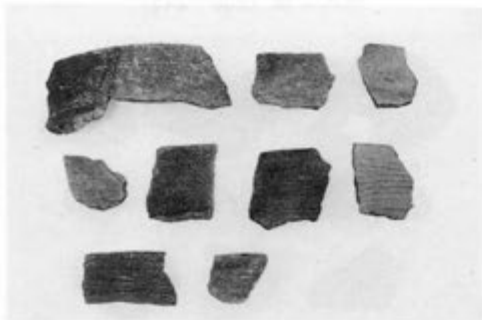
溝状遺構 1 出土石器 (159~163)



縄文土器 (164~172)



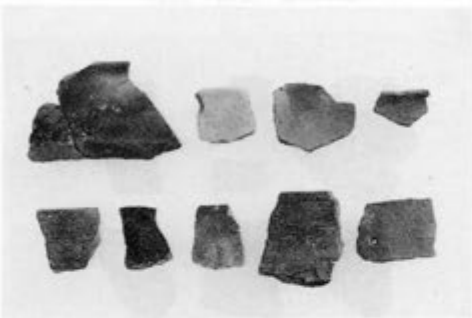
縄文土器 (173~178)



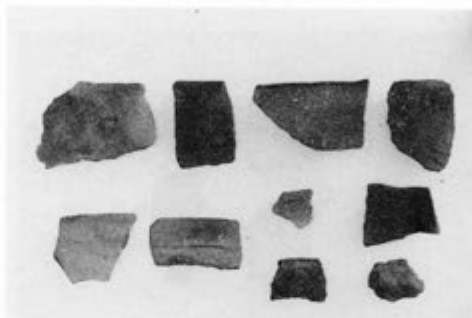
縄文土器 (179~187)



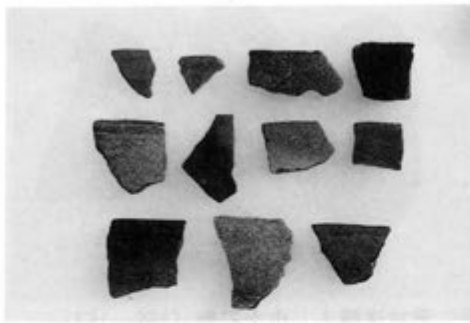
縄文土器 (188)



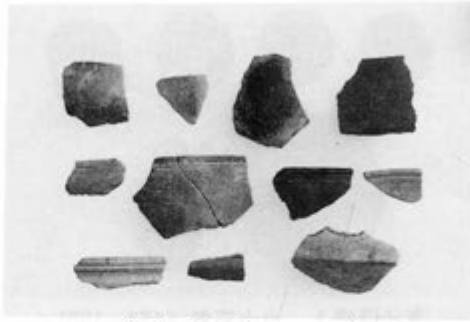
縄文土器 (189~197)



縄文土器 (198~207)



縄文土器 (208~218)



縄文土器 (219~229)



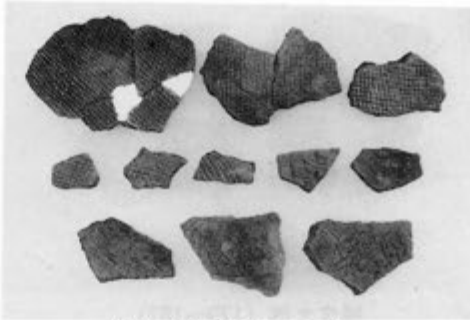
縄文土器 (230~235)



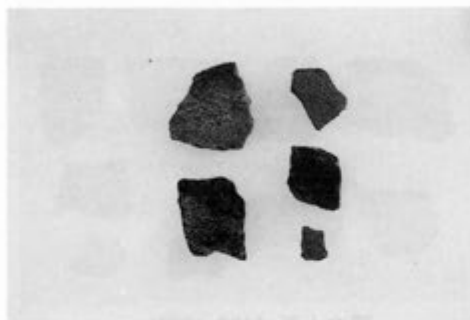
縄文土器 (236~243)



縄文土器 (244)



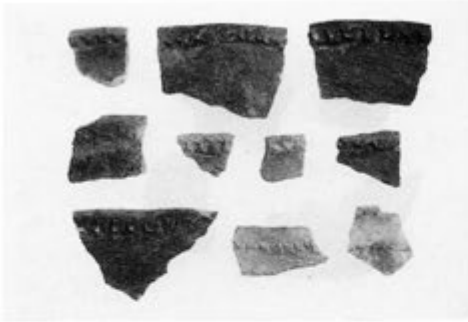
縄文土器 (245~252)



縄文土器 (253~260)



縄文土器 (261~268)



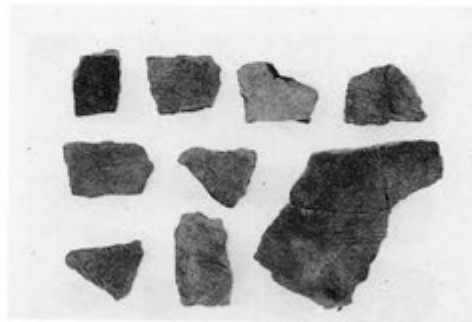
縄文土器 (269~278)



縄文土器 (279~286)



縄文土器 (287)



縄文土器 (288~294)



縄文土器 (295~303)



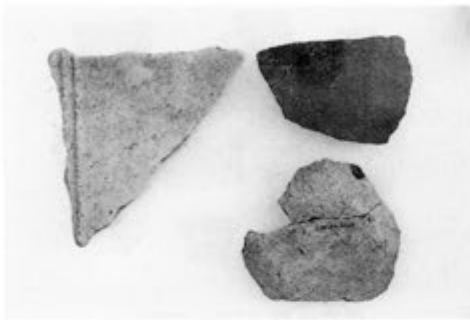
弥生土器 (320.321)



弥生土器 (333)



弥生土器 (322~331)



弥生土器 (332~335)



弥生土器 (336~339)



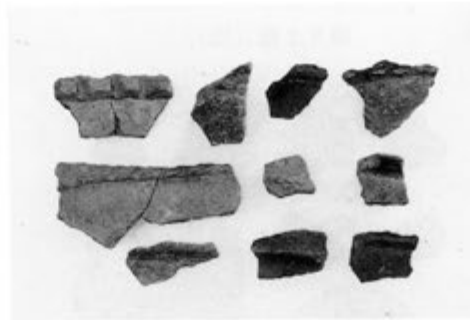
古墳時代の土器 (340~351)



古墳時代の土器 (352~361)



古墳時代の土器 (362~375)



古墳時代の土器 (376~384)



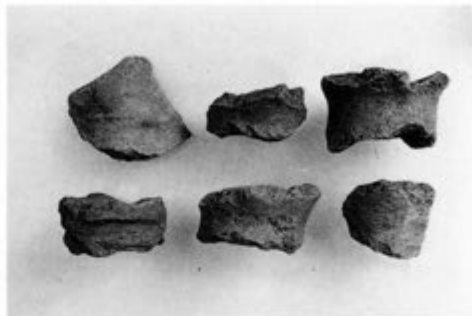
古墳時代の土器 (385~389)



古墳時代の土器 (390~402)



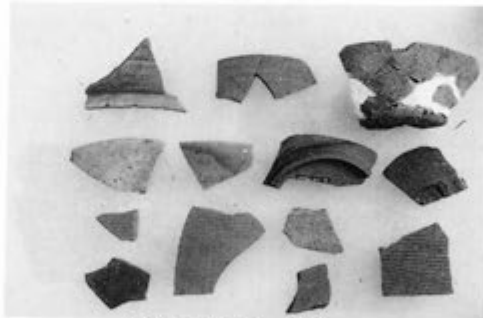
古墳時代の土器 (403~409)



古墳時代の土器 (410~415)



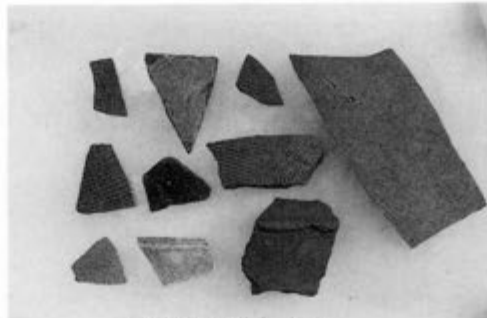
古墳時代の土器 (416~420)



須恵器 (421~435)



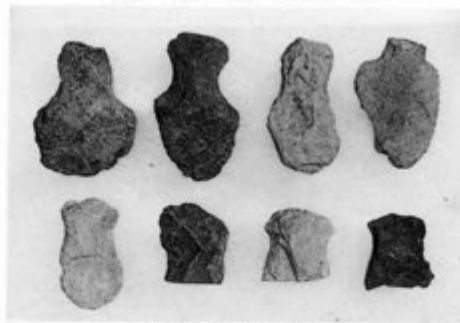
須恵器 (428)



須恵器 (436~445)



中・近世の遺物 (446~453)



石器 (454~461)



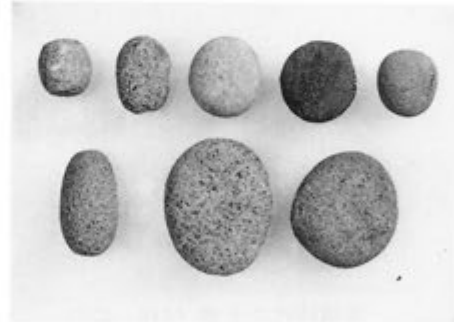
石器 (462~469)



石器 (470~474)



石器 (475~478)



石器 (479~486)



石器 (487~489・491・492)



石器 (490・493)



古墳時代の土器 (成川式) モミ圧痕土器

あ と が き

昨年の榎木原遺跡の発掘調査からまる1年、再び現場に立ち、完掘できる機会が与えられたことを、県文化課・県土木部・鹿屋土木事務所・鹿屋市教育委員会などの関係者の皆様に感謝したい。昨年の報告書も、見直してみるとミスが多く赤面のいたりである。今回はミスをできるかぎり修正し、慎重を期したつもりである。しかしながら何らかのミスや、内容に疑問の所在の際には、後学のため遠慮なく指摘して戴きたい。

今年も残暑が厳しいなかで、発掘調査の作業員の方々は、昨年の方も多く参加され、発掘調査は順調に進んでいった。手慣れた作業の中で、住居跡を掘り、遺物を取り上げ、ときには遺物を踏みつけ壊してしまったりもした。力仕事の男性に「休みやんせ」と冷水を汲み、「どれ!」と女性の方が男性顔負けにスコップをふるう。そんな情景が目には浮かびます。本当に御苦勞様でした。大豊建設(株)の方には、排土処理でお手数をかけました。遺物量が多く整理作業のほうも大変でした。記して感謝いたします。

発掘作業員

(昭和63年度)

坂下 正, 坂下 松吉, 上宮シズエ, 東 サエ子, 中園 サヨ, 上仮屋エミ
木山キミ, 柿内トシエ, 大坪イク子, 山下ミツエ, 出口ミツエ, 渡口エイチ
凶師ミカ, 凶師 タキ, 豊崎 絹子

(平成元年度)

河野 廣, 東 サエ子, 上仮屋エミ, 出口 君江, 木山 キミ, 山下ミツエ
中園サヨ, 西元ミヨ子, 渡口エイチ, 豊倉八重子, 出口ミツ江

整理作業員

下島 節子, 高倉 晴美, 四丸久美子, 浜田 幸江

鹿児島県埋蔵文化財発掘調査報告書(53)

一般地方道永吉高須線改良工事に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書

榎木原遺跡Ⅲ

発行日 平成2年3月31日

発行 鹿児島県教育委員会 〒892 鹿児島市山下町14番50号

印刷所 株式会社秀巧社印刷 〒890 鹿児島市新栄町25番7号